

Microsoft® Windows™

OASYS/Win

V2.0

HAND BOOK

ハンドブック

The Fujitsu logo is located in the bottom right corner of the page. It consists of the word "FUJITSU" in a bold, sans-serif font, with a stylized infinity symbol (two overlapping circles) positioned above the letter "I".

FUJITSU

- 1 区点コード一覧表

- 2 機種別キーボード対応表

- 3 異常メッセージ

- 4 文書、文字パターン交換時の注意点

- 5 グラフ、線画作成時の注意点

- 6 アイコン一覧表

- 7 コマンド一覧とスクリプトの変数

- 8 数式マクロ一覧表

- 9 OAK/Winの諸情報

はじめに

『ハンドブック』では、区点コード、機種別キーボード対応表、異常メッセージなど、QASYS/Winを使う上で必要なデータを一冊にまとめてあります。QASYS/Winを操作する上で、必要に応じてお使いください。

1994年2月

Microsoft、MS-DOSは、米国マイクロソフト社の登録商標です。

Windows は、米国マイクロソフト社の米国での登録商標です。

「一太郎」は、(株)ジャストシステムの著作物です。

CONTENTS

●はじめに

第1章	区点コード一覧表	1
第2章	機種別キーボード対応表	11
第3章	異常メッセージ	27
第4章	文書、文字パターン交換時の注意点	69
第5章	グラフ、線画作成時の注意点	91
第6章	アイコン一覧表	99
第7章	コマンド一覧とスクリプトの変数	115
第8章	数式マクロ一覧表	137
第9章	OAK/Winの諸情報	169

第

1

章

区点コード一覧表

61	澆	溼	滯	沮	92	花	沾
62	溼	滯	澆	滯	93	花	沾
63	溼	滯	澆	滯	94	花	沾
64	溼	滯	澆	滯	95	花	沾
65	溼	滯	澆	滯	96	花	沾
66	溼	滯	澆	滯	97	花	沾
67	溼	滯	澆	滯	98	花	沾
68	溼	滯	澆	滯	99	花	沾
69	溼	滯	澆	滯	100	花	沾
70	溼	滯	澆	滯	101	花	沾
71	溼	滯	澆	滯	102	花	沾
72	溼	滯	澆	滯	103	花	沾
73	溼	滯	澆	滯	104	花	沾
74	溼	滯	澆	滯	105	花	沾
75	溼	滯	澆	滯	106	花	沾
76	溼	滯	澆	滯	107	花	沾
77	溼	滯	澆	滯	108	花	沾
78	溼	滯	澆	滯	109	花	沾
79	溼	滯	澆	滯	110	花	沾
80	溼	滯	澆	滯	111	花	沾
81	溼	滯	澆	滯	112	花	沾
82	溼	滯	澆	滯	113	花	沾
83	溼	滯	澆	滯	114	花	沾
84	溼	滯	澆	滯	115	花	沾
85	溼	滯	澆	滯	116	花	沾
86	溼	滯	澆	滯	117	花	沾
87	溼	滯	澆	滯	118	花	沾
88	溼	滯	澆	滯	119	花	沾
89	溼	滯	澆	滯	120	花	沾
90	溼	滯	澆	滯	121	花	沾

1

MS-DOS互換一対漢文字順

MEMO

機種別キーボード対応表

機種別キーボード対応表













▶ OASYS/Winの各機能は、キーボード操作でも実行できます。















動作環境の設定により、キーの割り当てが異なりますので、お使いの環境に対応した欄を参照してください。


注意



















- キーの割り当ては、補助の「動作環境」の「キー割当て」で変更することができます。詳しくは、『リファレンスマニュアル』を参照してください。

文書作成画面

	機能名	FM R シズ/ F _M TOWNS (PF20まで)	FM R シズ/ F _M TOWNS (PF12まで)	PS/55シリーズ (PF12まで)
文 書 作 成 画 面	前頁	【PF 7】	【PF 7】	【F 7】
	次頁	【PF 8】	【PF 8】	【F 8】
	文頭			
	文末	【CTRL】 + 【PF 8】	【CTRL】 + 【PF 8】	【Ctrl】 + 【F 8】
	他画面	【PF15】	【SHIFT】 + 【PF 4】	【Shift】 + 【F 4】
	前画面スクロール	【前行】	【前行】	【Page Up】
	次画面スクロール	【次行】	【次行】	【Page Down】
	左画面スクロール	【CTRL】 + 【前行】	【CTRL】 + 【前行】	【Ctrl】 + 【Page Up】
	右画面スクロール	【CTRL】 + 【次行】	【CTRL】 + 【次行】	【Ctrl】 + 【Page Down】
	行頭	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【前行】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【前行】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【Page Up】
	行末	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【次行】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【次行】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【Page Down】
	画面内先頭	【HOME】	【HOME】	【Home】
	改行			
	強制改行	【CTRL】 + 	【CTRL】 + 	【Ctrl】 + 
	改頁	【SHIFT】 + 	【SHIFT】 + 	【Shift】 + 
	改段	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 	【Ctrl】 + 【Shift】 + 
	頁抑止	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 1】	【SHIFT】 + 【PF 1】	【Shift】 + 【F 1】
	タブ	【タブ】	【タブ】	【Tab】
	逆タブ	【CTRL】 + 【タブ】 または 【SHIFT】 + 【タブ】	【CTRL】 + 【タブ】 または 【SHIFT】 + 【タブ】	【Ctrl】 + 【Tab】 または 【Shift】 + 【Tab】
後退	【後退】	【後退】	【Back space】	

PC-9800シリーズ (PF10まで)	FM-OASYS (PF20まで)	FM-OASYS (PF12まで)	標準 (PF10まで)
【f・7】	【PF 6】	【PF 6】	
【f・8】	【PF 7】	【PF 7】	
			【CTRL】 + 【HOME】
【CTRL】 + 【f・8】	【CTRL】 + 【PF 8】	【CTRL】 + 【PF 8】	【CTRL】 + 【END】
【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【f・8】	【PF15】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 6】	【CTRL】 + 【PF 6】 または 【SHIFT】 + 【PF 6】
【ROLL DOWN】	【前行】	【前行】	【前行】
【ROLL UP】	【次行】	【次行】	【次行】
【CTRL】 + 【ROLL DOWN】	【CTRL】 + 【前行】	【CTRL】 + 【前行】	【CTRL】 + 【前行】
【CTRL】 + 【ROLL UP】	【CTRL】 + 【次行】	【CTRL】 + 【次行】	【CTRL】 + 【次行】
	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【前行】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【前行】	【HOME】
	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【次行】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【次行】	【END】
【HOME】	【HOME】	【HOME】	
			
【CTRL】 + 	【CTRL】 + 	【CTRL】 + 	【CTRL】 + 
【SHIFT】 + 	【ESC】	【ESC】	【SHIFT】 + 
【CTRL】 + 【SHIFT】 + 	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 
【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【f・7】	【SHIFT】 + 【ESC】	【SHIFT】 + 【ESC】	
【TAB】	【タブ】	【タブ】	【タブ】
【CTRL】 + 【TAB】	【CTRL】 + 【タブ】	【CTRL】 + 【タブ】	【CTRL】 + 【タブ】
または 【SHIFT】 + 【TAB】	または 【SHIFT】 + 【タブ】	または 【SHIFT】 + 【タブ】	または 【SHIFT】 + 【タブ】
【BS】	【後退】	【後退】	

	機能名	FM R シリーズ/ FM TOWNS (PF20まで)	FM R シリーズ/ FM TOWNS (PF12まで)	PS/55シリーズ (PF12まで)
文 書 作 成 画 面	前進	【CTRL】 + 【後退】	【CTRL】 + 【後退】	【Ctrl】 + 【Back space】
	倍角	【CTRL】 + 【半角/全角】	【CTRL】 + 【半角/全角】	【Ctrl】 + 【半角/全角】 または 【Ctrl】 + 【0】 (数字キ-)
	かな半角/ 漢字半角	【SHIFT】 + 【半角/全角】	【SHIFT】 + 【半角/全角】	【Shift】 + 【半角/全角】 または 【Ctrl】 + 【Shift】 + 【9】 (数字キ-)
	添字上下	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【半角/全角】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【半角/全角】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【半角/全角】 または 【Ctrl】 + 【Shift】 + 【0】 (数字キ-)
	登録半角	【CTRL】 + 【*】 (テンキ-)	【CTRL】 + 【*】 (テンキ-)	【Ctrl】 + 【*】 (テンキ-)
	カマ 付数字	【CTRL】 + 【.】 (テンキ-)	【CTRL】 + 【.】 (テンキ-)	【Ctrl】 + 【.】 (テンキ-)
	一字削除	【CTRL】 + 【削除】	【CTRL】 + 【削除】	【Ctrl】 + 【削除】 または 【Ctrl】 + 【Delete】
	一字挿入	【CTRL】 + 【挿入】	【CTRL】 + 【挿入】	【Ctrl】 + 【挿入】 または 【Ctrl】 + 【Insert】
	罫線入力	【CTRL】 + 	【CTRL】 + 	【Ctrl】 + 
	罫線消去	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 	【Ctrl】 + 【Shift】 + 
	範囲選択	【SHIFT】 + 	【SHIFT】 + 	【Shift】 + 
	仮表示	【CTRL】 + 【実行】 または 【CTRL】 + 	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【実行】 または 【CTRL】 + 【SHIFT】 + 	【Ctrl】 + 【Shift】 + 
	実行	【実行】または 	【実行】または 	
	連続実行	【CTRL】 + 【実行】 または 【CTRL】 + 	【CTRL】 + 【実行】 または 【CTRL】 + 	【Ctrl】 + 
取消	【取消】 または【ESC】	【取消】 または【ESC】	【Esc】	
ヘルプ	【PF 1】	【PF 1】	【F 1】	

PC-9800シリーズ (PF10まで)	FM-OASYS (PF20まで)	FM-OASYS (PF12まで)	標準 (PF10まで)
【CTRL】 + 【BS】	【CTRL】 + 【後退】	【CTRL】 + 【後退】	
【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【f・1】	【CTRL】 + 【半角/全角】	【CTRL】 + 【半角/全角】	【CTRL】 + 【半角/全角】
【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【f・2】	【PF 1】	【PF 1】	【SHIFT】 + 【半角/全角】
【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【f・3】	【CTRL】 + 【PF 1】	【CTRL】 + 【PF 1】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【半角/全角】
【CTRL】 + 【*】 (テンキー)	【CTRL】 + 【*】 (テンキー)	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 1】	
【CTRL】 + 【.】 (テンキー)	【CTRL】 + 【.】 (テンキー)	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 2】	
【CTRL】 + 【DEL】	【CTRL】 + 【削除】	【CTRL】 + 【削除】	【CTRL】 + 【削除】
【CTRL】 + 【INS】	【CTRL】 + 【挿入】	【CTRL】 + 【挿入】	【CTRL】 + 【挿入】
【CTRL】 + 	【CTRL】 + 	【CTRL】 + 	【CTRL】 + 
【CTRL】 + 【SHIFT】 + 	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 
【SHIFT】 + 	【SHIFT】 + 	【SHIFT】 + 	【SHIFT】 + 
【CTRL】 + 【SHIFT】 + 	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【実行】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【実行】	【CTRL】 + 【SHIFT】 +  または 【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【実行】
	【実行】	【実行】	 または 【実行】
【CTRL】 + 	【CTRL】 + 【実行】	【CTRL】 + 【実行】	【CTRL】 +  または 【CTRL】 + 【実行】
【ESC】	【取消】	【取消】	【ESC】 または 【取消】
【f・1】	【SHIFT】 + 【PF20】	【SHIFT】 + 【PF12】	【PF 1】

	機能名	FM R シリーズ/ F _M TOWNS (PF20まで)	FM R シリーズ/ F _M TOWNS (PF12まで)	PS/55シリーズ (PF12まで)
文書作成画面	新規	【CTRL】 + 【PF17】	【CTRL】 + 【PF17】	
	オープン	【SHIFT】 + 【PF17】		
	拡張オープン	【CTRL】 + 【2】 (数字キ)		
	保存	【SHIFT】 + 【PF18】		
	別名で保存	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF18】		
	書式設定	【CTRL】 + 【PF1】	【CTRL】 + 【PF1】	【Ctrl】 + 【F1】
	印刷	【PF16】	【SHIFT】 + 【PF5】	【Shift】 + 【F5】
	保存文書印刷	【CTRL】 + 【PF16】		
	初期化	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF17】		
終了	【PAUSE】 (【BREAK】)	【PAUSE】 (【BREAK】)	【PAUSE】	
編集	やり直し	【ESC】	【ESC】	【Esc】
	繰り返し	【CTRL】 + 【PF20】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【2】 (数字キ)	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【2】 (数字キ)
	切抜き (テキスト型)	【SHIFT】 + 【PF11】		
	切抜き (図形型)	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF11】		
	連携複写 (テキスト型)	【SHIFT】 + 【削除】	【SHIFT】 + 【削除】	【Shift】 + 【Delete】
	連携複写 (図形型)	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【削除】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【削除】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【Delete】
	貼付け	【SHIFT】 + 【挿入】	【SHIFT】 + 【挿入】	【Shift】 + 【Insert】
	移動 (テキスト型)	【PF11】	【PF11】	【F11】
	移動 (図形型)	【CTRL】 + 【PF11】	【CTRL】 + 【PF11】	【Ctrl】 + 【F11】
	複写 (テキスト型)	【PF12】	【PF12】	【F12】
	複写 (図形型)	【CTRL】 + 【PF12】	【CTRL】 + 【PF12】	【Ctrl】 + 【F12】
	削除	【削除】	【削除】	【Delete】
	削除 (図形型)			
	挿入	【挿入】	【挿入】	【Insert】
	検索	【CTRL】 + 【PF6】	【CTRL】 + 【PF6】	【Ctrl】 + 【F6】
	置換	【CTRL】 + 【PF7】	【CTRL】 + 【PF7】	【Ctrl】 + 【F7】
	図形入替	【CTRL】 + 【PF11】 → 【PF11】	【CTRL】 + 【PF11】 → 【PF11】	【Ctrl】 + 【F11】 → 【F11】
図形読出	【CTRL】 + 【漢字辞書】	【CTRL】 + 【漢字辞書】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【1】 (数字キ)	

PC-9800シリーズ (PF10まで)	FM-OASYS (PF20まで)	FM-OASYS (PF12まで)	標準 (PF10まで)
			[CTRL] + [N] (英字)
			[CTRL] + [O] (英字)
			[CTRL] + [S] (英字)
[CTRL] + [F·1]	[SHIFT] + [PF 8] [PF16]	[SHIFT] + [PF 8] [CTRL] + [SHIFT] + [PF 3]	[CTRL] + [P] (英字)
[STOP]	[PAUSE] ([BREAK])	[PAUSE] ([BREAK])	[PAUSE] ([STOP])
[ESC]			[CTRL] + [2] (数字)
[SHIFT] + [F·4]			[CTRL] + [X] (英字)
[CTRL] + [SHIFT] + [F·4]			[CTRL] + [SHIFT] + [X] (英字)
[SHIFT] + [F·5]			[CTRL] + [C] (英字)
[CTRL] + [SHIFT] + [F·5]			[CTRL] + [SHIFT] + [C] (英字)
[SHIFT] + [INS]			[CTRL] + [V] (英字)
[F·4]	[PF 9]	[PF 9]	
[CTRL] + [F·4]	[CTRL] + [PF 9]	[CTRL] + [PF 9]	
[F·5]	[PF10]	[PF10]	
[CTRL] + [F·5]	[CTRL] + [PF10]	[CTRL] + [PF10]	
[DEL]	[削除]	[削除]	[削除]
	[CTRL] + [PF 9] → [削除]	[CTRL] + [PF 9] → [削除]	([図形移動]) → [削除]
[INS]	[挿入]	[挿入]	[挿入]
	[CTRL] + [PF 7]	[CTRL] + [PF 7]	
	[SHIFT] + [PF 7]	[SHIFT] + [PF 7]	
[CTRL] + [F·4] → [F·4]	[CTRL] + [PF 9] → [PF 9]	[CTRL] + [PF 9] → [PF 9]	([図形移動]) → [移動]
	[CTRL] + [漢字辞書]	[CTRL] + [漢字辞書]	

	機能名	FM R シリーズ/ F _M TOWNS (PF20まで)	FM R シリーズ/ F _M TOWNS (PF12まで)	PS/55シリーズ (PF12まで)
文書作成	図形登録	【CTRL】 + 【単語登録】	【CTRL】 + 【単語登録】	
	図形抹消	【CTRL】 + 【単語抹消】	【CTRL】 + 【単語抹消】	
画面修飾	リンク作成	【SHIFT】 + 【PF 1】		
	リンク更新	【SHIFT】 + 【PF 2】		
	リンク変更	【SHIFT】 + 【PF 3】		
	リンク解除	【SHIFT】 + 【PF 4】		
	リンク貼付け	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【挿入】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【挿入】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【Insert】
	文字拡縮／修飾	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF19】	【SHIFT】 + 【PF 9】	【Shift】 + 【F 9】
	行間設定	【CTRL】 + 【PF 5】	【CTRL】 + 【PF 5】	【Ctrl】 + 【F 5】
	下線付	【CTRL】 + 【PF 2】	【CTRL】 + 【PF 2】	【Ctrl】 + 【F 2】
	下線消	【CTRL】 + 【PF 3】	【CTRL】 + 【PF 3】	【Ctrl】 + 【F 3】
	傍点付	【SHIFT】 + 【PF16】	【CTRL】 + 【6】 (数字キ)	【Ctrl】 + 【6】 (数字キ)
	傍点消	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF16】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【6】 (数字キ)	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【6】 (数字キ)
	書体	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF20】		
	左端設定	【PF 2】	【PF 2】	【F 2】
	右端設定	【PF 3】	【PF 3】	【F 3】
	タブ設定	【PF 4】	【PF 4】	【F 4】
	デシマルタブ	【CTRL】 + 【PF 4】	【CTRL】 + 【PF 4】	【Ctrl】 + 【F 4】
	行頭変更	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 2】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 1】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F 1】
	行端変更	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 3】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 6】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F 6】
	左寄せ	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 9】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 9】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F 9】
	右寄せ	【CTRL】 + 【PF 9】	【CTRL】 + 【PF 9】	【Ctrl】 + 【F 9】
センタリング	【PF 9】	【PF 9】	【F 9】	
後半消去	【CTRL】 + 【HOME】	【CTRL】 + 【HOME】	【Ctrl】 + 【Home】	
表示	頁／マーク指定	【PF 6】	【PF 6】	【F 6】
	マーク設定	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 4】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 4】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F 4】
	表示形式	【CTRL】 + 【PF15】	【CTRL】 + 【1】 (数字キ)	【Ctrl】 + 【1】 (数字キ)
	横軸分割	【PF14】	【SHIFT】 + 【PF 3】	【Shift】 + 【F 3】

PC-9800シリーズ (PF10まで)	FM-OASYS (PF20まで)	FM-OASYS (PF12まで)	標準 (PF10まで)
	【CTRL】 + 【単語登録】	【CTRL】 + 【単語登録】	
	【CTRL】 + 【単語抹消】	【CTRL】 + 【単語抹消】	
	【CTRL】 + 【PF13】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【削除】	
【CTRL】 + 【f・2】	【CTRL】 + 【PF 5】 【CTRL】 + 【PF 2】	【CTRL】 + 【PF 5】 【CTRL】 + 【PF 2】	【CTRL】 + 【U】 (英字)
【CTRL】 + 【f・3】	【CTRL】 + 【PF 3】 【CTRL】 + 【5】 (数字キ-)	【CTRL】 + 【PF 3】 【CTRL】 + 【5】 (数字キ-)	
【f・2】	【PF 2】	【PF 2】	
【f・3】	【PF 3】	【PF 3】	
【CTRL】 + 【f・9】	【PF 4】	【PF 4】	
【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【f・9】	【CTRL】 + 【PF 4】	【CTRL】 + 【PF 4】	
	【CTRL】 + 【PF 6】	【CTRL】 + 【PF 6】	
【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【f・6】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF11】		
【CTRL】 + 【f・6】	【CTRL】 + 【PF11】	【CTRL】 + 【PF11】	
【f・6】	【PF11】	【PF11】	
【CTRL】 + 【HOME】	【CTRL】 + 【HOME】	【CTRL】 + 【HOME】	
【CTRL】 + 【f・7】	【PF 8】	【PF 8】	
	【PF14】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 4】	

	機能名	FM R シリーズ/ FM TOWNS (PF20まで)	FM R シリーズ/ FM TOWNS (PF12まで)	PS/55シリーズ (PF12まで)	
文 書 作 成 画 面	表示	縦軸分割	【CTRL】 + 【PF14】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F 3】	
		ウィンド表示	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 6】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F11】	
	図 形 画 面	線画	【PF20】	【CTRL】 + 【2】 (数字キ)	【Ctrl】 + 【2】 (数字キ)
		枠空け	【PF17】	【SHIFT】 + 【PF 6】	【Shift】 + 【F 6】
		図形モード	【CTRL】 + 【PF13】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 2】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F 2】
		図形表示	【PF13】	【SHIFT】 + 【PF 2】	【Shift】 + 【F 2】
		網かけ付	【SHIFT】 + 【PF13】	【CTRL】 + 【3】 (数字キ)	【Ctrl】 + 【3】 (数字キ)
		網かけ消	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF13】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【3】 (数字キ)	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【3】 (数字キ)
		消し線付	【SHIFT】 + 【PF14】	【CTRL】 + 【4】 (数字キ)	【Ctrl】 + 【4】 (数字キ)
		消し線消	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF14】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【4】 (数字キ)	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【4】 (数字キ)
		飾り罫付	【SHIFT】 + 【PF15】	【CTRL】 + 【5】 (数字キ)	【Ctrl】 + 【5】 (数字キ)
		飾り罫消	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF15】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【5】 (数字キ)	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【5】 (数字キ)
		グラフ表	【CTRL】 + 【PF19】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 8】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F 8】
		グラフ	【PF19】	【SHIFT】 + 【PF 8】	【Shift】 + 【F 8】
		組込み設定	【PF18】	【SHIFT】 + 【PF 7】	【Shift】 + 【F 7】
		組込み解除	【CTRL】 + 【PF18】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 7】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F 7】
マ シ ン	罫線通過	【PF 5】	【PF 5】	【F 5】	
	選択型変更	【SHIFT】 + 【PF 5】	【SHIFT】 + 【PF12】	【Shift】 + 【F12】	
	罫線種変更	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 8】	【SHIFT】 + 【PF11】	【Shift】 + 【F11】	
そ の 他	表作成	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 5】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 5】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F 5】	
	特殊文字入力	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【漢字辞書】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【漢字辞書】	【Ctrl】 + 【9】 (数字キ)	
	計算	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 7】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF12】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F12】	
	アウトライン	【SHIFT】 + 【PF19】			

PC-9800シリーズ (PF10まで)	FM-OASYS (PF20まで)	FM-OASYS (PF12まで)	標準 (PF10まで)
	【CTRL】 + 【PF14】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 5】	
	【CTRL】 + 【PF12】	【CTRL】 + 【PF12】	
	【PF20】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【単語登録】	
	【PF17】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF10】	
	【CTRL】 + 【PF13】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 8】	
【f・9】	【PF13】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 9】	
	【CTRL】 + 【PF20】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【単語抹消】	
	【CTRL】 + 【PF19】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF12】	
	【PF19】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF11】	
【SHIFT】 + 【f・1】	【PF 5】	【PF 5】	
【SHIFT】 + 【f・2】			
【SHIFT】 + 【f・3】			
	【CTRL】 + 【3】 (数字+))	【CTRL】 + 【3】 (数字+))	
	【PF12】	【PF12】	

線画作成画面

	機能名	FM R シリーズ/ FM TOWNS (PF20まで)	FM R シリーズ/ FM TOWNS (PF12まで)	PS/55シリーズ (PF12まで)
線 画 作 成 画 面	モード	【CTRL】 + 【PF 1】	【CTRL】 + 【PF 1】	【Ctrl】 + 【F 1】
	選択	【CTRL】 + 【PF 2】	【CTRL】 + 【PF 2】	【Ctrl】 + 【F 2】
	修飾	【PF 4】	【PF 4】	【F 4】
	前頁 (線画種)	【PF 7】	【PF 7】	【F 7】
	次頁 (線画種)	【PF 8】	【PF 8】	【F 8】
	図形表示	【PF13】	【SHIFT】 + 【PF 2】	【Shift】 + 【F 2】
	点動作	【PF18】	【SHIFT】 + 【PF 7】	【Shift】 + 【F 7】
	次指示	【PF19】	【SHIFT】 + 【PF 8】	【Shift】 + 【F 8】
	端点サーチ	【CTRL】 + 【タブ】	【CTRL】 + 【タブ】	【Ctrl】 + 【Tab】
	基本	終了	【PAUSE】	【PAUSE】
編 集	やり直し	【ESC】	【ESC】	【Esc】
	繰り返し	【CTRL】 + 【PF20】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【2】 (数字キ)	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【2】 (数字キ)
	線画移動	【PF11】	【PF11】	【F11】
	線画複写	【PF12】	【PF12】	【F12】
	線画削除	【削除】	【削除】	【Delete】
	線画更新	【CTRL】 + 【半角/全角】	【CTRL】 + 【半角/全角】	【Ctrl】 + 【半角/全角】 または 【Ctrl】 + 【F 3】
	線画作成	【挿入】	【挿入】	【Insert】
	矩 形 編 集	範囲移動	【CTRL】 + 【PF11】	【CTRL】 + 【PF11】
範囲複写		【CTRL】 + 【PF12】	【CTRL】 + 【PF12】	【Ctrl】 + 【F12】
範囲削除		【CTRL】 + 【削除】	【CTRL】 + 【削除】	【Ctrl】 + 【Delete】
加 工	拡大移動	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF11】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF11】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F11】
	拡大複写	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF12】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF12】	【Ctrl】 + 【Shift】 + 【F12】
	対称移動	【SHIFT】 + 【PF11】	【SHIFT】 + 【PF11】	【Shift】 + 【F11】
	対称複写	【SHIFT】 + 【PF12】	【SHIFT】 + 【PF12】	【Shift】 + 【F12】
	直線延長	【PF 9】	【PF 9】	【F 9】
	直線カット	【CTRL】 + 【PF 9】	【CTRL】 + 【PF 9】	【Ctrl】 + 【F 9】
線 図	線図読出	【PF 5】	【PF 5】	【F 5】
	線図登録	【PF 2】	【PF 2】	【F 2】
	線図抹消	【PF 3】	【PF 3】	【F 3】
文 字	線画文字	【CTRL】 + 【挿入】	【CTRL】 + 【挿入】	【Ctrl】 + 【Insert】

PC-9800シリーズ (PF10まで)	FM-OASYS (PF20まで)	FM-OASYS (PF12まで)	標準 (PF10まで)
【CTRL】 + 【f・1】			
【CTRL】 + 【f・2】			
【f・7】			
【f・8】			
【f・9】	【PF13】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【PF 9】	
【CTRL】 + 【f・7】	【PF18】	【PF 4】	
【CTRL】 + 【f・8】			
【CTRL】 + 【TAB】	【CTRL】 + 【タブ】	【CTRL】 + 【タブ】	
【STOP】	【PAUSE】	【PAUSE】	【PAUSE】 (【STOP】)
【ESC】			
【f・4】	【PF 9】	【PF 9】	
【f・5】	【PF10】	【PF10】	
【DEL】	【削除】	【削除】	【削除】
【f・2】	【CTRL】 + 【半角/全角】	【CTRL】 + 【半角/全角】	
【INS】	【挿入】	【挿入】	
【CTRL】 + 【f・4】	【CTRL】 + 【PF 9】	【CTRL】 + 【PF 9】	
【CTRL】 + 【f・5】	【CTRL】 + 【PF10】	【CTRL】 + 【PF10】	
【CTRL】 + 【DEL】	【CTRL】 + 【削除】	【CTRL】 + 【削除】	
【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【f・4】	【CTRL】 + 【PF17】	【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【半角/全角】	
【CTRL】 + 【SHIFT】 + 【f・5】			
【SHIFT】 + 【f・4】			
【SHIFT】 + 【f・5】			
【f・6】	【PF11】	【PF11】	
【CTRL】 + 【f・6】	【PF12】	【PF12】	
【f・3】	【PF 5】	【PF 5】	
【CTRL】 + 【f・3】	【PF 2】	【PF 2】	
【SHIFT】 + 【f・3】	【PF 3】	【PF 3】	
【CTRL】 + 【INS】	【CTRL】 + 【挿入】	【CTRL】 + 【挿入】	

計算モード

	機能名	FM R シリーズ/ FM TOWNS (PF20まで)	FM R シリーズ/ FM TOWNS (PF12まで)	PS/55シリーズ (PF12まで)
計 算 モ ー ド	合計	【CTRL】 + 【PF 6】	【CTRL】 + 【PF 6】	【Ctrl】 + 【F 6】
	表計算	【CTRL】 + 【PF 7】	【CTRL】 + 【PF 7】	【Ctrl】 + 【F 7】
	÷	【PF 4】	【PF 4】	【F 4】
	×	【PF 5】	【PF 5】	【F 5】
	−	【PF 6】	【PF 6】	【F 6】
	+	【PF 7】	【PF 7】	【F 7】
	メモリ	【CTRL】 + 【PF 8】	【CTRL】 + 【PF 8】	【Ctrl】 + 【F 8】
	平方根 (ルート)	【PF 2】	【PF 2】	【F 2】
	%	【PF 3】	【PF 3】	【F 3】
	=	【PF 8】	【PF 8】	【F 8】
	指定	【PF 9】	【PF 9】	【F 9】

PC-9800シリーズ (PF10まで)	FM-OASYS (PF20まで)	FM-OASYS (PF12まで)	標準 (PF10まで)
【CTRL】 + 【f・6】	【PF11】	【PF11】	
【CTRL】 + 【f・7】	【PF10】	【PF10】	
【f・4】	【↵】	【-】	
【f・5】	【*】	【P】	
【f・6】	【-】	【O】	
【f・7】	【+】	【+】	
【CTRL】 + 【f・8】	【PF 7】	【Y】	
【f・2】	【PF13】	【T】	
【f・3】	【PF14】	【.】 (親指) 【@】 (JIS)	
【f・8】	【=】	【↵】	
【f・9】	【PF 9】	【PF 9】	

MEMO

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32
33	34	35	36
37	38	39	40
41	42	43	44
45	46	47	48
49	50	51	52
53	54	55	56
57	58	59	60
61	62	63	64
65	66	67	68
69	70	71	72
73	74	75	76
77	78	79	80
81	82	83	84
85	86	87	88
89	90	91	92
93	94	95	96
97	98	99	100

第

3

章

異常メッセージ

異常メッセージ

▶ 異常メッセージは、操作中に処理が実行できなくなった場合に表示されます。次の異常メッセージ一覧表を参照して、各異常メッセージに対する処置を行ってください。

異常メッセージ

OASYS/Winでは、メッセージに従って操作を進めることができます。しかし、誤った操作や装置の故障などにより処理できなくなると、その旨のメッセージが表示されます。この場合のメッセージを「異常メッセージ」といいます。
次ページからの表を参照し、操作してください。

注意

- 異常メッセージを表示せず、操作が不可能になったときには、まず電源を切り、次にフロッピーを抜きます。改めて電源を入れ、補助の「文書整理」を行って、文書を復元してください。繰り返し同じ現象が起こる場合には、当社サポート窓口などにお問い合わせください。「文書整理」の詳細は、『リファレンスマニュアル』を参照してください。

	メッセージ	意味および処置
	A 3 連続用紙での標準設定はできません	連帳でA3縦、A3横の設定で、「標準設定」に設定しても標準値はセットされません。
	CD-ROMが違います CD-ROMを入れ換えて下さい	使用できない（サポートしていない）CD-ROMをセットしたとき、または途中で入れ換えたときに表示されます。 ※ CD-ROMを入れ換えて、再度実行してください。
	CD-ROMを正しくセットして下さい	CD-ROMがCD-ROMドライブユニットに正しくセットされていない場合に表示されます。 ※ CD-ROMをセットし直して、再度実行してください。
	CD-ROMドライブにセットされているCD-ROMに不良箇所があります	CD-ROMに傷、汚れ、ほこりなどがあり、情報を読み取れない場合、またはCD-ROMドライブユニットの故障などが考えられます。CD-ROMの汚れを落としてからセットし直して、再度実行してください。
	CD-ROMドライブが故障です	※ CD-ROMドライブユニットに故障が発生すると表示されます。
	CD-ROMドライブが未接続です	※ CD-ROMドライブユニットが接続されていないか、電源が入っていない場合に表示されます。 接続状態を確認してください。
英 字	EBCDIC/JEFコード指定はパディングキャラクタを設定してください	ファイル種別にEBCDIC/JEFを指定した際に、パディングキャラクタが設定されていません。 ファイル種別を確認するか、パディングキャラクタを設定してください。
	EBCDIC/JEFコード指定はレコード長を設定してください	ファイル種別にEBCDIC/JEFを指定した際に、レコード長が設定されていません。 ファイル種別を確認するか、レコード長を設定してください。
数 字	ICメモ리카ードは取り扱えません 別のドライブを指定して下さい	「OASYS文書フロッピー作成」では、ICメモ리카ードを指定することはできません。別のドライブを選択してください。
	L AN P A C K用環境変数が正しく設定されていません	OASYS/Win LANPACKを使用する場合に、OASYS/Winを動作するための環境が正しく設定されていません。
	L AN P A C K用管理ファイルが見つかりません	OASYS/Win LANPACKのセットアッププログラムを使用して、正しく環境を設定してください。
	L AN P A C Kの動作環境に異常があります	OASYS/Win本体のインストールが正常に行われていない場合にも表示されることがあります。
	O A S Y S文書ではこの機能は使用できません	OASYS文書（OASYSシリーズ）では使用できない機能であるため実行できません。
	O A S Y S文書フロッピーの作成を行います 処理を行うとフロッピーの元の内容が失われます	「OASYS文書フロッピー作成」を開始する際に、確認のため表示されます。内容をすべて消してもよいフロッピーかどうか確認してください。
	O A S Y S / W i nが起動中のため処理できません	OASYS/Winを起動した状態で、OASYS/Winのインストールを行おうとした場合に表示されます。 OASYS/Winを終了させてからやり直してください。
	O A S Y S / W i nの動作環境が正しくないため実行できません 再インストールを行って下さい	OASYS/Winのインストールが正しく行われなかったか、OASYS/Winの動作環境が破壊されている場合に表示されます。再度インストールを行ってください。
	R型長方形の右端の位置の指定に誤りがあります	線画を作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。

※ OASYS-CDView/Win使用時のエラーメッセージです。

	メッセージ	意味および処置
辞 ・ 数	XXXファイルの読み込みができませんでした	ファイルの読み込みができません。読み込めなかったファイルは一覧表に表示されず、一覧表印刷でも印刷されません。XXXには、読み込めなかったファイルの数が表示されます。
ア	アウトライン中はこの機能は使用できません	アウトラインモードでは使用できない機能です。アウトラインモードを終了してから選択してください。
	空き容量が足りません	文書フロッピー、ディスクに残り容量がなく、処理ができないときに表示されます。残り容量が十分なフロッピー、ハードディスクで再度処理を行ってください。
	空き領域がないので登録できません 不要な図形を抹消して下さい	記録できる登録領域の量には限界があります。抹消機能(図形抹消、線図抹消)により、不要な登録データを抹消してください。
	新しい位置の指定に誤りがあります	線画を更新する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	扱えないビットマップがあります	文書中のビットマップを表示、印刷できません。 原因は、ビットマップが見つからない、ビットマップのデータが異常、表示/印刷のための資源不足などです。
	扱えないフォントがあります	選択されているフォントのフォント情報を正しく取得できないため、文字パターン基本セット内の明朝体フォントで表示されます。
	扱えないメタファイルがあります	文書中のメタファイルを表示、印刷できません。 原因は、メタファイルが見つからない、メタファイルのデータが異常、表示/印刷のための資源不足などです。
	暗証番号が入力されていません	暗証番号設定で、暗証番号を入力せずに実行しようとしたときに表示されます。暗証番号を入力してください。
イ	異常が発生しました 終了キーを押すとプログラムを終了します	OASYS/Winの処理中に処理の継続が不可能なエラーが発生した場合に表示されます。原因は、OASYS/Winの処理自体に異常があって正常に動作できない、ハードディスクに異常が発生したなどです。エラーの原因などが補足として表示される場合もあります。 作成、更新中の文書は文書整理で修復できます。 動作中の他のプログラムをすべて終了させてから、システムを起動し直してください。
	異常が発生しました プログラムを終了します ※	処理が継続できないエラーが発生した場合に表示されます。
	一部 移動/複写できません	グラフ表と文書の間で移動、複写する際、移動先、複写先の文書の作成量によって表示されます。〈確定〉で処理を行い、〈取消〉で処理を中断します。不要な部分を削除して実行してください。
	一部 削除できませんでした	線図読出のあとの取り消しで、読み出した図形が一部削除できなかった場合に表示されます。
	一部 表示できませんでした	文字入力で、文字が画面からはみ出す位置を指定した場合に表示されます。位置を変更するか、倍率を変更し、すべて表示できるようにしてください。 線画文字を表示する際に、枠から文字がはみ出すときに表示されます。位置を変更してください。

	メッセージ	意味および処置
イ	一部 表示できませんでした	線図読出を行う際、文書内のグラフィックの数が限界になったため、登録線画を読み出せないときに表示されます。文書内の不要なグラフィックを削除してください。また、読み出したい登録線画が枠内に入りきらない場合も表示されます。 イメージ作成/修正の文字入力で、文字が画面からはみ出す位置を指定した場合に表示されます。入力した文字すべてを表示できる位置に移動するか、倍率を小さくしてください。
	イメージが選択されていません	OASYS2イメージ管理の「交換(出)」では、イメージ(TIFF)のみ選択できます。
	イメージが存在しないので印刷できません	文書中に該当するイメージが存在しません(イメージ削除を行ったり、文書複写を行ったときにイメージが複写されなかった場合など)。
	イメージが存在しないので表示できません	
	イメージの数が多く一部印刷できない部分があります	文書中のイメージの数が多いため、イメージを読み出すメモリ資源が不足した場合に表示されます。必要でない他のプログラムを終了するか、ディスク内のファイルを整理してから、再度実行してください。
	イメージの中に正しくないデータが存在します	イメージの中に正しく解析できない箇所があります。
	イメージファイルが見つかりませんまたは他で使用中です	イメージファイルが見つからないか、または他の処理で使用されています。
	印刷できないイメージが存在しました	イメージのファイル形式が正しくないため、一部のイメージは正常に印刷できません。処理は終了しています。
	印刷出来ません	プリンタに異常が発生したときに表示されます。
	プリンタを正しく設置直して下さい※	印刷処理を中止し、プリンタを正しく設置してください。
	インストール先がディスク容量不足のため処理できません	インストール先の空き容量を確認してください。
	インストール先で出力エラーが発生しました	インストール先で書き込みエラーが発生しています。インストール先のディスクの状態(書き込み権限など)を調べてください。
	インストールディスクで入力エラーが発生しました	フロッピィの読み込みが正しく行えません。CHKDSKコマンドなどにより媒体をチェックしてください。
	インストールディスクにより、正しく登録して下さい	OASYS/Winのインストールプログラムを使って正しくインストールされていません。
	※	インストールをやり直してください。
	インストールプログラムにより正しくインストールして下さい	OASYS/Winのインストールプログラムを使って正しくインストールされていません。 インストールをやり直してください。
ウ	ウインドウが小さすぎます ウインドウを広げて下さい	ウインドウを広げて再度行ってください。
	右端から文字があふれました	文字の一部が行の右端からあふれたときに表示されます。
	右端超過のため作成できません 桁数、反復数を設定し直し、実行して下さい	桁数、反復数の設定が大きすぎて行内に入りきらないときに表示されます。桁数、反復数を設定し直してください。
エ	英数字を設定する場合はCTRLまたはCTRL+SHIFTを組み合わせして下さい	英字、数字キーは、単独、または【SHIFT】との組み合わせで割り当てることはできません。英字、数字キーを割り当てる場合は、【CTRL】または【CTRL】+【SHIFT】と組み合わせてください。

	メッセージ	意味および処置
エ	円弧終了位置の指定に誤りがあります	線画またはイメージを作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	円周の位置の指定に誤りがあります	線画を作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	延長したい直線の指定に誤りがあります	線画の直線延長をする場合、カーソルで対象とする位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	円の中心位置の指定に誤りがあります	線画を作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	エンベッドオブジェクトを更新しますか	オブジェクトが OLE サーバ上にオープンしている場合に表示されます。
オ	扇型を開始する位置の指定に誤りがあります	線画またはイメージを作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	オープン可能なファイル数を越えたため実行できません	処理しているファイル数が多すぎるため実行できません。不要な処理をいくつか終了させてから再度実行してください。
	同じ名前のファイルが既にあります	新文書として保存しようとしたファイル名が、保存先にすでに存在した場合に表示されます。ファイル名を変更して実行してください。
	同じ読みが既にあるので違う読みを入力して下さい	図形登録では、複数の図形を同じ読みで登録することはできません。別の読みで登録するか、すでに登録された図形を図形抹消で抹消してください。 線図登録では、複数の線画を同じ読みで登録することはできません。別の読みで登録するか、すでに登録されている線画を抹消してください。
	オブジェクト以外のリンクデータは存在しません	「リンク更新」「リンク解除」を選択した場合に、文書中にオブジェクト以外のリンクデータがない場合に表示されます。
	オブジェクトがありません	埋め込み型オブジェクトが文書の中にない場合に、オブジェクト編集、実行、削除コマンドを実行すると表示されます。
	オブジェクトが使用中のためオブジェクトの更新ができませんでした	オブジェクトが使用中で利用できない場合に表示されます。
	オブジェクトが使用中のため起動できませんでした	
	オブジェクトが使用中のため更新モードの変更ができませんでした	
	オブジェクトが見つかりません	オブジェクトの情報が異常なために、そのオブジェクトに対してコマンドが実行できません。
	オブジェクト数が限界を超えるためオブジェクトを作成することができません	オブジェクトの最大数は 1 文書当たり 16 個までです。
オブジェクトの作成ができませんでした 環境を見直してください	OLE サーバが見つからなかったことが考えられます。 WIN.INI や PATH コマンドを見直してください。	

	メッセージ	意味および処置
オ	オブジェクトの変更ができませんでした 変更した項目やシステム環境を確認してください	変更した項目に誤りがあったり、指定した OLEサーバが見つからなかったことが考えられます。変更項目の指定または WIN.INI や PATH コマンドを見直してください。
	オブジェクトは使用中です	オブジェクトが使用中で利用できない場合に表示されます。
	オブジェクトを作成可能なアプリケーションがありません	OLEサーバ機能をサポートしているアプリケーションがインストールされていない場合に、埋め込み型オブジェクト作成コマンドを実行すると表示されます。
カ	カーソル位置に枠がありません。カーソルを枠内に移動してから選択してください	枠外にカーソルがある状態でグラフィック連携を選択しました。 変換対象とする枠内にカーソルを移動してからグラフィック連携を選択してください。
	カーソルは枠外へは移動できません	グラフの端点指定で、カーソルを枠外へ移動させようとしたとき(枠にぶつかったとき)に表示されます。
	該当項目の選択はできません	選択不可能な項目を選択しています。選択可能な項目を選択してください。
	書込保護が設定されているため削除できない文書があります 削除可能な文書を削除しますか	補助の文書削除で、指定された文書に書込保護が設定されている場合に表示されます。削除する場合は、書込保護を解除してから実行してください。
	書込保護が設定されているので置き換えはできません	書込保護が設定されている文書の書き換えを行おうとすると表示されます。書込保護を解除すれば書き換えることができます。
	拡大/縮小の限度を超えました 一部処理できません	拡大/縮小を行った際、一部の図形が限界を超えたときに表示されます。
	拡大/縮小の限度を超えました 処理できません	
	拡張子が重複しています	動作環境で、指定した拡張子に重複するものがあるときに表示されます。重複している拡張子を再度入力してください。 同一の拡張子を2つ以上設定した場合に表示されます。重複した拡張子を削除するか、別の拡張子に変更してください。
	画像を印刷出来ません 画像は無視されます	ビットマップが印刷できないプリンタが指定されている場合に表示されます。 〈了解〉を選択すると、画像は無視され、テキストのみ印刷されます。
	※	
	カットしたい直線の指定に誤りがあります	線画の直線カットをする場合、カーソルで対象とする位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	カプセル型の右端の位置の指定に誤りがあります	線画またはイメージを作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	画面の復元を行います	表移動で移動先を指定するときに、【取消】を押した場合に表示されます。
画面分割中なので処理できません	画面分割中に使用できない操作が指定された場合に表示されます。画面分割を終了してから改めて指定してください。	

	メッセージ	意味および処置
カ	環境設定ファイルが読み込めないためプログラムが実行できません	文書の作成、更新などの処理を連続して複数個起動するときに、タイミングによって表示される場合があります。メッセージに応答したうえで、再度起動し直してください。何度やり直しても起動できない場合には、OASYS/Winの構成ファイルの一部（環境設定ファイル）が何らかの事情で削除されてしまったことが考えられますので、OASYS/Winを再インストールしてください。
	環境設定ファイルが見つかりませんまたは他で使用中です	動作環境や文書交換で、環境設定ファイルが見つからないか、または、他の処理で使用されています。
キ	キー割当て情報が作成できないため設定情報が失われます	何らかの理由で、キー割当て情報を作成、更新できません。現在作成、更新中の処理を終了してからやり直してください。
	キー割当て情報が正しくありません設定済の情報は失われました	何らかの理由で、設定済みのキー割当て情報が壊れていません。OASYS/Winの標準のキー割当てを使用します。
	キー割当て情報が読み込めません	何らかの理由で、設定済みのキー割当て情報を読み込めません。OASYS/Winの標準のキー割当てを使用します。
	キー割当て情報は他で使用中です	キー割当て情報が使用されています。ほかでの使用を終了してから再度実行してください。
	起動パラメータの指定に誤りがあるため実行できません	起動パラメータの指定に誤りがある場合に 표시됩니다。起動パラメータを再度正しく入力してください。
	行間隔（その他／定型）の設定が正しくありません	行間隔を自動設定する場合、その他または定型の設定値に誤りがあるときに 표시됩니다。設定し直してください。
	行情報データがあふれたので取消できません	文書の1か所に集中して非常に多数の修飾などを行うと、1行で表現できる情報量の上限に達して、一部の情報を削除する場合があります。 このような状況では、表作成のように実行後に取り消し操作の可能なコマンドでも、本メッセージが表示され取り消しできない場合があります。 表作成の処理中に、文書の1行に表現できる情報量の最大に達したために容量がなくなり、一部の属性情報を削除して表を作成した場合に表示されます。表自体は正しく作成されます。
	行情報データがあふれました	1行の容量がないところで処理を行うと表示されます。ほかの行で行うか、不要なデータを削除してください。
	行数の設定が正しくありません	行間隔を自動設定する場合、行数の設定に誤りがあるときに表示されます。設定し直してください。
	行内文字数が大きすぎて表示できません	行内文字数が65以上の文書では、袋とじ印刷指定のレイアウト表示ができません。袋とじ印刷の指定を解除するか、行内文字数を64以内に変更してから実行してください。
ク	グラフィックの処理はできません	グラフィック用の残り容量がないため、図形複写でグラフィックの複写ができません。
	グラフ、イメージの登録はできません	OASYS文書で、「文字と線図」または「線図のみ」の指定で図形登録を行うとき、登録しようとする図形にグラフ、イメージが含まれている場合に表示されます。これらを除いた範囲は登録できます。
	グラフ、イメージ、数式の登録はできません	グラフ、イメージ、または数式データの図形登録を行うと表示されます。

	メッセージ	意味および処置
ク	グラフ、イメージ、メタファイル、ビットマップの登録はできません	OASYS2文書で、「文字と線図」または「線図のみ」の指定で図形登録を行うとき、登録しようとする図形にグラフ、イメージ、メタファイル、またはビットマップが含まれている場合に 표시됩니다。これらを除いた範囲は登録できます。
	グラフの目盛間隔の指定が小さすぎます	グラフを作成する枠、およびグラフ表データに合わせて、正しくグラフ作成の指定を行ってください。
	グラフの目盛間隔の指定が小さすぎるので目盛りを印刷することができません	
	グラフ表が16あるのでこれ以上はグラフ表の作成はできません	グラフ表は1文書に16個まで作成できます。不要なグラフ表を削除するか、別文書として作成してください。
	グラフ表が存在しないのでグラフ印刷はできません	グラフの作成後にグラフ表の削除を行った場合に 표시됩니다。文書更新でグラフ表を作成してください。
	グラフ表が存在しません	グラフ表リストで選択した画面にグラフ表が存在しません。新たにグラフ表を作成するか、ほかのグラフ表を選択し直してください。
	グラフ表がないのでグラフの作成/更新はできません	グラフ表が作成されていないとグラフの作成、更新はできません。グラフ表を作成してください。
	グラフ表がないのでグラフ表の更新/削除はできません	文書中にグラフ表がない場合に、更新、削除を指定すると表示されます。
	グラフ表がないのでグラフ表の更新はできません	文書中にグラフ表がない場合に、グラフ表の更新を指定すると表示されます。
	グラフ表作成時にはオブジェクトを作成することができません	グラフ表作成を終了させてからオブジェクトを作成してください。
	グラフ表作成時にはテキストのみリンク可能です	グラフ表で選択型を図形型にしたあと、リンク作成、リンク貼付けコマンドを選択した場合に表示されます。テキスト型で選択してください。
	グラフ表でデータ中に数値のない欄があります	グラフ表の中の数値のない欄に数値を入力してください。
	グラフ表ではこの機能は使用できません	グラフ表の作成、更新で、使用できない機能を実行した場合に表示されます。
	グラフ表の書き方に誤りがあります	グラフ表の書き方が正しくありません。グラフ表を正しく作成し直してください。
	グラフ表の書き方に誤りがあるのでグラフ印刷はできません	グラフ表の書き方が正しくありません。文書更新で、正しく作成し直してください。
	グラフ表の中に指定範囲を超える数値が存在します	グラフを作成する枠、およびグラフ表データに合わせて、正しくグラフ作成の指定を行ってください。
	グラフ表の中に正しくないデータが存在します	グラフ表の書き方が正しくありません。グラフ表を正しく作成し直してください。
	クリップボード上にリンク可能なデータがありません	リンク貼付けコマンドを選んだとき、クリップボードに、Linkフォーマットのデータが複製されていない場合に表示されます。 DDEサーバ機能をサポートしているアプリケーションでクリップボードにデータを複製しても、Linkフォーマットのデータが入っていないときは、リンク貼付けコマンドは実行できません。

	メッセージ	意味および処置
ケ	桁位置の指定に誤りがあります 指定しなおして下さい	桁位置を使ってアウトラインの見出し定義を行うときに、桁位置の指定が、大見出し、中見出し、小見出しの順でないか、行内文字数を超過して指定した場合に表示されます。桁位置を見直してください。
	桁数超過のため処理できません	列方向の表移動、表複写、表挿入などで、処理を続けると表が1行の文字数をはみ出す場合に表示されます。書式設定で桁数を増やすか、処理を行ってもはみ出さない位置に表全体を移動させてください。
	検索・置換の対象になりません	「長い段落」「長い文」「読点の数」は検索・置換の対象にはなりません。
	検索のための索引データがありません ※	CD-ROMに検索データがない場合に表示されます。 CD-ROMを入れ換えて、再度実行してください。
	検索文字はカーソル位置以降にありません	後方向に検索しているときに、検索文字が見つからなかったときに表示され、処理が終了します。
	検索文字はカーソル位置以前にありません	前方向に検索しているときに、検索文字が見つからなかったときに表示され、処理が終了します。
コ	交換先で異常が発生しました	文書の交換先で異常が発生し、処理が続行できないときに表示されます。交換先のフロッピー、ディスクを指定し直して、交換を実行してください。
	交換先に登録パターンがないので交換できません	登録パターン領域を持たないICメモリカードに文字パターンを交換するように指定した場合に表示されます。別の媒体を用意してください。
	交換できないイメージが存在しました	交換できないイメージが存在したときに表示されます（イメージ最大数の制限、またはイメージ不可のフロッピーの場合など）。文書交換は終了しています。
	交換元で異常が発生しました	文書の交換元で異常が発生し、処理の続行ができないときに表示されます。交換元のフロッピー、ディスクを指定し直して、交換を実行してください。
	交換元に登録パターンがないので交換できません	登録パターン領域を持たないICメモリカードから文字パターンを交換するように指定した場合に表示されます。
	交換元の文書が大きすぎる または交換先でサポートしていないデータがあるため文書の一部を削除しました	次のいずれかの現象が発生したときに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 交換先で取り扱える最大の大きさ（文字または図形データ）を超過している場合。 交換先でサポートしていないデータを含んでいる場合。 交換元のOASYS2文書の「半角文字の扱い」が「1文字単位」に設定され、さらに、交換先がOASYS文書で、枠内または枠のある行の文字の境界を変更した結果、一部の文字が失われた場合、または図形の基準点が全角文字の後半（右半分）の位置にあるため交換できず、図形データが失われた場合。 交換先が、行全体を占める枠のみサポートした機種の場合、OASYS文書フロッピーのとき、枠および枠内の図形データが削除された場合。
	更新するデータがありません	アウトラインの見出し番号更新で、更新するデータがない場合に表示されます。あらかじめ見出し番号定義を行ってください。

メッセージ	意味および処置
コ 更新日付に誤りがあります	日付として適切でない値が入力されています。入力し直してください。
項目名を入力してください	リンク作成、リンク変更のダイアログボックスで、項目名を省略することはできません。 サーバアプリケーションのマニュアルを参照し、サーバが認識できる値を入力してください。
この網種では縁なし図形は作成できません	線画作成、線画更新で、線の種類なしのとき、網種□または“なし”を設定した場合には表示されます。線の種類または網種を設定し直してください。
この位置からの登録はできません	枠の線上、文末以降で図形登録はできません。位置を指定し直してください。
この位置からの文字修飾はできません	指定した範囲が複数行で、1行目の文字が行の右端からあふれた場合に表示されます。取り消すと、処理を終了します。実行すると、2行目から処理を行います。
この位置からの読出しはできません	枠の線上で、図形読出しはできません。位置を指定し直してください。
この位置で処理を行うと罫線による表がずれます	ブロックの中では、移動、複写を行っても表が崩れることはありませんが、表（ブロック）の横で行ったときは、隣の表は崩れてしまいます。移動先、複写先をブロックの横以外に指定し直してください。
この位置では一部読出しできません	読み出したデータが枠に入りきらずに、登録行数分の読み出しができなかった場合に表示されます。位置を指定し直してください。
この位置では処理できません	画面禁則を行っているとき、マージン（行端外の点）上に線画を作成することはできません。 枠外では半角換算 127桁を超える線画を作成することはできません。 線画拡張時に枠カーソルが枠外に出るような位置を指定することはできません。 縦罫線上、枠上、またはマージン上では、挿入、削除はできません。また、文末（【文末】を押したときのカーソルの直前）以降では、検索は無効となります。 枠外では線図登録、線図読出しはできません。枠外の線画を登録するときは、文書作成状態で図形登録を行ってください。 枠の上でイメージなどの組み込みや、網かけはできません。 図形移動中の図形入替で、入替先の指定が間違っているときに表示されます。位置を指定し直してください。 表編集の各指定時のカーソルの位置や、移動したカーソルの位置が正しくない場合に表示されます。 数式作成/更新/移動/複写/削除では、枠の上や画面禁則処理の範囲で処理できません。カーソルの位置を指定し直してください。
この位置に端点はありません	図形の端点が近く見つからなかった場合に表示されます。
この位置には網かけが無いので消すことはできません	網かけの削除を行う場合のカーソルの位置が、削除したい網の先頭でないときに表示されます。位置を指定し直してから削除を行ってください。

	メッセージ	意味および処置
コ	この位置には解除する図形はありません	組込み解除をする場合、指定した位置にイメージ、ビットマップ、またはメタファイルがないときに表示されます。
	この位置には飾り罫が無いので消すことはできません	飾り罫線の削除を行う場合のカーソルの位置が、削除したい飾り罫線の先頭がないときに表示されます。位置を指定し直してから削除を行ってください。
	この位置には消し線が無いので消すことはできません	消し線の削除を行う場合のカーソルの位置が、削除したい消し線の先頭がないときに表示されます。位置を指定し直してから削除を行ってください。
	この位置には指定された飾り罫があります	飾り罫線の削除で、指定位置に複数の図形があり、指定された形状の飾り罫線がないときに表示されます。形状を指定し直してから削除してください。
	この位置には数式は置けません	数式作成/移動/複写では、枠の上や、すでに「す」マークが存在する位置には数式を表示できません。カーソルの位置を指定し直してください。
	この位置にはリンクデータがあるので貼付けできません	オブジェクトを貼り付けるとき、貼り付け先の位置にリンクデータの開始点があるため貼り付けはできません。別の位置を指定してください。
	この位置を読出点にすることはできません	指定範囲に図形が入らない場合に表示されます。読出点を指定範囲内に移してください。
	この行では処理できません	1行の作成限界の場合に表示されます。ほかの行で処理を行ってください。
	この行ではデータが失われます	1行の容量が少ないときなどに表示されます。取り消すと位置指定に戻ります。ほかの行に指定し直してください。実行すると行データの一部が失われます。
	この辞書は使用出来ません	使用できない(サポートされていない)CD-ROMをセットしたときに表示されます。
		※ 処理を中止し、CD-ROMをセットし直してください。
	この状態ではツールバー(上・下)の表示はできません	横軸分割中に下画面の行数が少なく、ツールバーの表示行数の追加表示が行えない場合に表示されます。下画面の行数を増やしてください。
	この状態/位置では縦軸分割できません	横軸分割中に縦軸分割はできません。
	この状態/位置では本文編集できません	表示行数が少ない状態で、本文編集を選択した場合に表示されます。ウィンドウを広げてから再度行ってください。
	この状態/位置では横軸分割できません	縦軸分割中に横軸分割はできません。
	この場所には移動/複写できません	マージン上で移動先、複写先の指定はできません。枠の線上で図形移動先、図形複写先の指定はできません。
	この範囲内に図形が存在していません	指定された範囲内に図形が存在しなかったときに表示されます。図形が含まれる範囲を指定してください。
	この範囲内には表を作成できません	範囲指定を先に行ってから表作成を行う場合、指定範囲が小さいため、範囲内に表を作成できないときに表示されます。標準値を設定した画面が表示されますので、行、桁、反復数を設定し直すことができます。または、いったん取り消して範囲指定をやり直してください。
	この表では処理できません	表の一部が切れていたり、形状が複雑な場合に表示されます。表を正しく作成してください。

メッセージ	意味および処置
コ この表では列方向の処理はできません	表移動、表複写、表削除、表挿入で、列方向に処理できないような表が指定されたときに表示されます。表を正しく作成してください。
この表を作成すると取消できません	残り文書量が少ないときに表示されます。そのまま実行すると表は作成されますが、取り消すことはできません。
このファイルは取り扱えません	OASYS/Winでは扱えないイメージデータです。処理を行うことはできません。
このプログラムは登録した装置でしか動作しません	別の装置で使用済みのインストールプログラムが使われています。1つの製品は1台の装置でしか使用できません。または、OASYS/Winのインストールプログラムを使って正しく登録されていません。インストールをやり直してください。
このフロッピーには書類ディレクトリが存在します 初期値設定は書類管理で行って下さい	書類を作成してあるフロッピーに対して「フロッピー文書初期値設定」を行った場合に表示されます。現在の処理を終了し、書類管理の「初期値設定」を行ってください。
このフロッピーは原本なので処理できません	「OASYS文書フロッピー作成」では、OASYSシリーズの原本のフロッピーは使用できません。内容をすべて消してもよい別のフロッピーをセットしてください。
この文書ではイメージ機能は使用できません	イメージを作成できないOASYS文書フロッピーが使用されています。別のフロッピーを使用してください。
この文書には枠がありません 枠を作成してから選択してください	更新中の文書に枠が1つ也没有ありません。枠を作成し、枠にカーソルを移してからグラフィック連携を選択してください。
この文書は性質の異なったデータがある ので実行できません	このバージョンのOASYS/Winではサポートしていないデータが含まれている文書を選択したときに表示されます。別の文書を選択してください。
この文書は取り扱えません	OASYS文書の更新で、OASYS/Winでサポートしていない形式の文書が指定された場合に表示されます。別の文書を指定し直してください。
この文書フロッピーは取り扱えません	推敲支援で、未対応の文書フロッピーがセットされた場合に表示されます。そのフロッピーの形式をサポートしているOASYSシリーズで、推敲支援で対応しているフロッピー形式に文書交換してから処理を行ってください。
この文書フロッピーは取り扱えません 別の文書フロッピーをセットして下さい	取り扱いできない文書フロッピーを指定したときに表示されます。別のフロッピーで処理を行ってください。
この文書フロッピーは取り扱えません	OASYS/Winで、未対応のOASYS文書フロッピーがセットされた場合に表示されます。そのフロッピーの形式をサポートしているOASYSシリーズで、OASYS/Winで対応しているフロッピー形式に文書交換するか、別の文書フロッピーで実行してください。
この文書へは貼り付けできません	貼り付け先のOASYS文書フロッピーは、行全体を占める枠のみサポートした機種のものであり、貼り付ける枠の桁数が行内文字数と一致しないため、枠を貼り付けられません。あらかじめ、貼り付け先の行内文字数に合わせて、元の枠の大きさを変更しておけば、貼り付けできます。
この文は解析できませんでした	1文書が長すぎると解析できない場合があります。他の文書の推敲処理はそのまま継続して行えます。

	メッセージ	意味および処置
コ	この用紙の大きさは選択できません	動作環境で選択されているプリンタでは印刷できない大きさの用紙が選択されています。
	この用紙の種類は選択できません	動作環境で選択されているプリンタでは印刷できない種類の用紙が選択されています。
	この枠内でこれ以上のグラフは作成できません	1つの枠内のグラフや図形の数が多いためにグラフの作成、更新ができない場合に表示されます。不要なグラフまたは図形を削除してください。
	これ以上の読出しはできません	<p>文書中に作成または読み出したイメージに含まれる直線、曲線部分は、画面上で作成したグラフィックと同様に、次のような制限があります（ただし、直線を例とした概算値であり、図形の種類によってその値は減少します）。</p> <p>500個/ 枠 4500個/ 文書（ただし、グラフ表の項目数を含む）。</p> <p>また、イメージの個数制限は、次のとおりです。</p> <p>16個または32個/文書（指定による） 64個/フロッピィ 64個/書類 2048個/ディスク</p> <p>メタファイル、ビットマップファイルの制限は次のとおりです。</p> <p>16/文書</p> <p>なお、上記の値はすべて残り文書量に左右され、残り文書量が少ない場合には、作成または読み出せる個数も少なくなります。</p>
サ	サイズが大きいため処理できません	サイズの指定に誤りがあるときに表示されます。読み込みサイズを小さくしてください。
	最大選択可能数（n n）を越えて選択されました	選択可能な最大数（カッコ内に示された数値）を越えて選択されています。現在選択中の項目の一部を解除して、複数回に分けて処理を行ってください。最大数分だけ処理することは可能です。
	サーバが起動できませんでした 環境を見直してください	OLEサーバがみつからなかったことが考えられます。WIN.INIやPATHコマンドを見直してください。
	サーバを起動できません	オブジェクト作成、編集、実行コマンドを実行時にサーバの起動に失敗すると表示されます。
	作業ファイル作成ディレクトリのパス名が無効です	補助の動作環境で設定した作業ファイル作成ディレクトリが正しくない場合に表示されます。正しく設定し直してください。
	削除するデータがありません	アウトラインの見出し番号削除で、削除するデータがない場合に表示されます。
	作成限界	<p>文書の作成、更新において残り文書量がなくなった場合に表示されます。このメッセージが表示されると、挿入、移動、複写など文書量を増やすような処理はできません。</p> <p>また、編集機能のほかに、かな半角文字やイタリック体なども入力できなくなります。表示後、何行か文書を入力することが可能な場合もありますが、その後カーソルが進まなくなります。文書の入力が不可能な場合は文書の一部を削除するか、別のフロッピィまたは書類で作成してください。</p>

	メッセージ	意味および処置
サ	作成限界 削除のみ有効	文書残り容量がないため、図形移動はできませんが、 【削除】 により図形削除は行えます。
	作成限界のため一部作成できませんでした	表作成にて、作成量限界のため表の一部が作成できなかった場合に表示されます。文書の一部を削除するか、作成する表の行数を減らしてください。
	作成限界のため一部読出しができませんでした	文字や図形の数が多すぎて、処理中に容量がなくなったときに表示されます。文書の一部を削除してから、再度読み出してください。
	作成限界のため繰り返しはできません	作成限界のため、繰り返しのためのデータを退避できません。小さい単位に分けて処理するか、別のフロッピーに移して編集すれば、処理できる場合もあります。
	作成限界のためこの枠内では処理できません	1つの枠内に図形が多いときに表示されます。不要な図形を削除してから行ってください。
	作成限界のためグラフは作成できません	文書中のグラフィックの部分（線画、網かけ、グラフ、グラフ表）の字数が多いため、グラフを新規に作成することができません。不要なグラフィックを削除してください。
	作成限界のためグラフ表の作成はできません	文書中のグラフィックの部分（線画、網かけ、グラフ、グラフ表）の字数が多いため、グラフ表を新規に作成することができません。不要なグラフィックを削除してください。
	作成限界のためこの表を作成できません	残り文書量が少ないときなどに表示されます。行数、反復数を設定し直してください。
	作成限界のためこの枠では処理できません	1つの枠内に図形の数が多いときに表示されます。ほかの図形を削除してください。
	作成限界のためこの枠内では表示できません	文字や図形の数が多い場合に表示されます。枠内に作成できる図形の数には500個までです（グラフ表の項目を含む）。ただし、この値は直線を例とした概算値であり、図形の種類により少なくなります。
	作成限界のため処理できません	線画や網かけを作成するとき、1文書中の図形の数が多いため、新規に図形を作成できない場合に表示されます。 枠外の図形の数が多いため、新規に図形を作成できない場合に表示されます。不要な図形を削除してください。
	作成限界のため貼付けできません	1文書中の最大数を超えるため、メタファイルまたはビットマップの貼り付けができません。
	作成限界のため表示できません	文字や図形の数が多い場合に表示されます。枠内に作成できる図形の数には500個までです（グラフ表の項目を含む）。ただし、この値は直線を例とした概算値であり、図形の種類により少なくなります。
	作成限界のため文書の一部が処理できません	作業ファイルの残り容量が不足するため、選択された範囲全体を処理することができません。処理可能な部分だけ処理されます。 範囲選択を複数回に分けて処理してください。ページ数の多い大規模な文書の編集中に表示される場合には、補助の動作環境で、作業ファイルサイズの指定値を大きくしてください。 作成限界のため、やり直しのためのデータを退避できません。処理後、やり直しは行えませんが、処理を行うことはできます。

	メッセージ	意味および処置
サ	作成限界のためやり直しはできません	作成限界のため、やり直しのためのデータを退避できません。小さい単位に分けて処理するか、別のフロピィに移して編集すれば、処理できる場合もあります。
	作成日付に誤りがあります	日付として適切でない値が入力されています。入力直してください。
	さし込み文書が正しくないため印刷できません	指定されたさし込み文書が見つからないか、読み込めなかった場合に 표시됩니다。指定したさし込み文書を確認し、実行してください。
	さし込み文書が正しくないのですさし込み印刷なしで処理します	設定したさし込み文書が読み込めなかった場合に 표시됩니다。
	さし込み文書が見つからないのですさし込み印刷なしで処理します	「書式設定」で設定したさし込み文書が見つかりません。さし込み文書は、さし込み先の文書と同一の書類やディレクトリに存在する必要があります。確認してください。
	三角形の通過点の指定に誤りがあります	線画またはイメージを作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
シ	四角形終了位置の指定に誤りがあります	線画またはイメージを作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	四角形の通過点の指定に誤りがあります	線画またはイメージを作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	資源不足です 表示できない文字があります	メモリ不足のため、正しく表示できない文字があります。現在実行中の不要な処理を終了させてから再度実行してください。
	資源不足のためイメージが印刷できません	作業用のメモリが確保できないため、イメージの表示または印刷ができません。必要でないプログラムを終了させるか、ディスク内のファイルを整理してから実行してください。
	資源不足のためイメージが表示できません	作業用のメモリが確保できないため、イメージの表示または印刷ができません。必要でないプログラムを終了させるか、ディスク内のファイルを整理してから実行してください。
	資源不足のため交換できないイメージが存在しました	処理に必要なメモリが確保できないため、イメージの交換ができません。イメージを交換せずに文書の交換を続行させるか、ディスク内のファイルを整理してから実行してください。
	資源不足のため最大行数まで表示できません	作業用のメモリが確保できないため、最大行数まで表示できない場合に 표시됩니다。必要でないプログラムを終了して再度実行してください。
	資源不足のため実行できません	資源（メモリ、ハードディスク、システムリソースなど）が不足しています。他のアプリケーションを終了してから起動してください。
	資源不足のため線画・グラフ・イメージが印刷できません	作業用のメモリが確保できないため、線画、グラフ、イメージ、網かけ、消し線などが印刷できません。必要でないプログラムを終了するか、ハードディスク内の空きを整理してから実行してください。
	資源不足のため変換できません 処理を終了します	作業ディスクの空きが足りなくなり、変換できません。 OASYS/Winの作業ディスクのあるドライブの空き容量を増やして再度変換してください。

メッセージ	意味および処置
シ 資源不足のため文字カラーが「有効」では最大行数まで表示できません	作業用のメモリが確保できないため、文字のカラー表示指定が有効では最大行数まで表示できない場合に表示されます。必要でないプログラムを終了するか、文字カラーを無効にして再度実行してください。
資源不足のため文字カラーを有効にできません	作業用のメモリが確保できないため、文字のカラー表示指定を有効にできない場合に表示されます。必要でないプログラムを終了するか、文字カラーを無効にして再度実行してください。
資源不足のためリンク機能を実行することはできません	OASYS/Winの起動時に、処理に必要なメモリが確保できない場合に表示されます。他の機能は実行できる場合もあります。リンク機能を実行する場合は、必要でないプログラムを終了させてから、OASYS/Winを再起動してください。
辞書抹消の対象となりません	推敲辞書の単語抹消対象となるのは「言葉を見直して下さい」と表示されている項目だけです。それ以外の項目は辞書抹消の対象になりません。
下頁印刷位置が大きすぎて表示できません	下頁印刷位置の設定が大きすぎるため、レイアウト表示できない場合に表示されます。下頁印刷位置を設定し直して実行してください。
下頁印刷位置が小さすぎて表示できません	下頁印刷位置の設定が小さすぎるため、レイアウト表示できない場合に表示されます。下頁印刷位置を設定し直して実行してください。
指定先にファイルが作成できません	ルートディレクトリに作成可能な最大ファイル数を越えたときに表示されます。不要なファイルを削除するか、別の保存先を指定してください。
指定されたアプリケーションが存在しません	リンク作成、リンク変更、リンク貼付けコマンドで、ダイアログボックスで設定している途中で、サーバアプリケーションが終了した場合に表示されます。
指定された位置にグラフはありません	グラフの更新、削除を行うときに、カーソルの位置が更新、削除したいグラフの原点（下端、左上端、中心）にないときに表示されます。原点を指定し直してください。
指定されたパスが見つかりません	テキストの複写で、指定したパスが存在しないため複写できない場合に表示されます。処理を終了して、ディレクトリを確認してください。
指定されたファイルのアクセスが拒否されました	指定されたファイルのアクセス権がないため保存できない場合に表示されます。ファイルのアクセス権を変更して再度実行してください。
指定された領域には線図はありません	図形登録の範囲を指定したときに、その範囲にグラフィック（線画、イメージ、グラフ、網、消し線、飾り罫線）が存在しないときに表示されます。範囲を指定し直してください。
指定された枠にはデータがあります データのない枠を選択してください	指定した枠内に、図形が存在しています。グラフィック連携で変換対象とする枠内には図形が存在してはいけません。 枠内にあるすべての図形を消去し、組み込みを解除してからグラフィック連携を選択してください。
指定された枠のサイズが小さいため変換できません	枠が小さいため図面をスケーリングすることができません。枠を大きくしてから、再度変換してください。

	メッセージ	意味および処置
シ	指定したファイルは既に存在しますよろしいですか？	入力されたファイルがすでに存在しています。入力されたファイル名で処理を続行してよいか確認してください。
	指定したファイルが見つかりません	テキスト文書更新時に、指定されたファイルが見つからない場合に表示されます。ファイル名を確認してください。
	指定したファイルが見つかりませんよろしいですか？	入力されたファイルが存在しません。入力されたファイル名で処理を続行するか指定してください。
	指定した文書は他で使用中のため更新できません	同一の文書に対して同時に更新が指定されました。「表示モードに変更する」を選択すると、2つ目以降の文書は、「表示」を選択したときと同様に表示することができます。
	指定の位置には数式がありません	数式更新/移動/複写/削除では、「す」マークのない位置は指定できません。「す」マークの位置を指定してください。
	終了位置の指定に誤りがあります	終了位置の指定に誤りがある場合に表示されます。終了位置を指定し直してください。
	終了してもよろしいですか	OASYS/Winのプログラムの終了が指定されました。本当に終了してよいか確認してください。
	上部余白が大きすぎて表示できません	上部余白の設定が大きすぎるため、レイアウト表示できない場合に表示されます。上部余白を設定し直して実行してください。
	上部余白（左側余白）の指定に誤りがあります	印刷処理メニューの上部余白、または左側余白に設定した値が印刷可能領域を超えてしまう場合に表示されます。印刷は実行されません。
	上部余白の設定が大きすぎます	上部余白に設定した値が、印刷可能領域を超えてしまうときに表示されます。設定し直してください。
	ショートカットキーでは実行できません	ツールバーのショートカットキー使用禁止アイコンにショートカットキーが設定されています。設定を解除してください。
	初期値データファイルが正しくありません	OASYS/Winの構成ファイルの一部（初期値データファイル）が何らかの事情で正しく参照できません。補助の書類管理の初期値設定を行った書類への文書作成時に表示された場合には、初期値設定をやり直してください。その他の場合、または設定をやり直しても再現する場合には、OASYS/Winを再インストールしてください。
	初期値データファイルが見つかりません再インストールを行って下さい	OASYS/Winの構成ファイルの一部（初期値データファイル）が何らかの事情で見つかりません。OASYS/Winを再インストールしてください。
初期値データファイルが見つかりませんまたは他で使用中です	初期値設定や文書交換で、初期値データファイルが見つからないか、または他の処理で使用されています。	
書式に設定されている用紙方向および用紙サイズがプリンタドライバに通知できません	現在選択されているプリンタドライバでは、用紙方向と用紙サイズの設定を、「書式設定」の設定に合わせて変更できません。設定が一致していない場合は正しく印刷できないので、設定を確認し、可能ならば設定を変更してから印刷してください。 メッセージによる印刷の中断を避けたい場合は、動作環境の「印刷環境設定」で、印刷オプションの「用紙サイズと用紙方向はプリンタドライバの設定に従う」を有効にしてください。	

	メッセージ	意味および処置
シ	処理できません	線画移動において、移動先の位置指定で図形がすべて表示されないときに表示されます。移動先の位置を正しく指定し直してください。 線画複写において、複写先の位置指定で図形がすべて表示されないときに表示されます。複写先の位置を正しく指定し直してください。
	処理した結果が大きすぎるので文書の一部が保存できませんでした	一括推敲で、推敲結果文書が1文書の最大作成量を超えたため、文書をすべて保存できなかった場合に表示されます。
	書類が作成されていません	書類環境が作成されていない位置で「マスター暗証番号設定／解除」を行った場合に表示されます。書類管理で書類を作成してください。
	書類が作成できませんでした	書類を作成するディスクに残り容量がないときに表示されます。別のドライブで処理を行ってください。
	書類管理ファイルが見つかりません または他で使用中です	書類管理で、暗証番号設定／解除や書類内文書削除などのコマンド実行時に書類管理ファイルが見つからないか、またはほかの処理で使用されています。
	書類を選択して下さい	書類に対してのみ処理できる機能を、書類以外に対して指定した場合に表示されます。
ス	推敲辞書がありません 再インストールして下さい	推敲辞書が見つからなかった場合に表示されます。 推敲支援をインストールし直してください。
	推敲辞書が使用されているので処理できません	他で推敲辞書を使用中のため処理が行えません。他の処理が終わってからもう一度やり直してください。
	推敲辞書が不良です	推敲辞書の読み書きでエラーが発生した場合に表示されます。 推敲支援をインストールし直してください。
	推敲辞書登録不能	先頭が英数字、記号で始まる単語は推敲辞書に登録できません。これらの単語を登録しようとしたときに表示されます。
	数式ではこの機能は使用できません	数式作成／更新で、使用できない機能を実行した場合に表示されます。
	数式解析異常	入力した数式は文書作成画面に表示できません。
	数式が長すぎるため解析できません	入力した数式が長い場合、文書作成画面に表示できません。 数式をいくつかに分けて作成してください。
	数式が複雑なため解析できません	入力した数式が複雑なため、文書作成画面に表示できません。
	数式の書き方に誤りがあります (網かけ)	「網かけ」の機能マクロ(@pat)を使うとき、指定できる網種以外を指定した場合は、数式を文書作成画面に表示できません。「数式更新」を選択して、もう一度網種を指定し直してください。
	数式の書き方に誤りがあります (移動)	「移動」の機能マクロを使うとき、指定した数値に誤りがあるときは、数式を文書作成画面に表示できません。「数式更新」を選択して、もう一度数値を指定し直してください。
	数式の書き方に誤りがあります (行列)	「行列」の機能マクロを使うとき、マクロに続くbox内のデータに誤りがある場合、または、行列のフォーマット指定(@format)に誤りがある場合は、数式を文書作成画面に表示できません。「数式更新」を選択して、もう一度データを入力し直してください。

	メッセージ	意味および処置
ス	数式の書き方に誤りがあります (サイズ)	サイズの機能マクロ(@size)を使うとき、指定できないポイント数(3~999.5ポイント)以外の数値を入力した場合は、数式を文書作成画面に表示できません。「数式更新」を選択して、もう一度数値を指定し直してください。
	数式の書き方に誤りがあります (box)	box内の「<」と「>」が正しく対応していない場合は、数式を文書作成画面に表示できません。「数式更新」を選択して、「<」と「>」を正しく対応させてください。
	数式の書き方に誤りがあります (文字)	同一box内の機能文字のサイズがそろっていない場合は、数式を文書作成画面に表示できません。「数式更新」を選択して、もう一度半角文字、または¼角文字にそろえて入力し直してください。
	数値が18桁を超えています	計算の結果が18桁を超えたときに表示されます。取り消すと、それまでの計算結果がすべて取り消されます。
	数値が正しくありません	グラフ作成で指定した上限値が、下限値よりも小さいときに表示されます。正しい値を設定してください。 累積層グラフで、下限値に負数を設定したときに表示されます。下限値に0以上の数値を指定してください。 グラフ作成で、幅または間隔の値を0に設定したときに表示されます。1以上の数値を設定してください。 面積グラフで、並べ方を多重以外に設定して間隔および距離の値をともに0に設定したときに表示されます。並べ方を多重にするか、間隔または距離の値として1以上の数値を設定してください。
	図形情報ファイルが正しくありません	文書中の図形情報が何らかの事情で破壊されているため処理できません。
	図形の数が多いため図形の一部に表示できないものがあります	1画面あたりの図形の数が多すぎるときに表示されます。画面の図形の数を減らしてください。
	図形表示モードにしてから実行してください	図形モードでない場合に、図形型で選択したあと、リンク作成、リンク貼付けコマンドを選択したときに表示されます。テキスト型で選択してください。メタファイル、ビットマップをリンクする場合は、図形モードに切り換えてください。
	図形モード以外ではこの機能は使用できません	図形モード以外で、線画、グラフ、グラフ表、イメージなどの図形編集機能を実行したときに表示されます。図形モードにしてから実行してください。
	スタティックオブジェクトではサーバの起動はできません	「リンク解除」を実行してOLEサーバで使用できない状態になっているオブジェクト上でマウスのダブルクリックを行った場合に表示されます。
	スタティックオブジェクトを削除します	「リンク解除」を実行してOLEサーバで使用できない状態になっているオブジェクトを削除する際に、確認のため表示されます。
	すでにCDView/Winは起動されています ※	すでにCDView/Winが起動されているのに、再度起動しようとした場合に表示されます。
	すでに書類が作成されています	書類の作成で、すでに書類が作成されているドライブを指定しています。書類の作成を続行する場合に書類が未作成のドライブを指定してください。

	メッセージ	意味および処置
ス	既に書類が作成済みです	書類が存在する位置に対して書類作成を行った場合に表示されます。現在の処理を終了してください。
	既に設定されているキーです	指定されたキーはすでに他の機能に割り当てられています。割り当て済みのキー割当てを無効または標準割り当てに戻してから、割り当て直してください。
セ	正N角形の中心位置の指定に誤りがあります	線画またはイメージを作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	正N角形の表示角数の指定に誤りがあります	線画またはイメージを作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	正方形の右上端の位置の指定に誤りがあります	線画を作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	接線円の接点の指定に誤りがあります	線画を作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	接線円を作成する接点の指定に誤りがあります	線画を作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	接続する端点が見つかりませんでした	端点接続ありで線図読出を行ったときに、指定したカーソル位置の近くに、接続する図形がなかった場合に表示されます。
	設定できないキーです	かな漢字変換の入力モード変更で使用されるキーや、単独で有効になるキー（削除など）は割り当てに使用できません。
	線画、イメージの貼付けはできません	グラフィック用の残り容量がないため、貼付けでグラフィックの貼り付けができません。
	線図の登録ができませんでした	図形登録領域の空きが少ないときなどに表示されます。このとき、文字は登録されますが、グラフィック（線画、イメージ、グラフ、網、消し線、飾り罫線）は登録されません。
	線図の読出ができません	テキスト編集時の図形読出は、グラフィック（線画、イメージ、グラフ、網、消し線、飾り罫線）を含む図形を読み出すことはできません。
	線図の読出ができませんでした	文書中のグラフィック（線画、イメージ、グラフ、網、消し線、飾り罫線）が多すぎて容量が少ないときに表示されます。不要な線図を削除してから、再度読み出してください。
	選択された項目に誤りがあります	同時に選択できないものを選択しています。選択し直してください。
	選択された書類すべてが未使用書類です	書類削除にて、未使用書類だけが選択された場合に表示されます。書類削除は、使用書類に対してのみ実行できます。
選択されたディレクトリに既に書類の作成されたディレクトリが含まれています 書類が未作成のディレクトリのみ作成します	複数の場所を選択して書類作成を行うとき、すでに書類が作成済みのディレクトリが含まれている場合に表示されます。	

	メッセージ	意味および処置
セ	選択されている使用メモリサイズのレベルでは最大行数まで表示できません	補助の動作環境で選択されている「メモリレベル」では、画面の表示がまったく行えないか、途中の行までしか表示できません。動作環境の「使用メモリサイズ」の設定を大きい値に変更してください。 動作環境で設定されている使用メモリサイズのレベル（1および2）では、最大行数まで表示できません。行数を拡大する場合には、メモリサイズをレベル2または3にして再度実行してください。
	選択されている使用メモリサイズのレベルでは指定の文字サイズでは表示できません	補助の動作環境で選択されている「メモリレベル」では、指定の文字サイズでは表示できません。動作環境の「使用メモリサイズ」の設定を大きい値に変更してください。
	選択されている使用メモリサイズのレベルでは文字カラーを有効にできません	補助の動作環境で選択されている「メモリレベル」では、文字カラーの指定を有効にできません。動作環境の「使用メモリサイズ」の設定を大きい値に変更してください。 動作環境で設定されている使用メモリサイズのレベル（1および2）では、文字のカラー表示指定を有効にできません。文字カラーを無効にするか、使用メモリサイズをレベル2または3にして再度実行してください。
	全文検索では平仮名で始まる文字列は指定できません	「全文検索」では、「題名または文書中の語」の文字列の最初の文字として、ひらがなや記号類は指定できません。指定可能な文字列を入力してください。
	全文検索の環境が整っていません 補助の全文検索情報を行って下さい	全文検索を行うためには、あらかじめ、補助の書類管理の「全文検索情報設定」を行って、検索用の情報を設定する必要があります。 また、文書を作成、更新するたびに、全文検索用の情報も同時に作成、更新するかどうかを、補助の動作環境で設定できます。
全文検索用ファイルが作成できませんでした	システム資源などが不足しているために、全文検索用情報を作成できない場合があります。必要でないプログラムを終了するか、ディスクの空きを整理してから実行してください。	
ソ	挿入中なので処理できません	挿入を行っている途中で、使用不可能なキーを押した場合に表示されます。挿入を終了させてから改めて指定し直してください。 数式作成／更新で挿入を行っている途中、使用不可能なキーを押した場合に表示されます。挿入を終了してから改めて指定し直してください。
	属性が異なるため交換できない文書が存在しました	イメージの取り扱えない OASYS文書フロッピーに対してイメージの存在する文書を交換しようとしたり、枠外イメージの取り扱えない OASYS文書フロッピーに対して枠外イメージの存在する文書を交換しようとした場合に表示されます。 取り扱える OASYS文書フロッピーに交換するか、交換元の文書から交換できないイメージを削除してから交換してください。

	メッセージ	意味および処置
ソ	属性が異なるため実行できません	<p>文書交換で次のいずれかの現象が発生した場合に表示されます。この場合、文書交換は行われません。</p> <p>OASYS文書間での複写の場合にも表示されることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交換元の文書にイメージが存在し、かつ、交換先の OASYS 文書フロッピィがイメージの作成できない機種のものである場合。 交換元の文書に枠外イメージが存在し、かつ、交換先の OASYS文書フロッピィが枠外イメージの作成できない機種のものである場合。 交換元の文書の行内文字数が、交換先の OASYS文書フロッピィで扱える最大の行内文字数よりも大きい場合。
	その他（ドットプリンタ時）の文字数／文字間隔設定はできません	用紙の大きさが「その他」で、ドットプリンタが指定されている場合は、文字数、文字間隔の設定はできません。
タ	対象ディレクトリがありません	存在するディレクトリのパス名を入力し直してください。
	対象とする直線の指定に誤りがあります	線画の直線カット、直線延長をするときに、対象とする位置に誤りがあるときに表示されます。
	縦罫線のある桁を指定して下さい	列方向の表移動、表複写で移動先、複写先を指定するときに、縦罫線上以外の位置を指定した場合に表示されます。位置を指定し直してください。
チ	中央空けの指定に誤りがあります	印刷処理メニューの「下頁印刷位置」の設定が大きすぎ、用紙の印刷できる範囲を超えています。正しい値に修正してください。
	長方形の右下端の位置の指定に誤りがあります	線画またはイメージを作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	直線の終了位置の指定に誤りがあります	
テ	ディスクに空き容量がないので途中で処理を打ち切りました	結果文書の出力先ドライブの空き容量が足りないか、または、推敲支援がインストールされているドライブの空き容量が足りないために、ワーク領域が確保できず処理を中断した場合に表示されます。不要なファイルを削除して空き容量を確保してください。
	ディスクの容量が足りません	ハードディスクに空き領域がありません。ディスクを整理してください。
	ディスクの容量不足です	
	ディスク容量不足のため印刷できません	印刷中にディスク容量が無くなった場合に表示されます。
	ファイルを幾つか削除して使用可能なディスク容量を確保して下さい ※	印刷処理を中止し、使用可能なディスク容量を確保して、再度印刷処理を行ってください。
	テキスト選択されている場合はオブジェクトを作成することができません	テキスト型で範囲が指定されているときに、埋め込み型オブジェクト作成コマンドを実行すると表示されます。範囲指定を解除するか、図形型で範囲を指定してください。
	テキスト文書ではこの機能は使用できません	テキスト文書の作成、更新で、使用できない機能を実行した場合に表示されます。
	点動作でない点が見つかりません	点動作でなければカーソルを端点に移せない場合に表示されます。

	メッセージ	意味および処置
ト	同一ファイル名が既に存在します	文書保存のときに、すでに存在するファイル名が指定された場合に表示されます。
	同項目の昇順/降順は同時に指定できません	整列条件一覧において、同種の整列条件の昇順と降順を同時に指定して「追加」した場合に表示されます。他の整列条件を指定してください。 例) 「↓ファイル名」と「↑ファイル名」を同時に指定した場合
	動作環境が正しくないため実行できません	ツールバー表示用の情報ファイルを正しく読み込めないため、ツールバーに関する処理を実行できません。 OASYS/Winを再起動しても再現する場合は、OASYS/Winをインストールし直してください。
	動作環境が正しくないためツールバー表示できない機能があります	ツールバー表示用の情報ファイルを読み込んでエラーが発生したときに表示されます。 OASYS/Winを再起動しても再現する場合は、OASYS/Winをインストールし直してください。
	同名の文書（またはファイル）が存在します	ファイル名変更で、新しいファイル名として指定したものと同名の文書がすでに存在している場合に表示されます。別のファイル名を指定してください。
	登録数超過のため登録できません 不要な登録データを抹消して下さい	登録できる登録データ数は42個までです。抹消機能（図形抹消、線図抹消）で、不要な登録データを抹消してください。
	登録図形がありません	1つも線図登録されていないときに、線図読出、線図抹消はできません。
	登録データがありません	1つも図形登録されていないときに、図形読出、図形抹消はできません。
	登録プログラムにより正しく登録して下さい	推敲支援のインストールプログラムを使って正しく登録されていません。インストールをやり直してください。
	登録量が多いため処理できません	フロッピーに登録できる線画は直線換算で約2000本です。
	ドライブに文書フロッピーをセットしてください	OASYS文書の保存先のドライブが変更されたときに表示されます。
	ドライブの指定が正しくありません	テキストファイルの保存場所の指定が正しくありません。 「OASYS文書フロッピー作成」では、フロッピーディスクドライブを選択してください。
	ドライブの準備ができていません または他で使用中です	文書などの出力先ドライブにフロッピーがセットされていないか、または、他の処理で使用中です。 ドライブの状態を確認し、再度実行してください。
	ドライブ×の状態を確かめて下さい	フロッピーの場合は、ドライブが準備されていないか、入出力エラーが発生したときに表示されます。 ハードディスクの場合は、入出力エラーが発生したときに表示されます。ドライブの状態を確認してください。
	ドライブ×の容量が不足しています	保存の対象となるドライブを変更してください。
	ドライブがありません	選択されたドライブは未接続のため処理を実行できません。 ドライブを変更してください。
	ドライブがシステムに登録されていません 登録済みハードディスクのドライブを入力して下さい	登録先にシステムに未登録のドライブが指定されています。 登録を続行する場合は、システムに登録されているハードディスクのドライブを指定してください。

	メッセージ	意味および処置
ト	ドライブが他で使用中のためイメージが表示できません	OASYS文書フロッピィ中のイメージを表示しようとしたときに、他のプログラムから同一フロッピィドライブが使用されている場合に表示されます。使用中のドライブの処理を中止するか、ほかのドライブを使用してください。なお、OASYS文書フロッピィ中のイメージの表示中もフロッピィドライブが占有されます。占有状態を一時的に解除するには、図形モードを解除してください。
	ドライブが他で使用中のため実行できません	使用中のドライブの処理を中止するか、ほかのドライブを使用してください。
	ドライブの準備ができていません	ドライブにフロッピィが正しくセットされていないときに表示されます。フロッピィを正しくセットしてください。
ニ	入出力エラーが発生しました	リンク機能実行中に何らかの入出力エラーが発生しました。
	入力されたファイル名が正しくありません	テキストを保存するときに指定したファイル名が、省略されているか、正しくありません。
	入力した暗証番号は正しくありません	入力された暗証番号が正しくないときに表示されます。再度暗証番号を入力してください。
	入力値に誤りがあります	入力した数値に誤りがあります。正しい数値を入力してください。
ノ	残り文書数がないので更新した文書を新文書として保存できません	OASYS文書の保存時に、OASYS文書フロッピィ内に残り文書数がない場合に表示されます。別のOASYS文書フロッピィを指定してください。
	残り文書数がないのでこの文書フロッピィには新文書として保存できません	OASYS文書の更新を選択したときに、指定したOASYS文書フロッピィの中の文書数に空きがない状態の場合に表示されます。不要な文書を削除して実行するか、保存時に別の文書フロッピィをセットしてください。文書を削除する場合は、補助の文書削除を行ってください。
	残り文書数がないので作成した文書を新文書として保存できません	OASYS文書の保存時に、OASYS文書フロッピィ内に残り文書数がない場合に表示されます。別のOASYS文書フロッピィを指定してください。
	残り文書数がないので実行できません	OASYS文書フロッピィの文書数に空きがない場合に表示されます。不要な文書を削除してください。
	残り文書量不足のため交換できないイメージが存在しました	文書フロッピィに残り文書量がなく、イメージの交換ができないときに表示されます。別の文書フロッピィで実行してください。
	残り文書量がないので更新した文書を新文書として保存できません	文書の保存時に、文書を新規に記録できるだけの空き容量がないときに表示されます。「更新した文書のみを保存する」か「元の文書のみを保存する」を選択してください。
	残り文書量がないのでこの文書フロッピィには保存できません	OASYS文書フロッピィに保存するために必要な容量、行数が少ないため保存できません。「別のフロッピィに保存する」を選択し、保存してください。
	残り文書量がないので実行できません	文書容量に空きがない場合に表示されます。不要な文書を削除してください。
	ハードディスクの空き領域が無いため実行できません 再度指定しても実行できない場合はハードディスクをチェックして下さい	ハードディスクに空き領域がないために、OASYS/Winで作成するファイル（作業用の一時ファイルも含む）が作成できない場合に表示されます。ハードディスク内のファイルを整理してから実行してください。

	メッセージ	意味および処置
ハ	倍率の指定に誤りがあります	線画文字の入力で、倍率を 0.2~99.9 の範囲外に設定した場合に表示されます。設定可能な範囲の値を入力してください。 組み込み設定をする場合、表示するイメージの縦横の倍率を 0 または 256 以上に指定した場合に表示されます。1 ~ 255 の範囲で設定してください。
	パラメータファイルが存在しません	HPGL変換に必要な OASAFHU.PRMが見つかりません。グラフィック連携をインストールし直してください。
	貼り付けるデータがありません	受け取れるデータがクリップボードにないときに、貼り付けを行おうとした場合に表示されます。連携複写または図形連携複写を行ったあとに貼り付けを行ってください。
ヒ	ひしがたの右端の位置の指定に誤りがあります	線画またはイメージを作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	左側余白の設定が大きすぎます	左側余白に設定した値が印刷可能領域を超えてしまうときに表示されます。設定し直してください。
	左側余白が大きすぎて表示できません	左側余白の設定が大きすぎるため、レイアウト表示できない場合に表示されます。左側余白を設定し直してから実行してください。
	ビットマップファイルが見つかりませんまたは他で使用中です	ビットマップファイルが見つからないか、または他の処理で使用されています。
	ビットマップを作成できません	フロッピーまたは書類上の残り容量が少ないため、ビットマップの作成ができません。不要なデータを整理してから実行してください。
	表示モードではこの機能は使用できません	初期メニューの「表示」または「オープン」（表示のみ）で開いた文書で、使用できない機能を実行した場合に表示されます。
フ	ファイルが選択されていません	処理対象を選択せずに操作が指定されています。選択してから処理を行ってください。
	ファイル登録数限界のため実行できません	OASYS文書形式、テキスト形式で文書格納位置がルートディレクトリの場合、ファイル数が登録数の限界になったときに表示されます。不要な文書またはファイルを削除するか、文書格納位置をルートディレクトリ以外に指定して文書を作ってください。
	ファイル内に変換可能な図形要素が存在しません	ファイルの中に図形が存在しません。ファイルを確認してください。
	ファイルに異常があります	DXFまたはHPGLファイルの中で文法違反の命令を検出しました。このメッセージは変換ダイアログで DXFファイルを変換するときファイル形式をHPGLとした場合やその逆のケースで発生します。ファイル形式やファイルの内容を確認してから、再度変換してください。
	ファイルの準備ができていませんまたは他で使用中です	文書などの出力先ファイル（フロッピー）が読み込みできない状態にあるか、または、ファイルが他の処理で使用中です。ファイルの状態を確認し、再度実行してください。

	メッセージ	意味および処置
フ	ファイルのデータが多すぎるため 読み込めないデータがありました	<p>入力ファイルにあるデータの一部分が枠内に格納できませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> グラフィックデータ作成元のソフトでデータを減らして再度変換してください。 変換ダイアログの直線近似分解角度を大きくして再度変換してください。 変換モードをエコノミーモード1または2で変換してください。 枠の横方向のサイズを全角63桁以内にしてください。 HPGLデータは、同じ図面を作成元のソフトで DXFにして再度変換してください。
	ファイルのデータ内容が変換制限を超えました	<p>DXFファイルの複合図形定義の階層が深くなり変換の制限を超えました。</p> <p>DXF作成側のシステムで図面の階層を減らしてから再度変換してください。</p>
	ファイルが見つかりません または他で使用中です	<p>文書などの入力ファイルが見つからないか、または他の処理で使用されています。</p>
	ファイルの属性が正しくありません	<p>文書更新時の終了で、更新しようとした文書ファイルのファイル属性が、書き込みできない属性に設定されている場合に表示されます。</p> <p>ファイルシステムで、更新しようとする文書ファイルの属性を確認し、書き込みできるように設定するか、新文書として保存してください。</p>
	ファイル登録数限界のため処理できません	<p>フロッピーのルートディレクトリに格納可能な最大ファイル数を超えるため保存できません。別のフロッピーを用意するか、格納先を変更してください。</p>
	ファイルに入出力エラーが発生しました 処理を中止します	<p>ファイルに入出力エラーが発生しました。フロッピーまたはハードディスクをチェックし、再度実行してください。</p>
	ファイル名が『.BAK』のため保存できません	<p>テキスト文書更新時に、更新文書ファイル名が「.BAK」の場合は、終了時に「両方とも保存する」を指定すると「.BAK」ファイルの作成ができないために表示されます。</p>
	ファイル名が正しくありません	<p>適切でないファイル名を入力した場合に表示します。適切なファイル名を入力し直してください。</p>
	ファイル名またはパス名が違います 不完全な文書が残っています 補助で文書整理を行いますか	<p>正しいファイル名またはパス名を入力してください。</p> <p>OASYS/Win起動時または作成、更新実行時に表示されます。作成、更新中に電源が切れたり、システム異常で異常終了した場合に、作成、更新途中の文書が不完全な文書として残ることがあります。補助の文書整理で復元することができます。</p>
	復元処理でエラーが発生しました ○○文書 復元できませんでした	<p>復元する文書に異常が発生し、処理が続行できないときに表示されます。文書は元のまま残ります。文書整理を再度実行し、「文書整理を行わない」を選択して、文書を削除してください。</p>
	復元処理に必要な情報が足りません ○○文書 復元できませんでした	<p>文書整理を行ったときに、文書を復元するために必要な情報が不十分のため、復元できなかった場合に表示されます。</p>

	メッセージ	意味および処置
フ	復元不可能な文書があります	文書整理で、復元不可能な文書が存在したときに表示されます。その文書は元のまま残されます。文書整理を再度実行し、「文書整理を行わない」を指定して、その文書を削除してください。
	複写先に同名のファイル (XXXX.XXX) が存在します 上書きしますか	テキストの複写で、複写元のファイルと同名のファイルが複写先に存在した場合に表示されます。 複写先のファイルに上書きして複写するか、ファイル名を変更して複写するか、または複写を取り消すかを選択できます。
	複写元の文書が大きすぎる または複写先でサポートしていないデータがあるため文書の一部を削除しました	「交換元の文書が大きすぎる または…」のメッセージの説明を参照してください。
	複数のディレクトリは選択できません	複数の書類またはディレクトリを選択して全文検索情報設定を行った場合に表示されます。書類またはディレクトリを1つだけ選択してやり直してください。
	部分円の終了点の指定に誤りがあります	線画またはイメージを作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
	部分円の通過点の指定に誤りがあります	
	部分円の表示角度の指定に誤りがあります	
	部分円を開始する位置の指定に誤りがあります	
	プリンタが異常です	プリンタに何らかの異常があります。プリンタの状態を確認してください。
	プリンタ出力中に異常が発生しました	プリンタの出力中に異常が発生した場合に表示されます。プリンタの状態を確認してください。
	プリンタドライバの解像度が縦方向と横方向で異なっているため印刷できません 解像度を設定し直して下さい	プリンタドライバの解像度が縦方向と横方向で異なるため印刷できません。プリンタドライバのコントロールパネルで、縦方向と横方向の解像度が等しくなるように設定し直してから印刷してください。なお、変更できない場合には、動作環境の「印刷環境設定」で、印刷オプションの「用紙サイズと用紙方向はプリンタドライバの設定に従う」を有効にすれば、メッセージは表示されません。
	プログラムが実行できません	システム資源などが不足しているために、プログラムが実行できない場合があります。必要でないプログラムを終了させるかディスクを整理してから実行してください。 また、インストールが正しく行われていない場合もあります。
	プログラムが実行できません 再度インストールを行って下さい	OASYS/Win起動時に表示されます。インストールが正しく行われていません。再度インストールし直してください。
	フロッピーが書込禁止になっています	文書フロッピーが書き込み禁止のため処理ができないとき表示されます。
	フロッピーが書き込み禁止になっています 書込み可能にして実行キーを押して下さい	フロッピーが書き込み禁止状態になっています。処理を続行する場合は、フロッピーのプロテクトを解除してください。
	フロッピーが準備されていません	ドライブにフロッピーがセットされていません。フロッピーを正しくセットしてください。

	メッセージ	意味および処置
フ	フロッピィが他で使用中のため実行できません	ほかの文書ドライブを指定してください。
	フロッピィが違います	ドライブにセットされているフロッピィが指定のフロッピィではありません。フロッピィを確認してください。 処理の途中でフロッピィが入れ換えられたときに表示されます。元のフロッピィをセットしてください。 複写または交換を、同一のフロッピィドライブを使用して行ったとき、フロッピィ交換時に複写または交換先の場所として指定したディレクトリが存在しないフロッピィをセットした場合に表示されます。正しいフロッピィに入れ換えてください。
	フロッピィが抜かれました 処理を中止します	フロッピィドライブをアクセスしている最中にフロッピィを抜いた場合に表示されます。セットし直して実行してください。 なお、フロッピィドライブをアクセスしている最中にフロッピィを抜いた場合は、そのフロッピィが使用できなくなる場合がありますので注意してください。
	フロッピィが抜かれました セットして下さい	フロッピィが抜かれたのでセットしてください。
	フロッピィがプロテクト状態です	フロッピィにプロテクトがかかっています。プロテクトシールが付けられている場合は、シールをはずしてください。
	フロッピィドライブは選択できません	ハードディスクを指定しなければならないときに、フロッピィのドライブを指定した場合、表示されます。別のドライブを指定し直してください。
	フロッピィドライブを選択して下さい	OASYS文書の処理時、または補助のフロッピィ文書初期値設定で、ハードディスクが指定されたときに表示されます。フロッピィドライブを指定してから処理を行ってください。
	フロッピィが正しくありません	セットされているフロッピィが正しくありません。抜えるフロッピィをセットし直してください。
	フロッピィに不良箇所があります	フロッピィに不良箇所があります。別のフロッピィを指定して、実行を行ってください。
	フロッピィの空きイメージ数がありません	OASYS文書フロッピィにイメージを保存する際に、保存可能な最大個数を超えるため、イメージを保存することができません。別のフロッピィを用意して保存してください。
	フロッピィの空き容量がありません	OASYS文書フロッピィにイメージを保存する際に、フロッピィの空き容量が不足しているため、新たにイメージを保存することができません。別のフロッピィを用意して保存してください。
	フロッピィのプロテクトを外して下さい	フロッピィが書き込み禁止状態になっています。プロテクトをはずしてください。
	フロッピィをセットして下さい	ドライブにフロッピィがセットされていません。フロッピィを正しくセットしてください。
	文書が大きすぎるので形式変換により文書およびグラフィックデータの一部分が削られる場合があります	形式変換中に、残り文書量が足りなくなったときに表示されます。取り消すと、元の状態に戻ります。実行すると、グラフィックデータの一部分が失われます。

	メッセージ	意味および処置
フ	文書が大きすぎるので文書の一部が禁則できない場合があります	一括禁則中に、残り文書量が足りなくなったときに表示されます。取り消すと、元の状態に戻ります。実行すると、一部禁則されない部分があります。
	文書が正しくないため実行できません	指定された文書が不正のため、処理できない場合に表示されます。 正しくない文書は、更新または印刷、補助の文書複写、交換でも使用できません。 このメッセージが表示された場合は、補助の文書複写で、その書類にある複写可能な文書のみをほかの書類にすべて複写し、書類内文書削除で書類内のファイルをすべて削除してから使用してください。 ファイルシステムなどで、書類内のファイルを不正に操作した場合に正しくない文書ができますので、書類内のファイル操作を行わないように注意してください。
	文書が正しくないため複写できませんでした	複写元の文書が正しくないときに表示されます。 正しくない文書は、更新または印刷でも使用できません。 このメッセージが表示された場合は、その書類にある複写可能な文書をはかの書類にすべて複写し、書類内文書削除で書類内のファイルをすべて削除してから使用してください。 ファイルシステムなどで、書類内のファイルを不正に操作した場合に正しくない文書ができますので、書類内のファイル操作を行わないように注意してください。
	文書が見つかりません	OASYS文書フロップィの形式が異常であるため処理できません。
	文書管理ファイルがないのでさし込み印刷なしで処理します	ハードディスクに保存された OASYS文書でさし込み印刷を行う場合、あらかじめ OASYS文書を保存したハードディスクのディレクトリ内に文書管理ファイルを作成し、文書番号が指定できるようにしておく必要があります。補助の書類管理の「管理情報設定」を行ってください。
	文書管理ファイルがないので連続印刷なしで処理します	ハードディスクに保存された OASYS文書で連続印刷を行う場合、あらかじめ OASYS文書を保存したハードディスクのディレクトリ内に文書管理ファイルを作成し、文書番号が指定できるようにしておく必要があります。補助の書類管理の「管理情報設定」を行ってください。
	文書管理ファイルで管理できる最大数を超えました	文書管理ファイルで管理できる最大数（512）を超えたため、保存した文書などが文書管理ファイルに登録できない場合に表示されます。文書管理ファイルを使用する場合は、一つの書類またはディレクトリ内の文書数を最大数以下にしてください。 なお、保存した文書はそのままでは一覧に表示されないのので、保存した書類やディレクトリ内の不要な文書やファイルを削除してから、補助の書類管理の「管理情報設定」を行ってください。
	文書形式を変更しての保存はできません	資源不足などのため文書形式を変更して保存できない場合に表示されます。

メッセージ	意味および処置
フ 文書サイズが大きいため補助動作環境設定で設定されている作業ファイルサイズでは処理できません	更新指定文書のサイズが大きいため、動作環境で設定されている「作業ファイルサイズ」では処理できない場合に 표시됩니다。補助の動作環境で「作業ファイルサイズ」を大きくして、実行してください。
文書整理の必要はありません	補助の文書整理を実行したときに、文書整理の対象となるファイルがない場合に 표시됩니다。
文書展開中のため書式設定はできません	印刷指定画面が表示された直後に、「書式設定」を選択すると表示される場合があります。 印刷のための前処理が完了していないことを示しますので、数秒待ってから再度実行してください。
文書ドライブの指定が正しくありません	文書ドライブの指定を正しく行ってください。
文書内の枠データが多いため、変換できないデータがありました	文書に存在する枠と枠内のデータが多いため格納容量を超えるデータがありました。 他の文書に枠を作成し、再度変換してください。
文書内の枠データが多いため、変換できません	文書に存在する枠と枠内のデータが多く、格納できる容量がなくなりました。 他の枠内の線画などを削除したあと再度変換するか、削除できるデータがない場合は、他の文書に枠を作成し、変換してください。
文書に不良箇所があるのでイメージが印刷できません	OASYS文書フロッピーに不良箇所があるためにイメージ表示または印刷ができません。その OASYS文書フロッピーを取り扱える OASYSシリーズで、フロッピー文書修復を行ってください。
文書に不良箇所があるのでイメージが表示できません	OASYS文書フロッピーに不良箇所があるか、またはフォーマットが不適当な場合に 표시됩니다。正しい OASYS文書フロッピーをセットしてください。
文書に不良箇所があるので処理できません	OASYS文書フロッピーに不良箇所があるか、またはフォーマットが不適当な場合に 표시됩니다。正しい OASYS文書フロッピーをセットしてください。
文書の整理を行う必要があります 整理中はウィンドウに対する操作は行えません	処理中の OASYS文書フロッピーが、文書整理の必要な状態になっています。 文書整理を開始すると、完了までに数分程度の時間がかかりますが、処理中にはウィンドウに対する操作は行えませんので注意してください。
文書ファイルが正しくありません	文書ファイルが何らかの事情で破壊されているため処理できません。
文書ファイルが見つかりません	文書ファイルの形式が異常であるため処理できません。
文書ファイルが見つかりません または他で使用中です	文書ファイルが見つからないか、または他の処理で使用されています。
文書フロッピーが正しくありません	セットされている OASYS文書フロッピーが正しくありません。扱える OASYS文書フロッピーをセットし直してください。
文書フロッピーが抜かれました セットして下さい	OASYS文書の保存時、OASYS文書フロッピーを正しくセットしてください。
文書フロッピーでないため処理できません	OASYS文書フロッピー以外が設定されています。OASYS文書フロッピーをセットしてください。

	メッセージ	意味および処置
フ	文書フロッピーに空きイメージ数がありません	OASYS文書フロッピーに保存できる最大イメージ数に達しているため、これ以上イメージを保存することはできません。別のフロッピーに保存してください。
	文書フロッピーに不良箇所があります	新しい OASYS文書フロッピーと交換してください。
	文書フロッピーにプロテクトがされています	文書フロッピーが書き込み禁止状態になっています。プロテクトをはずしてください。
	文書フロッピーのプロテクトをはずして下さい	OASYS文書フロッピーがプロテクトされている場合に表示されます。プロテクトをはずしてください。
へ	ヘルプデータが存在しません	何らかの事情でヘルプの表示データが見つからないため表示できません。インストールをやり直してください。
ホ	ポイントの指定に誤りがあります	ポイントが 0.5～ 127.5ポの間で 0.5刻み以外のときに表示されます。
	保存先に空き領域がありません 別の保存先を選択して下さい	保存場所のフロッピー、ディスクに残り容量がなく、処理ができないときに表示されます。別の保存場所を指定してください。
	保存先に不良箇所があります	保存場所のフロッピー、ディスクに不良箇所があるときに表示されます。別の保存場所を指定してください。
	本文となってしまう見出しがあります	アウトラインのレベル変更で、見出しを下げることにより、見出しから本文になってしまう場合に表示されます。
	本文編集はこの機能は使用できません	アウトラインの本文編集には使用できない機能です。本文編集を終了してから選択してください。
マ	マスター暗証番号が設定されていません	マスター暗証番号が設定されていないのに、解除しようとしたときに表示されます。
ミ	見出しレベル変更で文字あふれが起きました	桁位置を使ってアウトラインの見出し定義を行うときに、アウトラインの見出しレベル変更で、見出しを下げるることにより文字があふれた場合に表示されます。
	未フォーマットのためこのドライブには登録できません 別のドライブを指定して下さい	初期化されていないドライブへの登録が指定されました。フォーマット処理を行ってから登録してください。
メ	メタファイルが見つかりません または他で使用中です	メタファイルが見つからないか、または他の処理で使用されています。
	メタファイルまたはビットマップファイルが混在しています	OASYS2イメージ管理の「交換(出)」では、イメージ(TIFF)のみ選択できます。イメージだけを選択してください。
	メタファイルを作成できません	フロッピーまたは書類上の残り容量が少ないため、メタファイルの作成ができません。不要なデータを整理してから実行してください。
	メモリエリアの不足です	登録処理を実行するのに必要なメモリが足りません。マシン環境を確認してください。
	メモリが不足です	他のプロセスでメモリを使用中です。他のプロセスを終了させてください。
	メモリが足りないために処理が継続できません	メモリ不足のため、連携複写の処理が継続できないときに表示されます。
	※	処理を中止します。

	メッセージ	意味および処置
メ	メモリ不足のため印刷出来ません Windowsアプリケーションをいくつかクローズして使用可能なメモリを確保して下さい ※	印刷中に、メモリが不足したときに表示されます。印刷処理を中止し、使用可能なメモリを確保して、再度印刷処理を行ってください。
モ	文字が入力されていません	線画文字の入力や線図登録の読みの入力で、何も文字を入力せずに実行した場合に表示されます。
	文字間隔（その他／定型）の設定が正しくありません	文字間隔の自動設定において、その他、定型の設定値に誤りがあるときに表示されます。設定し直してください。
	文字数の自動設定はできません	レイアウト表示から書式設定を指定して自動設定を実行した場合に表示されます。レイアウト表示を行っている場合は、行内文字数を変更することはできません。
	文字数の設定が正しくありません	文字間隔の自動設定において、文字数の設定に誤りがあるときに表示されます。設定し直してください。
	文字サイズ24のフォントはインストールされていないため文字サイズ16に切り換えます	インストールされていない文字サイズが選択されたときに通知されます。
	文字パターン登録区番号が重複しています	動作環境で、指定した文字パターン登録区番号に重複するものがあるときに表示されます。重複している登録区番号を入力し直してください。
	元の文書フロッピーと違います	処理途中で、文書フロッピーが入れ換えられた場合に表示されます。元の文書フロッピーをセットしてください。
	模様「なし」では縁取り「あり」は選択できません	線画文字機能の飾りを入力するとき、模様「なし」で縁取り「あり」は選択できません。模様を設定するか、縁取りを「なし」に設定してください。
ヨ	用紙が小さいため実行できません	プリンタドライバで設定されている用紙の大きさでは小さすぎるため、一覧表の表示内容が印刷できません。用紙の大きさの設定を見直してください。必要な用紙サイズについては、『リファレンスマニュアル』を参照してください。
	用紙の幅が小さいため印刷されない部分があります	プリンタドライバで設定されている用紙の大きさでは幅が小さいため、一覧表の表示内容の一部が印刷されません。用紙の大きさの設定を見直してください。
	用紙長の指定に誤りがあります	用紙の大きさが「その他」の場合の長さの設定に誤りがあります。上部余白と下部余白の和が用紙長を超えないように設定してください。
	用紙の大きさ、その他長さの設定が正しくありません	用紙の大きさで、「その他」の長さとして「0」は設定できません。また、設定可能な数値以上を設定した場合は、自動設定は行えません。
	用紙の大きさ、その他幅の設定が正しくありません	用紙の大きさで、「その他」の幅として「0」は設定できません。また、設定可能な数値以上を設定した場合は、自動設定は行えません。
	用紙の大きさの指定に誤りがあります	用紙の大きさの設定が正しくありません。設定し直してください。印刷は実行されません。
	用紙の長さははみ出したページがあります	行間隔が大きいかまたは1ページの行数が多く、設定した用紙の長さを超えてはみ出すとき表示されます。書式設定で、行間隔または1ページの行数を設定し直してください。

	メッセージ	意味および処置
ヨ	用紙サイズの指定に誤りがあります	選択されたプリンタで印刷できない用紙サイズが設定されています。確認のうえ設定を変更してください。
	用例がありません	用例表示の対象となるのは「言葉の使い方を見直してください」「言葉の使い方の用例があります」と表示されている項目だけです。それ以外の項目は用例表示の対象とはなりません。
	横罫線のある行を指定して下さい	行方向の表移動、表複写で移動先、複写先を指定するときに、横罫線上以外の位置を指定した場合には表示されます。位置を指定し直してください。
	余白の指定に誤りがあります	用紙の外に印刷するように設定されます。 用紙の中に印刷できるように設定し直してください。
リ	リンク可能なアプリケーションがデスクトップ上に存在しません	DDEサーバ機能をサポートしているアプリケーションが起動されていない場合に、リンク作成コマンドを実行すると表示されます。
	リンク可能な数を超えるためリンクすることができません	リンク可能な最大数は、テキスト、メタファイル、ビットマップ共に1文書当たり16個までです。なお、メタファイルとビットマップは、貼付け、組込み設定を含め、文書全体で16個ずつまで作成可能なので、リンクされていないメタファイル、ビットマップがあると、リンク可能な数はそれだけ少なくなります。
	リンクされているオブジェクトは保存できませんでした	資源不足またはファイルのアクセス権がないなどの理由により、オブジェクトの保存が行えない場合に表示されます。必要でないプログラムを終了するか、保存先の状態を確認して再度実行してください。
	リンク要求が拒否されました	次のような状況のため、リンクの要求がサーバアプリケーションから拒否されました。 <ul style="list-style-type: none"> ・項目名に誤りがある。 ・指定したファイルが起動されていない。 ・指定したフォーマットをサポートしていない。 ・その他（サーバアプリケーションがリンクできる状況にならない場合など） サーバアプリケーションのマニュアルを参照して、指定した内容に誤りがないか確かめてください。
	利用者数が規定値に達しているため起動できません	現在の利用者数が、OASYS/Win LANPACKで設定されている同時使用可能最大利用者数に達しているため起動できません。他の利用者が終了したあとに起動してください。同時使用可能最大利用者数を拡大するには、LANPACKの追加購入が必要です。
レ	レベル変更できない見出しがあります	アウトラインのレベル変更で、見出しでない行をレベル変更しようとした場合に表示されます。
	連続印刷文書が正しくないため印刷できません	指定された連続印刷文書がみつからないか、読み込めなかった場合に表示されます。指定した連続印刷文書を確認し、実行してください。
	連続印刷文書が正しくないので連続印刷なしで印刷します	設定した連続印刷文書が読み込めなかった場合に表示されません。

	メッセージ	意味および処置
レ	連続印刷文書が見つからないので連続印刷なしで処理します	「書式設定」で設定した連続印刷文書が見つかりません。連続印刷文書は、さし込み先の文書と同一の書類やディレクトリに存在する必要があります。確認してください。
	連続線の通過位置の指定に誤りがあります	線画またはイメージを作成する場合、カーソルまたは数値で図形の大きさや位置を指定しますが、その指定に誤りがあるときに表示されます。
ワ	枠があるので処理できません	表編集の処理中、次のような場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・行方向の表移動、表複写、表削除、表挿入で、指定した欄の左右どちらかに枠がある場合 ・列方向の表移動、表複写、表削除、表挿入で、指定した欄の右に枠がある場合 ・表分割、表結合、表整理で、指定した表の左右どちらかに枠がある場合
	枠外ではイメージ読出できません	この OASYS 文書フロッピィでは、枠の外にイメージをはみ出すことはできません。枠空けを行ったあと、枠内に読み出してください。
	枠外でのグラフは作成できません	枠の外でグラフの位置と大きさを指定しようとしたときに表示されます。グラフを作成する枠の中で指定してください。
	枠の上では処理できません	枠上で網かけや線画の処理はできません。線画読出の表示開始位置が枠上のときは、線図の読み出しは行われません。カーソルを枠内に移動してください。
	枠の外では処理できません	線画処理において、枠外で処理できない操作をしようとしたときに表示されます。必要なら枠空けを行ってください。線画読出の表示開始位置が枠外のときは、線図の読み出しは行われません。カーソルを枠内に移動してください。

OAK/Winの異常メッセージ

OAK/Winを使っているときに表示される、いろいろな異常メッセージとその対処方法について、次の6つに分けて説明します。

1. OAK/Winインストール時のエラーメッセージ
2. キーカスタマイズ時のエラーメッセージ
3. 単語登録・単語抹消時のエラーメッセージ
4. 辞書アクセス時のエラーメッセージ
5. 辞書管理時のエラーメッセージ
6. OAK/Winダイアログボックス呼出時のエラーメッセージ

1. OAK/Winインストール時のエラーメッセージ

	メッセージ	意味および処置
英 字 ・ 数 字	FDドライブへのインストールは出来ません	インストール先にフロッピディスクを指定しました。別のインストール先を指定してください。
	INSTALL. INFが見つかりません。指定した位置にあることを再度確認してください	インストールに必要なINSTALL. INF ファイルが見つかりません。 ファイルをもう一度確認してください。
	OAK/WinはWindowsのバージョン3.0以上で動作します	Windowsのバージョンが3.0未満です。 バージョン3.0以上のWindowsにインストールしてください。
	TANDIC. OLD (現在使用している辞書の前の辞書)が存在しています。TANDIC. OLDを削除してよろしいですか [いいえ]でインストールを中止します	現在使用している辞書の前の辞書が存在しています。 [はい]を選ぶと、TANDIC. OLDが削除され、既存の辞書がTANDIC. OLDとなり、新規の辞書に置き換えられます。 既存の辞書を使う場合は、[いいえ]を選びます。
	Windowsディレクトリに十分なディスク容量がありません	指定先のディスク内の容量が不足しています。 ディスク内の容量を確保してください。
	Windowsのシステムサブディレクトリに十分なディスク容量がありません	指定先のディスク内の容量が不足しています。 ディスク内の容量を確保してください。
	アクセスできません；ファイルを複写することができません	ファイルを複写することができません。 終了して、再度ファイルを確認してください。
	インストール中です。 本当にインストールを中止して良いですか	インストール中に【ESC】または【取消】を押しました。 インストールを中止する場合は「はい」、続行する場合は「いいえ」を選択します。
イ	インストールに必要なメモリが不足 ません。他のアプリケーションを終了 するなどしてから再度実行してくだ さい。	インストールに必要なメモリが不足 しています。 他のアプリケーションを終了するな どして、インストールに必要なメモ リを確保してください。
	オ	オープンしているファイルが多すぎ ます
カ	書き込みエラー；ファイルを複写す ることができません	ファイルの書き込み中にエラーが発 生しました。 終了して、ファイルを確認してくだ さい。
コ	このフロッピでは正しくインストール できません	フロッピが不良です。 正しいフロッピをセットしてくださ い。
シ	指定されたドライブは、SETUPされ ていません	SETUPされていないドライブを指定 しました。 SETUPされているドライブをもう一 度指定し直してください。
	指定したインストール先に十分なディ スク容量がありません	指定先のディスク内の容量が不足 しています。 ディスク内の容量を確保してくださ い。
テ	ディスク容量が不足しています	ディスク内の容量が不足しています。 ディスク内の容量を確保してくださ い。
	ディスク容量不足でインストール出来 ない場合があります。 [了解]でインストールを実行します。 [取消]でインストール先指定画面に もどります。	インストールしようとしているディ スクの空き容量が不足し ている場合があります。 別のディスクにインストールする か、そのまま処理を続行し ます。
ト	ドライブの指定に誤りが有ります 正しいドライブ名を再度入力してく ださい	ドライブの指定に誤りが有ります。 正しいドライブ名を入力してくださ い。
	ドライブの準備が出来ていません	ドライブの準備が出来ていません。 ドライブの準備をしてください。

	メッセージ	意味および処置
ネ	ネットワークエラー；ファイルを書き写ることができません	エラーが発生しました。 終了してファイルを確認してください。
ハ	バスの指定に誤りがあります	バスの指定が違います。 正しいバスを入力し直してください。
フ	ファイルが見つからない、ファイルを書き写できません	ファイルが存在しません。 終了して、正しいファイルを確認してください。
	フロッピーが書き込み禁止になっています	フロッピーにライトプロテクトがかかっています。 フロッピーを書き込み可能な状態にしてください。
	フロッピーが違います 正しいフロッピーを挿入してください	フロッピーが違います。 正しいフロッピーを挿入し直してください。
	フロッピーに異常が発見されましたので、処理を中断しました。	フロッピーに異常があるため、処理が中断されました。 正しいフロッピーに挿入し直してください。
ヨ	容量不足でディレクトリを作成できません [了解] で終了します	ディスク内の容量が不足しています。 終了して、別のディスクに設定してください。

2. キーカスタマイズ時のエラーメッセージ

	メッセージ	意味および処置
エ	英数字を設定する場合はCTRL+英数字にしてください	英数字を設定するときにCTRLがついていません。 英数字を設定する場合はCTRLをつけて設定してください。
カ	かな漢字キーは複数設定することは出来ません	かな漢字キーに対し複数の設定を行おうとしました。 現在の設定を解除してから再度設定し直してください。
ス	既に設定されているキーです	設定したキーは既に別の機能キーとして設定されています。 機能キーごとに設定されているキー一覧を確認して再度設定し直してください。
セ	設定できないキーです	指定したキーでは設定できません。 別のキーに設定し直してください。
フ	プログラムファイルが見つからないため、コマンドを実行することができません	OAK/Win専用DLL "FMLIOAK6.DLL"が Windowsの格納ディレクトリにありません。 "FMLIOAK6.DLL"を Windowsの格納ディレクトリ内に設定してください。

3. 単語登録・単語抹消時のエラーメッセージ

	メッセージ	意味および処置
オ	同じ単語がすでに辞書に登録されています	以前に登録してある単語を、単語登録しようとした。 同じ単語を登録することはできません。
ト	登録ヨミが省略されています	登録読みが入力されていないので登録できません。 登録読みを入力してください。
	登録ヨミの辞書の区画に空きがありません	登録しようとした読みの区画に空き容量がありません。 読みを変えて、登録し直してください。 また、辞書管理の一覧表示を使用して、登録しようとした読みに似た不要な名詞表現を抹消してから登録し直してください。

	メッセージ	意味および処置
マ	抹消不能	辞書に存在しない単語や動詞表現を抹消しようとした。辞書に存在する単語を抹消する場合は、単語辞書で単語を読み出してから抹消します。また、動詞表現は抹消することはできません。
ヨ	読みの指定に誤りがあります	登録単語の読みの指定に誤りがあります。正しい読みを指定し直してください。

4. 辞書アクセス時のエラーメッセージ

	メッセージ	意味および処置
カ	かな漢字と単語登録のいれが合わない、または内容が異なるためかな漢字変換出来ません。辞書を確認してください。	初期化ファイルで指定して辞書がインストールされた辞書ではありません。初期化ファイルで指定した辞書を確認してください。
	漢字辞書のオープンに失敗したためかな漢字変換ができません。漢字辞書または初期化ファイルを確認してください。	漢字辞書のオープンに失敗しました。漢字辞書または初期化ファイルを確認してください。
	漢字辞書のクローズに失敗しました。漢字辞書を確認してください。	漢字辞書のクローズに失敗しました。漢字辞書を確認してください。
シ	辞書書き込みに失敗しました。	辞書の書き込みに失敗しました。辞書の一部が破壊されている可能性があります。辞書を確認してください。
	辞書読み込みに失敗しました。	辞書の読み込みに失敗しました。辞書の一部が破壊されている可能性があります。辞書を確認してください。
ク	初期化ファイルの漢字辞書の指定に誤りがあるためかな漢字変換ができません。初期化ファイルを確認してください。	初期化ファイルの漢字辞書の指定に誤りがあります。初期化ファイルの漢字辞書の指定を正しく設定してください。
	初期化ファイルの単語辞書の指定に誤りがあるためかな漢字変換ができません。初期化ファイルを確認してください。	初期化ファイルの単語辞書の指定に誤りがあります。初期化ファイルの単語辞書の指定を正しく指定してください。
	単語辞書のオープンに失敗したため漢字変換ができません。単語辞書または初期化ファイルを確認してください。	単語辞書のオープンに失敗しました。単語辞書または初期化ファイルを確認してください。
ク	単語辞書のクローズに失敗しました。単語辞書を確認してください。	単語辞書のクローズに失敗しました。単語辞書を確認してください。

5. 辞書管理時のエラーメッセージ

	メッセージ	意味および処置
英 字 ・ 数 字	OAK/Winが選択されていません。	OAK/Winが選択されていません。コントロールパネルの「かな漢」でOAK/Winを選択してください。
	OAK/Win辞書管理の抽出ファイルではありません。処理を中止します	指定された名前のファイルがOAK/Winの辞書管理で作成されたものではありません。OAK/Win辞書管理で作成されたファイルを確認してください。

	メッセージ	意味および処置
シ	辞書サーチ条件に誤りがあります。	読みの範囲を確定しようとしてエラーになりました。 範囲を確認してください。
	辞書サーチに失敗しました。	辞書一覧を検索中、エラーが発生しました。 辞書を確認してください。
	辞書はOAK専用の単語辞書を選択してください。	抽出ファイルからの登録時、MS-DOS辞書などを登録しようとして しました。 OAK専用の辞書を選択し直してください。
	辞書名の指定に誤りがあります。	辞書名指定ダイアログボックスでの辞書の指定に誤りがあります。 辞書名指定ダイアログボックスで正しい辞書名を指定します。
	実行中の処理を終了しますか？	抽出中、または登録中に取消が選択されました。 処理を終了するときは[はい]、続行する場合は[いいえ]を選択します。
	指定した辞書が見つかりません。	指定したディレクトリに辞書が存在しません。 正しいディレクトリを指定してください。
	指定した抽出ファイルが見つかりません。	ファイル名指定ダイアログボックスで指定したファイルがディレクトリに存在しません。 抽出ファイルを確認してください。
ス	既にファイルが存在しています [はい]でファイルを置き換えます [いいえ]でファイル名の指定に戻ります	指定したファイル名と同じ名前のファイル名が存在します。 置き換えを指示するか、ファイル名の指定に戻って別のファイル名を指定します。
	チ	抽出ファイルのオープンに失敗しました。 抽出ファイルへの書き込みに失敗しました。
テ	同名のファイルが存在します。上書きしてもよろしいですか？	指定された名前のファイルが存在しています。 上書きする場合は [はい]、上書きをしないときは [いいえ] を選択します。
フ	ファイルに入出力エラーが発生しました。	ファイルを開く、閉じる、読み込む、書き込むときなどに失敗しました。 ファイルを確認してください。
	ファイル名の指定に誤りがあります。	ファイル名指定ダイアログボックスでのファイル名の指定に誤りがあります。 ファイル名指定ダイアログボックスで正しい辞書名を指定します。
ヨ	ヨミの指定に誤りがあります。	読みの指定に誤りがあります。 正しい読みを指定してください。
リ	利用者登録語ではありません。	一覧から単語修正を行おうとして選択した単語が、利用者登録語ではありません。 利用者登録語を指定してください。

6. OAK/Winダイアログボックス呼出時のエラーメッセージ

	メッセージ	意味および処置
フ	プログラムが見つからないため、コマンドを実行できません。	OAK/Win専用OAKCMD.EXEが見つかりません。 OAKCMD.EXEを確認してください。

本体部の異常時の処置

フロッピーの容量超過時の処置

「作成限界」や「資源不足のため実行できません」などのメッセージが表示されると、それ以上文書の作成、更新処理を行うことができなくなります。これらのメッセージが表示された場合は、次のような処置を行ってください。

●フロッピーの許容量を超えている場合

1枚のフロッピーに収納可能な文書量または文書数を超えている場合は、まず「文書複写」の機能を使って、作成した文書を新しいフロッピーに複写します。そのあと元のフロッピーの文書を削除すると、元のフロッピーに空き領域ができ、作成、更新処理ができるようになります。

プリンタ部の異常時の処置

印刷時の異常は、次の項目をもう一度チェックしてください。

こんなとき	よくある事例	ここをお調べください
<ul style="list-style-type: none"> ●誤字を印字 ●文字が抜けて印字 ●余分な文字を印字 	<ul style="list-style-type: none"> ●印刷した文書が間違っている ●プリンタドライバの設定ミス 	<ul style="list-style-type: none"> ●「更新」を利用して文書の内容を確認します ●プリンタドライバを確認します
<ul style="list-style-type: none"> ●ドットが抜けて印字 ●印字が薄い 	<ul style="list-style-type: none"> ●トナー切れ ●印字リボンの不良 	<ul style="list-style-type: none"> ●トナー、リボンを交換してテストを行います
<ul style="list-style-type: none"> ●用紙の紙送りをしない 	<p><u>単票のとき</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●単票／連帳選択レバーの位置が単票以外 <p><u>連続用紙のとき</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●用紙送りのトラクタに用紙をセットしていない 	<ul style="list-style-type: none"> ●単票／連帳選択レバー ●トラクタ
<ul style="list-style-type: none"> ●用紙の紙送りが不安定 	<p><u>単票のとき</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●用紙のセットミス <p><u>連続用紙のとき</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●単票／連帳選択レバーのセットミス 	<ul style="list-style-type: none"> ●用紙のセット状態 ●単票／連帳選択レバー
<ul style="list-style-type: none"> ●用紙がないのに印字を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ●単票／連帳選択レバーのセットミス 	<ul style="list-style-type: none"> ●単票／連帳選択レバー

※プリンタ装置の取扱説明書を合わせて参照してください。

交換できるフロッピー一覧

▶ 文書交換および文字パターン交換を行えるフロッピーを示します。

交換できるフロッピー

文書交換および文字パターン交換できるフロッピーは、次のとおりです。

	OASYSの機種	文書交換できるフロッピー	フロッピーサイズ
OASYS500 300 200 100 70 50 45 35シリーズ	500GX 300DP、200DP、100DP 300A/90、300A/45 200A 100HX II、100HF 100FX II-L、100FX-L 70SX、70AF、70SF	文書フロッピー	5インチ または 3.5インチ
	100GX-CD 100GX、100HX 100H、100G 100G II、100GS 100FX、100FX II 100FX III	文書フロッピー	5インチ
	100F、100F II 100R	文書フロッピー 文書・辞書フロッピー	
	100L	文書・辞書フロッピー	
	100N	文書・システムフロッピー	
	OASYS30シリーズ	文書フロッピー システムフロッピー(30AF)	3.5インチ
	FM-OASYS	文書フロッピー 文書・辞書フロッピー	5インチ 3.5インチ

注意

- OASYSフロッピーEF(2ED)は使用できません。
- 文書の保存先などにOASYSフロッピーEFをセットすると、エラーメッセージが表示されますが、フロッピーアクセスの自動再試行が行われるため、エラーメッセージが表示されるまでに、1～2分程度の時間がかかります。

文書交換時の注意点

▶ OASYS文書やテキストファイルをOASYS2文書に交換したり、OASYS2文書を OASYS文書やテキストファイルに交換したりできます。文書交換時の注意事項を示します。

テキストファイル→OASYS2文書の注意点

- テキストデータ以外のデータを含むファイルを選択した場合、交換した文書は意味をもたないものになります。
- 交換対象となるのは文字データなので、文字データのみ交換されます。
- 「書式設定」の「詳細書式」で、「半角文字の扱い」を「2文字単位」に設定して交換した結果、半角文字奇数個のうしろに全角文字がくるような場合、奇数個の半角文字コードのうしろに半角文字詰めを挿入して、全角文字を続けます。
- 交換する際には、次の表のようなコード変換が行われます。

テキストファイル中のコード	OASYS2文書
0D0A (CR+LF)	改行 (<I>)
0D (CR)	改行 (<I>)
0A (LF)	改行 (<I>)
0D0C (CR+FF)	改頁 (□)
0C (FF)	改頁 (□)
09 (TAB)	8文字間隔のタブ設定とみなして、次のタブ位置まで半角空白で埋められる
1A (EOF)	ファイルの終了として扱う
00~1F (上記以外)	半角空白に置き換えられる
7F	
80	
A0	
FD~FF	

- テキストファイルの濁点、半濁点のついたカタカナは、OASYS2文書では半角カタカナ1文字に置き換えられます。
(例)

	テキストファイル	OASYS2文書
かな半角カタカナ (濁点)	か ^ゝ	カ
	キ ^ゝ	キ
	ク ^ゝ	ク
	ケ ^ゝ	ケ
	コ ^ゝ	コ
かな半角カタカナ (半濁音)	ハ [゜]	ハ
	ヒ [゜]	ヒ
	フ [゜]	フ
	ベ [゜]	ベ
	ホ [゜]	ホ

OASYS2文書→テキストファイルの注意点

改行、改頁、右端設定について

改行、改頁、右端設定の位置は、次のように交換されます。

OASYS2文書	テキストファイル
改行 (◁)、改段 (☒)、頁抑止 (回)	ODOA (CR+LF)
改頁 (□)	ODOC (CR+FF)

その他の交換について

OASYS2文書	テキストファイル
登録半角文字	半角空白に置き換えられる
半角ひらがな、ひらがな添字	半角カタカナまたは全角ひらがなに置き換えられる *
欧文文字	半角空白に置き換えられる
半角詰め	無視し、データは捨てられる
下線/傍点	無視し、データは捨てられる
枠コード	「=」に置き換えられる
左端設定より左の領域	無視し、データは捨てられる
印刷制御用の制御文字 (均等割付、区点検索、注記文など)	半角空白2つに置き換えられる
方向、字体指定 (縦書き、横書き、縮小、ゴシック体、明朝体など)	無視し、データは捨てられる
印刷制御用の制御文字	
グラフ、図形、イメージ	無視し、データは捨てられる

* OASYS変換形式で、全角ひらがなに置き換えると、字ずれがおきたり、表がずれることがあります。

- OASYS2文書のかな半角文字のカタカナは、テキストファイルでも半角のカタカナに置き換えられますが、濁音、半濁音は2文字で表現されます。

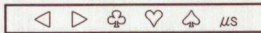
(例)

OASYS2文書		テキストファイル
かな半角カタカナ (濁音)	ガ	ガ
	キ	キ
	グ	グ
	ゲ	ゲ
	ゴ	ゴ
かな半角カタカナ (半濁音)	バ	バ
	ビ	ビ
	ブ	ブ
	ベ	ベ
	ボ	ボ

特殊文字の変換

交換するときに、「特殊文字の処理」を「交換する」に設定すると、特殊文字は、疑似表示や全角空白、「=」に置き換えられます。

- 次の記号は、該当するものがないので「=」に置き換えられます。



- 次の記号や文字は、次のように置き換えられます。

OASYS2文書	テキストファイル	OASYS2文書	テキストファイル
!	:]]
'	'	[[
"	"]]
`	`	{	{
•	•	}	}
'	'	<	<
•	•	>	>
	—	《	《
	—	》	》
	—	「	「
	—	」	」
	—	『	『
	—	』	』
≡		【	【
—		】	】
∴	…	↓	↓
∴	…	↑	↑
∴	…	←	←
∴	…	→	→
”	“	©	©

QASYS2文書	テキストファイル
“	”
（	（
）	）
〔	〔

QASYS2文書	テキストファイル
®	℞
づ	ヅ
カ	カ
ケ	ケ

- ローマ数字は、全角の英字または半角の英字を組み合わせたものに置き換えられます。

QASYS2文書	テキストファイル
I	I
II	II
III	III
IV	IV
V	V
VI	VI
VII	VII
VIII	VIII
IX	IX
X	X

QASYS2文書	テキストファイル
i	i
ii	ii
iii	iii
iv	iv
v	v
vi	vi
vii	vii
viii	viii
ix	ix
x	x

- 括弧付きの文字は、半角英字と半角の「」を組み合わせたものに置き換えられます。

QASYS2文書	テキストファイル
(a)	a)
(b)	b)
(c)	c)
(d)	d)
(e)	e)
(f)	f)
(g)	g)
(h)	h)
(i)	i)
(j)	j)
(k)	k)
(l)	l)
(m)	m)

QASYS2文書	テキストファイル
(n)	n)
(o)	o)
(p)	p)
(q)	q)
(r)	r)
(s)	s)
(t)	t)
(u)	u)
(v)	v)
(w)	w)
(x)	x)
(y)	y)
(z)	z)

	QASYS2文書	テキストファイル
単 位 記 号	ms	ms
	ns	ns
	ps	ps
	KB	KB
	MB	MB
	GB	GB
	Hz	Hz
	mb	mb
	in	in
	cm ¹	cm2
	m ²	m2
	km ²	km2
	cm ³	cm3
	m ³	m3
	HP	HP
	メートル	メートル
センチ	センチ	
キロメートル	キロメートル	
グラム	グラム	
キログラム	キログラム	

	QASYS2文書	テキストファイル
単 位 記 号	ページ	ページ
	トン	トン
	キロ	キロ
	ミリ	ミリ
特 殊 記 号	インチ	インチ
	1/2	1/2
	1/4	1/4
	アバ	アバト
特 殊 記 号	ビル	ビル
	マンション	マンション
	コーポ	コーポ
	ハイ	ハイ
	株	株
	TEL	TEL
	TEL	TEL
	〒	〒
	〒	〒
	No	No
KK	KK	

- 括弧くくりは、次のように置き換えられます。

QASYS2文書	テキストファイル
〔	〔
〕	〕
〔	〔
〕	〕
〔	〔
〕	〕
〔	〔
〕	〕
〔	〔
〕	〕

QASYS2文書	テキストファイル
〕	〕
〕	〕
〕	〕
〕	〕
〕	〕
〕	〕
〕	〕
〕	〕
〕	〕
〕	〕

- 点付きの数字は、半角数字と「.」を組み合わせたものに置き換えられます。

QASYS2文書	テキストファイル
0.	0.
1.	1.
2.	2.
3.	3.
4.	4.

QASYS2文書	テキストファイル
5.	5.
6.	6.
7.	7.
8.	8.
9.	9.

- 括弧付き数字は、半角数字と半角の「）」を組み合わせたものに置き換えられます。

OASYS2文書	テキストファイル
(1)	1)
(2)	2)
(3)	3)
(4)	4)
(5)	5)
(6)	6)
(7)	7)
(8)	8)
(9)	9)
(10)	10)

OASYS2文書	テキストファイル
(11)	11)
(12)	12)
(13)	13)
(14)	14)
(15)	15)
(16)	16)
(17)	17)
(18)	18)
(19)	19)
(20)	20)

- グラフ模様は、該当するものがないので「■」に置き換えられます。



- 丸付き数字は、半角の数字に置き換えられます。

OASYS2文書	テキストファイル
①	1
②	2
③	3
④	4
⑤	5
⑥	6
⑦	7
⑧	8
⑨	9
⑩	10
⑪	11
⑫	12
⑬	13
⑭	14
⑮	15
⑯	16

OASYS2文書	テキストファイル
⑰	17
⑱	18
⑲	19
⑳	20
㉑	21
㉒	22
㉓	23
㉔	24
㉕	25
㉖	26
㉗	27
㉘	28
㉙	29
㉚	30
㉛	31

罫線変換の例

文書交換形式の「罫線変換」は、「特殊文字の処理」を「交換する」に設定した場合のみ設定できます。

OASYS2文書→OASYS文書の注意点

通常、作成したとおりに交換されますが、交換先の機種および機能により、次の注意事項がありますので注意してください。

● 文書容量による制限

- ・ 交換の結果、交換先の1文書の最大容量を超える場合には、超えた部分は削除されます。
- ・ グラフまたは線画などのグラフィックデータが、フロッピーの最大容量を超える場合には、超えた部分は削除されます。
- ・ OASYS 30AFに文書交換する場合、枠番号1以外の枠、グラフ表番号1、2以外のグラフ表は、削除されます。また、枠外線画が30AFの最大容量を超えている場合は、30AFの最大容量までは交換されますが、超えた部分は交換されません。

● 文字パターン交換の注意

- ・ 文字パターンを交換しない場合は、交換先の文書の文字パターンに置き換わります。
- ・ 文字パターンを交換する場合、交換先の文字パターン領域が交換元より少ないと、はみ出した部分は交換されません。交換後の文書をOASYSシリーズで画面に表示すると、はみ出した部分の文字パターンは⊗で表示され、印刷時には空白となります。

● 文書交換時に交換できない情報

- ・ 文書に組み込まれたビットマップ、メタファイルは交換されません。
- ・ DDE、OLEのリンク情報は、交換されません。
- ・ 制御記号を使わずに文字拡張/修飾で指定した情報は、交換時に取り消されます。

● 交換先の文書フロッピーの形式による制限

- ・ 1行の文字数を97桁以上に設定して作成した文書は、100F II、100Fの標準文書/イメージ文書として初期化したフロッピー、100Gシリーズの標準文書/イメージ文書として初期化したフロッピー、100R、100L、100Nのフロッピーには交換できません。
- ・ 1行の文字数を103桁以上に設定して作成した文書を、OASYS30AF、30AF II、30SFのフロッピーに交換する場合、文書の桁数と同じ桁数で作成されていない枠は削除されます。また、その枠内にあった線画やグラフも削除されます。

● 交換先では、交換された文書は未分類となります。

- 「書式設定」の「詳細書式」で「半角文字の扱い」を「1文字単位」に設定している場合、全角文字はすべて全角文字境界にそろえられます。ただし、この場合、枠内に存在する図形データの位置は変わりません。

枠内で、文字と図形の位置がずれた場合は、交換先の文書上で図形を移動させてください。

「書式設定」の「書式詳細」で、「半角文字の扱い」を1文字単位に設定している場合、作成したとおりに交換されないことがあります。この場合の交換方法を次に示します。

- 半角文字の組み合わせは次のようになります。OASYSでは組み合わせられない場合は、半角空白1個分が挿入されます。

OASYS2文書

・ A あ B ぃ C う D え E ぉ F か G き H く I っ J こ < <
 ・ < <
 ・ ドイ っ < <
 ・ < <
 ・ AMERICA っ < <
 ・ < <



OASYS文書

・ A あ B ぃ C う D え E ぉ F か G き H く I っ J こ < <
 ・ < <
 ・ ドイ っ < <
 ・ < <
 ・ AMERICA っ < <
 ・ < <

- 半角文字と全角文字の組み合わせは、半角文字のうしろに半角空白1個分が挿入されます。
 - ・半角文字と全角文字が混在している場合

OASYS2文書

A地点からC地点を通して会社へ行きます。
 2才の赤ん坊が喋り始めました。
 判りの首は長い。
 ドイ っ < <。



OASYS文書

A 地点からC 地点を通して会社へ行きます。
 2 才の赤ん坊が喋り始めました。
 判り の首は長い。
 ドイ っ < <。

- ・下線が付いている場合

OASYS2文書

A地点からC地点を通って会社へ行きます。
2才の赤ん坊が喋り始めました。
初づの首は長い。
ドイック。



OASYS文書

A 地点からC 地点を通って会社へ行きます。
2 才の赤ん坊が喋り始めました。
初づ の首は長い。
ドイ ック。

- ・傍点が付いている場合

OASYS2文書

A地点からC地点を通って会社へ行きます。
2才の赤ん坊が喋り始めました。
初づの首は長い。
ドイック。



OASYS文書

A 地点からC 地点を通って会社へ行きます。
2 才の赤ん坊が喋り始めました。
初づ の首は長い。
ドイ ック。

グラフ表の中に全角文字と半角文字が混在している場合、半角空白が挿入され、文字がずれることがあります。ただし、グラフ表の縦の罫線を越えた文字は削除されます。交換の結果、半角空白が挿入され、1行の文字数が多くなった場合、あふれた文字は次の行へ字送りされます。

- 作成可能桁数に達したときは、残りの行は捨てられます。

OASYS2文書

今回のグラフでは、希望者を募ったプロジェクトを組みます。川で下りを計画しております。豪華なだけでなく、ゆっくりとしたひとときをお過ごしください。



OASYS文書

今回のグラフでは、希望者を募ったプロジェクトを組みます。川で下りを計画しております。豪華なだけでなく、ゆっくりとしたひとときをお過ごしください。

- 文章中の罫線は文字と同じ扱いになります。

OASYS2文書

	A	B	AクラスとBクラスの生徒を対象に、テニスの試合と、野球のどちらを見に行くかの意見調査をしたところ、右のような結果になった。
テニス	85	45	
野球	80	50	



OASYS文書

生徒	A		B	AクラスとBクラスの生徒を対象に、テニスの試合と、野球のどちらを見に行くかの意見調査をしたところ、右のような結果になった。
の試合				
	テニス	85	45	
	野球	80	50	

- 枠の横や、枠内の文字があふれた場合、あふれた部分は次行に送られずに削除されます。
- 枠内で作成した図形はそのまま交換されます。ただし、作成可能行数の残りが2行以下のときに、新たな枠がある場合は、枠コードは半角空白2個に置き換えられます。
- 作成可能行数に達したときには、その行で枠は終わりになります。
- 枠外で作成した図形は次のように交換されます。
 - ・ 直線 長さが半角奇数個の場合、半角1個分短くなります。
 - ・ 長方形 左上端と右下端の長さが半角奇数個の場合、半角1個分小さくなります。
 - ・ ひしがた 上端と右端の長さが半角奇数個の場合、半角2個分小さくなります。
 - ・ カプセル型 上端の中心と右端の長さが半角奇数個の場合、半角1個分小さくなります。
 - ・ 楕円 上端と右端の長さが半角奇数個の場合、半角2個分小さくなります。
 - ・ R型長方形 上端の中心と右端の長さが半角奇数個の場合、半角2個分小さくなります。

文字パターン交換時の注意点

▶文字パターン交換時の注意事項を示します。

文字パターンの登録場所の注意点

- 文字パターンを登録する領域や、登録できる個数は、機種やフロッピィなどによって違います。
- 交換先の区画に元からあった文字パターンは失われます。
- 交換先の登録場所が交換元より小さい場合は、入る分だけ交換されます。
- 交換元と交換先とでパターンドット数が違う場合は、交換先のドット数に合わせてパターンが自動的に作成されます。ただし、パターンは多少変形します。

OASYS→Windowsの対応関係

- 交換先の文字パターンのうち、文字パターン登録が可能なすべてのパターンに対して交換が行われます。
- 交換元と交換先に同一サイズの文字パターンが存在する場合は、対応するパターンファイル間で交換が行われます。
- 交換元と交換先に同一サイズの文字パターンが存在しない場合は、交換先のサイズより大きいものの中で、最も大きさの近いパターンが縮小されて交換されます。交換先のサイズより大きいパターンが存在しない場合は、交換先のサイズより小さいものの中で、最も大きさの近いパターンが拡大されて交換されます。
- 交換元で未登録のパターン(OASYSシリーズでは縦の2本線で埋められています)は交換されず、交換先では元のパターンがそのまま残ります。
- 登録半角文字は同一の区の全角文字にも交換されます。

Windows→OASYSの対応関係

- 明朝体の文字パターンのみ交換元になります。ただし、「明朝体F」の文字パターンからは交換されません。
- 交換元と交換先に同一サイズの文字パターンが存在する場合は、対応するパターンファイル間で交換が行われます。
- 交換元と交換先に同一サイズの文字パターンが存在しない場合は、交換先のサイズより大きいものの中で、最も大きさの近いパターンが縮小されて交換されます。交換先のサイズより大きいパターンが存在しない場合は、交換先のサイズより小さいものの中で、最も大きさの近いパターンが拡大されて交換されます。
- 交換元で未登録のパターン(空白)も交換の対象となり、交換先では、元のパターンは上書きされます。

一太郎文書の読み込み時の変換規則

▶一太郎文書を読み込むときの変換規則を示します。

変換時の注意点

- 読み込む文書のほうが行内文字数が多い場合、折り返して読み込まれます。その際、折り返し位置の残り桁数が不足すると、文字の大きさが変わって読み込まれる場合があります（拡大文字が標準の大きさの文字になるなど）。
- 次の属性は読み込まれません。
網かけ、取消線、斜線罫線・矢印、括弧罫線
- 縦倍角、4倍角の縦方向の拡大は、一太郎 Ver.3では行単位で、Ver.4では文字単位で変換されます。
- 罫線の改行は、変換後は行内文字数に含まれます。
- 下線と文字の色指定が異なる場合は、文字の色指定を優先して変換されます。
- 0改行（上書き）は、標準の行間隔に変換されます。
- ロックの指定は変換後は無効です。文字は変換されます。
- 枠、図形、組込みは空白になり、図形データは変換されません。
- 特殊文字は、対応する記号などに変換されます（次ページ以降の表を参照してください）。
- 全角外字は、一太郎 Ver.3では95区へ変換されます。Ver.4ではそのままのコードとなります。
半角外字は空白になります。
- アンダーラインや罫線は、OASYS/Winで使用可能な線種に変換されます。
- 強調は、太文字に対応付けられます。
- ヘッダ、フッタは変換されません。

特殊文字交換一覧表 (一太郎特殊文字 (Ver. 4)→OASYS2特殊文字)

一太郎	OASYS2	一太郎	OASYS2	一太郎	OASYS2	一太郎	OASYS2	一太郎	OASYS2
㊦	適	IV	IV	ㄨ	C	✓	√	kV	kV
㊧	増	V	V	ㄝ	∩			Wb	Wb
㊨	優	VI	VI	ㄥ	∩	ㄣ		kH z	kH z
㊩	標	VII	VII	ㄨ	∩	ㄣ		pH	pH
㊪	減	VIII	VIII	ㄨ	∩	≈	=	ppm	ppm
㊫	㊫	IX	IX	ㄝ	∩	≈	~	F	F
㊬	項	X	X	ㄥ	∩	±	=	H20	H20
㊭	基	#	#	ㄨ	∩	±	=	Hg	Hg
㊮	秘	b	b	ㄝ	∩	<	<	m/m	m/m
㊯	特	♪	♪	ㄨ	∩	>	>	c/c	c/c
㊰	調	†	†	ㄨ	∩	<	<	HP	HP
㊱	印	‡	‡	ㄨ	∩	>	>	Å	Å
㊲	禁	¶	¶	ㄥ	∩	△	∠	ε	ε
㊳	往	⊕	↑	ㄨ	∩	±	±	∞	∞
㊴	濟	!!	!!	€	€	L	L	U	U
㊵	出	/	!	∞	∞	J	J	∩	∩
㊶	欠	//	!!	£	€	μ	μ	∠	∠
㊷	㊷	!?	!?	∨	∨	X	X	⊥	⊥
㊸	TM	↑↓	↓↑	∧	∧	h	h	((
㊹	TEL	↕	↔	∩	∩	∞	∞	≡	≡
㊺	㊺	↑↓	↓↑	sin	sin	∂	∂	∞	∞
㊻	AN	↕	↔	cos	cos	∇	∇	∞	∞
㊼	PM	▲	▲	tan	tan	R	R	∴	∴
㊽	㊽	▼	▼	log	log	C	C	∫	∫
㊾	㊾	▶	▷	lim	lim	N	N	∫	∫
㊿	x	◀	◁	mb	min	%	%	E	E
%	c/o	○	○	mm	max	∞	∞	Å	Å
±	1/2	○	○	∞	-	∞	∞	E	E
1/3	1/3	♣	♣	∞	/	m	m	U	U
2/3	2/3	♣	♣	∞	+	g	g	Å	Å
1/4	1/4	♥	♥	∞	x	m	m	E	E
3/4	3/4	♦	♦	↔	↔	de	de	I	I
→	⇒	預	平成	↪	→	l	l	O	O
←	⇐	⇒	⇒	↩	↓	cal	cal	U	U
↑	⇑	⇐	←	✓	←	th	t/h	Å	Å
↓	⇓	↔	↔	↩	↑	nh	n/h	E	E
I	I	∅	○	↪	→	dh	l/h	Y	I
II	II	C	C	↔	↔	mA	mA	∅	∅
III	III	∩	∩	↔	↔	mV	mV	∅	∅

一太郎文書の読み込み時の変換規則

一太郎	OASYS2	一太郎	OASYS2	一太郎	OASYS2	一太郎	OASYS2	一太郎	OASYS2
Ç	Ç	I	I	Φ	1	Υ	Y	⑥	⑥
œ	œ	ô	O	Φ	2	Ζ	Z	⑦	⑦
ß	ß	š	S	Φ	3	@	a	⑧	⑧
é	é	Û	U	Φ	4	⑩	b	⑨	⑨
à	à	Ž	Z	Φ	5	©	c	⑩	⑩
è	è	Æ	AE	Φ	6	④	d	⑪	⑪
ù	ù	Ł	L	Φ	7	⑤	e	⑫	⑫
â	â	Ø	O	Φ	8	⑦	f	⑬	⑬
ë	ë	á	á	Φ	9	⑥	g	⑭	⑭
ï	ï	i	i	Φ	10	⑨	h	⑮	⑮
ö	ö	ó	ó	Φ	11	①	i	⑯	⑯
û	û	ú	ú	Φ	12	②	j	⑰	⑰
ä	ä	i	i	Φ	13	③	k	⑱	⑱
ë	ë	ò	o	Φ	14	④	l	⑲	⑲
ÿ	ÿ	ÿ	y	Φ	0	⑩	m	⑳	⑳
ö	ö	á	a	①	A	⑩	n	㉑	0
ü	ü	é	e	②	B	⑩	o	㉒	①
ç	ç	i	i	③	C	⑩	p	㉓	②
œ	œ	ó	o	④	D	⑩	q	㉔	③
Á	A	ú	u	⑤	E	⑩	r	㉕	④
í	I	ä	a	⑥	F	⑩	s	㉖	⑤
ó	O	ë	e	⑦	G	⑩	t	㉗	⑥
Ú	U	i	i	⑧	H	⑩	u	㉘	⑦
ï	I	ñ	n	⑨	I	⑩	v	㉙	⑧
ó	O	ó	o	⑩	J	⑩	w	㉚	⑨
ÿ	Y	û	u	⑪	K	⑩	x	㉛	⑩
Á	A	ä	a	⑫	L	⑩	y	㉜	⑪
È	E	é	e	⑬	M	⑩	z	㉝	⑫
í	I	ï	i	⑭	N	⑩	ア	㉞	⑬
ó	O	ó	o	⑮	O	⑩	イ	㉟	⑭
Ú	U	š	s	⑯	P	⑩	ウ	㊱	⑮
Ā	A	û	u	⑰	Q	⑩	エ	㊲	⑯
È	E	ž	z	⑱	R	⑩	オ	㊳	⑰
ÿ	I	æ	ae	⑳	S	⑩	0	㊴	⑱
Ñ	Ñ	l	l	㉑	T	⑩	①	㊵	⑲
ó	O	ø	o	㉒	U	⑩	②	㊶	⑳
Û	U	a	a	㉓	V	⑩	③	㊷	æ
Ā	A	o	o	㉔	W	⑩	④	㊸	a
È	E	1	i	㉕	X	⑩	⑤	㊹	o

一太郎	OASYS2	一太郎	OASYS2	一太郎	OASYS2	一太郎	OASYS2	一太郎	OASYS2
Λ	a	É	E	e	e	Ê	E	ê	e
ə	e	À	A	θ	s	Í	I	í	i
æ	e	Ê	E	ð	z	Ô	O	õ	o
ε	e	Û	U	ƒ	ʃ	Ó	U	š	s
θ	s	À	A	ʒ	z	Ā	A	û	u
ð	z	É	E	o	ng	Ê	E	ž	z
ƒ	ʃ	Í	I	í	i	Í	I	æ	ae
ʒ	z	Ô	O	é	e	Ñ	Ñ	ı	ı
ŋ	ng	Û	U	æ	ae	Û	O	ø	o
ı	i	Ā	Ā	á	a	Û	U		
é	e	E	E	á	a	Ā	A		
æ	ae	Í	I	ó	o	Ê	E		
á	a	Û	Û	ú	u	Í	I		
á	a	Û	Û	á	a	Û	O		
ó	o	Ç	Ç	é	e	Š	S		
ú	u	Œ	Œ	é	e	Û	U		
Ā	a	ß	ß	é	e	Ž	Z		
ó	e	é	é	ó	o	Æ	Æ		
é	e	à	à	ı	ı	L	L		
é	e	è	è	è	e	Ø	O		
ó	o	û	û	æ	ae	á	á		
ı	i	á	á	á	a	í	í		
è	e	è	è	á	a	ó	ó		
æ	ae	ı	ı	ó	o	ú	ú		
á	a	õ	õ	ú	u	ı	ı		
à	a	û	û	á	a	ó	o		
ó	o	ā	ā	è	e	y	y		
ú	u	è	è	è	e	á	a		
Ā	a	ı	ı	è	e	è	e		
è	e	ó	ó	ó	o	ı	ı		
è	e	û	û	:	:	ó	o		
è	e	ç	ç	Ā	Ā	ú	u		
ó	o	æ	œ	ı	ı	á	a		
:	:	æ	ae	ó	ó	è	e		
		a	a	Û	U	ı	ı		
		o	o	ı	ı	ñ	n		
		Λ	a	ò	o	ó	o		
		ə	e	Ÿ	Y	û	u		
		ə	e	Ā	Ā	ā	a		























4

















グラフ、線画作成時の注意点

線画作成時の指定位置




▶線画を作成するときに、どの位置を指定すればよいかを示します。



























枠内外で作成可能な線画

















図形の種類	開始位置	終了位置	作成上の注意
直線 			●枠外で直線を描く場合、開始位置と終了位置の間の行間隔を変えると、指定した点と点の間を直線で結ぶことはできません。
凸1/4円 			●開始位置と終了位置が同じ桁、同じ行にある場合は作成できません。
長方形 	左上端 	右下端 	
R型長方形 	(1)上端の辺の中心 	右端 	●2通りの作成方法があります。線画メニューの「モード」の「作成指定点」で選択します。 ●(2)の作成方法は、枠内でのみ作成できます。
	(2)左上端 	右下端 	
円 	上端 	中心 	●真円を描きたいときは、「枠」の中に作成します。
楕円 	(1)上端 	右端 	●2通りの作成方法があります。線画メニューの「モード」の「作成指定点」で選択します。 ●(2)の作成方法は、枠内でのみ作成できます。
	(2)左上端 	右下端 	

図形の種類	開始位置	終了位置	作成上の注意
カプセル型 	(1)上端の辺の中心 	右端 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2通りの作成方法があります。線画メニューの「モード」の「作成指定点」で選択します。 ● (2)の作成方法は、枠内でのみ作成できます。
	(2)左上端 	右下端 	
連続線 	① 	③ ② ④ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 連続線の次のポイントにカーソルを移したあと、右クリックをすると、カーソルが直前の開始位置に戻ります。 ● 連続線の操作を終了するとき、直前に指定したポイントをもう一度左クリックします。開始位置の指定状態に戻ります。
点 			<ul style="list-style-type: none"> ● 指定した位置を中心に点が描かれます。
凹1/4円 			<ul style="list-style-type: none"> ● 開始位置と終了位置が同じ桁、同じ行にある場合は作成できません。
ひし形 	上端 	右端 	

枠内でのみ作成可能な線画

図形の種類	開始位置	終了位置	作成上の注意
三点指定 部分円 	① 	② ③ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 3点のうち2点が一致する場合は作成できません。 ● 3点が直線上にある場合は作成できません。

図形の種類	開始位置	終了位置	作成上の注意
雲型定規 			<ul style="list-style-type: none"> ●指定できる点の数は最大50個です。 ●50点未満で指定をやめたい場合は、最後の点で左ダブルクリックするか、【CTRL】+Ⓜを押します。 ●表示や印刷で予想した曲線にならない場合はポイントの指定間隔を短くしてください。 ●ポイントとして同じ位置を2回指定すると、その点は角になります。
正方形 	左上端 	右上端 	<ul style="list-style-type: none"> ●縦、横どちらかの指定が長いほうを基準に正方形が作成されます。
平行四辺形 			<ul style="list-style-type: none"> ●3点が直線上にある場合は作成できません。
台形 			<ul style="list-style-type: none"> ●3点が直線上にある場合は作成できません。
角度指定 部分円 	 中心 	円弧 	<ul style="list-style-type: none"> ●メッセージに従って、3点を指定してください。 ●角度が右にとられるか左にとられるかは、線画メニューの「モード」の「角度向き」で選択します。
扇形 	 中心 	円弧 	
自由多角形 			<ul style="list-style-type: none"> ●指定できる点の数は最大50個です。 ●50点未満で指定をやめたい場合は、最後の点で左ダブルクリックするか、【CTRL】+Ⓜを押します。または、同じポイントを2回指定します。
閉曲線 			<ul style="list-style-type: none"> ●指定できる点の数は最大50個です。 ●50点未満で指定をやめたい場合は、最後の点で左ダブルクリックするか、【CTRL】+Ⓜを押します。 ●表示や印刷が予想した曲線にならない場合は、ポイントの指定間隔を短くしてください。 ●ポイントとして同じ位置を2回指定すると、その点は角になります。

図形の種類	開始位置	終了位置	作成上の注意
正N角形 (上端が角) 	上端 	 中心	●メッセージに従って、角数を指定してください。
正N角形 (上端が辺) 	上端の辺の中心 	 中心	
三角形 	 ①	 ② ③	●同一箇所に複数の位置指定をすることはできません。 ●3点が直線上にある場合は作成できません。
四角形 	 ①	 ② ④	●同一箇所に複数の位置指定をすることはできません。 ●四角形の4点を指定するとき、右回りか左回りで各点を指定しないと四角形にはなりません。 ●3点が直線上にある場合は作成できません。
接線円 			●2本以上の線分が交差している点は指定できません。 ●平行線、およびそれに近い線では作成できません。 ●接線円では、更新処理ができません。
半径指定の円 	 中心	 半径	●半径の位置指定は、中心と桁が違ってても、円周上ならどこでも可能です。

線画更新時の指定位置

▶線画を更新するときに指定する位置は、下表の□の部分です。

点 直線 連続線	1/4円	長方形 三角形 四角形 正方形 平行四辺形 台形 ひし形	カプセル型 楕円 円 R型長方形	部分円 扇形 半径指定の円	正N角形 自由多角形	雲形定規 閉曲線 (作成時に指定したポイント)
点 	凸1/4円 	長方形 	カプセル型 	三点指定 部分円 	正N角形 (上端が辺) 	雲形定規
直線 		三角形 	楕円 	角度指定 部分円 	正N角形 (上端が角) 	閉曲線
連続線 	凹1/4円 	四角形 	円 	扇型 	自由多角形 (作成時に指定したポイント) 	
		正方形 	R型長方形 	半径指定の円 (円周上または中心点) 		
		平行四辺形 				
		台形 				
		ひし形 				

(注) 直線を幅線で描いたときの位置は、それぞれの直線の始点と終点です。

線図登録の読出点、線図読出の接続端点

▶線図登録を行う場合の読出点、または線図読出を行う場合の接続端点は、下表の□の部分です。

点 直線 連続線	1/4円	長方形 三角形 四角形 正方形 平行四辺形 台形 ひし形	ひし形 カプセル型 楕円 円 R型長方形 扇形	部分円 接線円 雲形定規 閉曲線	正N角形 自由多角形
点	凸1/4円	長方形	カプセル型 ひし形	三点指定部分円	正N角形 (上端が辺)
直線		三角形	楕円 R型長方形	角度指定部分円	正N角形 (上端が角)
連続線	凹1/4円	四角形	円 半径指定の円	接線円	自由多角形
		正方形	扇形	雲形定規	
		平行四辺形		閉曲線	
		台形			

参考

- 接線円では接線円の部分は指定できませんが、接線円に接する直線の開始位置と終了位置は指定できます。
- 半径指定の円では、中心点と半径を指定した点が、読出点および接続端点となります。
- 直線で作成した線画では、すべての端点を読出点、接続端点に指定することができます。

グラフパターンの種類

▶グラフの折れ線や棒などの種類を指定するためのマークを「グラフパターン」といいます。グラフパターンの種類を下表に示します。

グラフの種類	特殊文字入力	グラフパターン
折れ線グラフ 棒グラフ 積み重ねグラフ レーダーチャート バレル図 層グラフ 高低棒グラフ	グラフ線	— … …… - - - - -
レーダーチャート 散布図 バレル図 層グラフ	グラフマーク	× ○ ● □ ■ △ ▲ ◇ ◆
棒グラフ 積み重ねグラフ 帯グラフ 円グラフ ドーナツグラフ バレル図 層グラフ 面積グラフ 高低棒グラフ	グラフ模様	□ ≡ ▨ ▩ ■ ▪ ▫ ▬ ▭

参 考

- 次の7種類の色を指定することができます。
色黄、色紫、色水、色青、色緑、色赤、色黒

アイコン一覧表

アイコン	説明	機能
○	成功	成功
×	失敗	失敗
✓	完了	完了
⊕	展開	展開
⊖	折りたたみ	折りたたみ

ツールバーのアイコンデザイン

▶ここでは、ツールバーのアイコンのデザインについて説明します。
アイコンの絵柄を理解するときの参考にしてください。

基本的な考え方

基本的に、OASYS/Winの操作は、

「□□を○○する」（例えば、「文字列を移動する」）

という構造で成り立っています。

「□□」は操作の対象です。「○○する」は実際の操作です。これら全体で、ひとつの機能（コマンド）を表現しています。

ツールバーのアイコンは、操作の対象と実際の操作をいくつかのビジュアルエレメントで表し、それらのビジュアルエレメントを組み合わせることによって機能を表現します。

操作の種類








基本的な操作には次の種類があります。

操 作	ビジュアルエレメント	操 作	ビジュアルエレメント
ポイントする、選択する	▼	状態を有効にする	○
始点のものを終点に持っていく	↘	状態を無効にする	×
始点の状態を終点の状態にする		マークや名前を付ける	□










操作の対象の種類

操作の対象には次のようなものがあります。

システムに関するもの

操作対象	ビジュアルエレメント	操作対象	ビジュアルエレメント	操作対象	ビジュアルエレメント
記憶媒体		画面		キーボード	
プリンタ		文書			
辞書		ドライブ			

文書内の編集対象となるもの

操作対象	ビジュアルエレメント	操作対象	ビジュアルエレメント	操作対象	ビジュアルエレメント
操作対象 一般		表		マージ外枠	
文字	文	グラフ		リンク枠	
罫線		イメージ			
飾り罫線		線画			

※このビジュアルエレメントは、表現する機能によって絵柄が変化します。例えば、「文字」は大きさ、書体、色などが変化することによって、「文字の大きさを変える」「文字の書体を変える」「文字の色を変える」といった変化を表します。変化する状態を表すアイコンは、基本的に見えかたそのものを絵柄にしています。

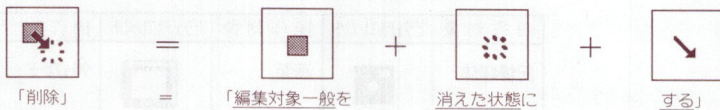
特別な状態として「消えた状態」を下記のように表現しています。このビジュアルエレメントは、編集対象になるものを消したり、削除したりする場合に使用しています。



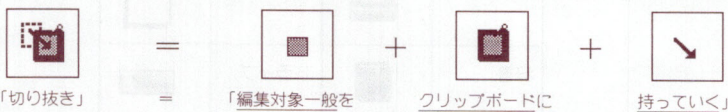
機能（コマンド）のアイコン表現の例

操作の対象と操作を組み合わせたアイコンの例を紹介します。

削除



切り抜き



文字カラー有効



操作の対象や操作が自明な場合は、それらを省略して表現することもあります。

保存



※保存される「文書」は省略して表現しています。

やり直し



※やり直し前の状態と、やり直し後の状態を省略しています。

明朝体



※変更前の書体と、変更する表現を省略しています。

例外的な表現

次の機能は、特別に次のように表現しています。

操 作	ビジュアルエレメント	操 作	ビジュアルエレメント
終了 (EXIT→ドア)		目次を作成する	
補助 (手助(ナ→手))		索引を作成する	
詳細情報を表示する		CD-ROMを検索する	
計算する		推敲する	

ツールバーのアイコン一覧

▶ここでは、ツールバーのアイコンの一覧を示します。

これらのアイコンは、補助の「動作環境」の「ツールバーカスタマイズ」でツールバーに登録することができます。「ツールバーカスタマイズ」の詳細は、『リファレンスマニュアル』を参照してください。

 新規	 拡張オープン	 置換
 オープン	 繰り返し	 図形入替
 保存	 やり直し	 図形読出
 別名で保存	 切抜き	 図形登録
 書式設定	 連携複写	 図形抹消
 印刷	 貼付け	 リンク作成
 保存文書印刷	 移動	 リンク更新
 補助	 複写	 リンク変更
 初期化	 削除	 リンク削除
 終了	 挿入	 リンク貼付け































	オブジェクト作成		重ね指定 同一文字		模様 模様なし
	オブジェクト編集		重ね指定 反転文字		線の太さ 細
	オブジェクト実行		模様		線の太さ 太
	オブジェクト削除		模様		文字拡縮 4倍角
	文字拡縮/修飾		模様		文字拡縮 縦倍角
	指定拡大		模様		文字拡縮 横倍角
	文字種 黒ベタ		模様		文字拡縮 4/3倍角
	文字種 白抜き		模様		文字拡縮 半角
	文字種 影付き		模様		文字拡縮 拡大解除
	重ね指定 重ねなし		模様		文字拡縮 半角解除

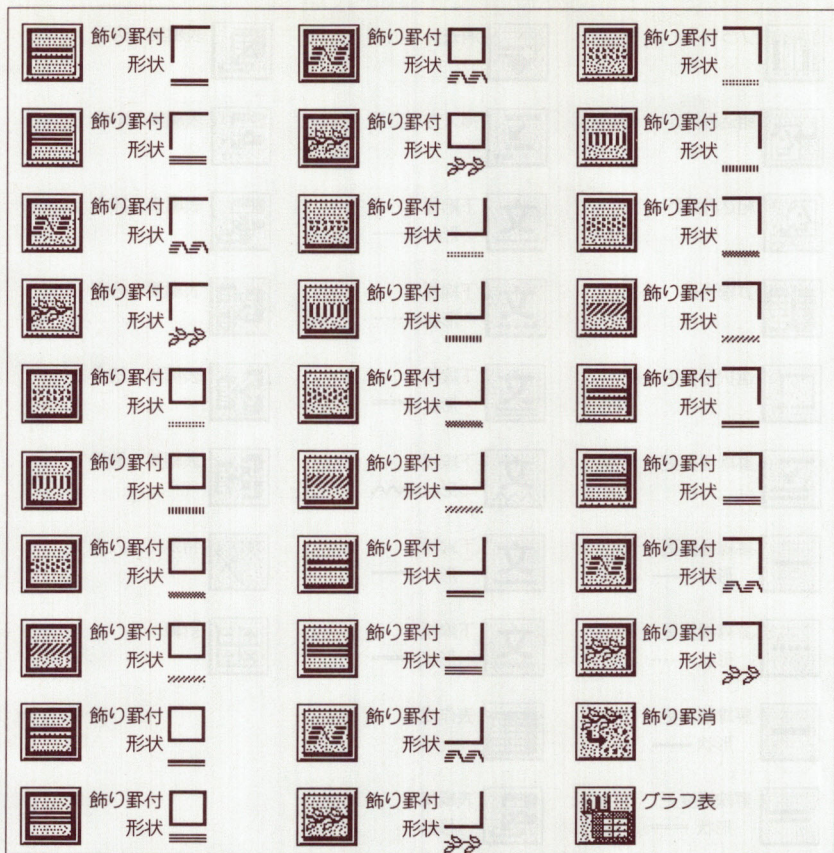
	色 黒		斜体角度 斜体45度		太文字 なし
	色 青		反転 反転あり		行間設定
	色 赤		反転 反転なし		下線付
	色 桃		回転角度 0度		下線消
	色 緑		回転角度 右90度		傍点付
	色 水		回転角度 180度		傍点消
	色 黄		回転角度 左90度		書体
	斜体角度 斜体0度		縁取り あり		文字の種類 明朝体
	斜体角度 斜体15度		縁取り なし		文字の種類 中明朝
	斜体角度 斜体30度		太文字 あり		文字の種類 中太明朝

	文字の種類 太明朝		文字の種類 丸文字		文字の種類 書体 1
	文字の種類 ゴシック体		文字の種類 筆記体		文字の種類 書体 2
	文字の種類 中ゴシック体		文字の種類 毛筆体 (楷書)		文字の種類 書体 3
	文字の種類 中大ゴシック体		文字の種類 毛筆体 (行書)		縮小英文字の種類 パイカ
	文字の種類 太ゴシック体		文字の種類 じゅん101		縮小英文字の種類 エリート
	文字の種類 丸ゴシック体		文字の種類 正楷書体		縮小英文字の種類 細ボールド
	文字の種類 中丸ゴシック体		文字の種類 江戸文字		縮小英文字の種類 太ボールド
	文字の種類 中大丸ゴシック体		文字の種類 標準ゴシック		縮小英文字の種類 レターゴシック
	文字の種類 太丸ゴシック体		文字の種類 標準明朝		縮小英文字の種類 バンクゴシック
	文字の種類 教科書体		文字の種類 System		縮小英文字の種類 ライトイタリック









	縮小英文字の種類 オレータ		行頭変更		表示 通常
	縮小英文字の種類 エジプシアン		行端変更		表示 横縮小
	縮小英文字の種類 スク립ト		左寄せ		表示 縦縮小
	縮小英文字の種類 クーリエ		右寄せ		表示 縦横縮小
	縮小英文字の種類 ルスツェット		センタリング		イメージ画面 反転あり
	縮小英文字の種類 標準		後半消去		イメージ画面 反転なし
	左端設定		頁/マーク指定		文字カラー 有効
	右端設定		マーク設定		文字カラー 無効
	タブ設定		検索		文字サイズ 24
	テシマルタブ		表示形式		文字サイズ 16

	文字サイズ システム		横軸分割		罫線内 網種
	編集画面 白地に黒		縦軸分割		罫線内 網種
	編集画面 黒字に白		レイアウト表示		罫線内 網種
	編集画面 コンピュータに従う		線画		罫線内 網種
	自動図形表示 あり		枠空け		罫線内 網種
	自動図形表示 なし		図形モード		罫線内 網種
	リンク枠表示 あり		図形表示		文字上 網種
	リンク枠表示 なし		網かけ付		文字上 網種
	書体表示 あり		罫線内 網種		文字上 網種
	書体表示 なし		罫線内 網種		文字上 網種

 文字上 網種	 飾り罫付 形状	 飾り罫付 形状
 文字上 網種	 飾り罫付 形状	 飾り罫付 形状
 文字上 網種	 飾り罫付 形状	 飾り罫付 形状
 文字上 網種	 飾り罫付 形状	 飾り罫付 形状
 網かけ消	 飾り罫付 形状	 飾り罫付 形状
 消し線付	 飾り罫付 形状	 飾り罫付 形状
 消し線付 線種	 飾り罫付 形状	 飾り罫付 形状
 消し線付 線種	 飾り罫付 形状	 飾り罫付 形状
 消し線消	 飾り罫付 形状	 飾り罫付 形状
 飾り罫付	 飾り罫付 形状	 飾り罫付 形状



 グラフ	 消去	 表編集 複写
 組込み設定	 挿入方式変更	 表編集 削除
 組込み解除	 下線種 形状 —	 表編集 挿入
 罫線通過	 下線種 形状 ·····	 表編集 分割
 選択型変更	 下線種 形状 =	 表編集 結合
 罫線種変更	 下線種 形状 ~~~~	 表編集 整理
 罫線種変更 形状 —	 下線種 形状 —	 特殊文字入力
 罫線種変更 形状 ·····	 下線種 形状 =	 計算
 罫線種変更 形状 =	 表作成	
 罫線種変更 形状 =	 表編集 移動	

	文頭		索引作成		スクリプト記録終了
	文末		索引解除		ヘルプ
	前頁		見出し		文書形式/ 文書ドライブ変更
	次頁		アウトライン		検索/整列
	全選択		スクリプト実行		やり直し
	CDView		スクリプト実行1		一覧表印刷
	推敲		スクリプト実行2		拡張表示
	数式		スクリプト実行3		全選択
	目次作成		スクリプト実行中断		全解除
	目次解除		スクリプト記録開始		

MEMO

3

コマンド一覧とスクリプトの変数

コマンドの記法について

- コマンド名、キーワードは全角文字で記述します。
- 記号 (“ ” “ ” “ ” “ ” “ ”) とパラメータの数値は半角文字で記述します。
- コマンドのシンタックスでは、次の点に注意してください。
 - ・半角の英小文字、英大文字の区別をしません。文字列定数の中の文字は区別します。
 - ・全角空白、改行、およびタブは半角空白とみなします。
 - ・分離符は空白および記号を使います。
 - ・コメントは “//” から改行文字までです。
 - ・文字列定数は、二重引用符 (“ ”) で囲んで記述します。
文字列定数中で二重引用符や円記号を表現する場合は、それぞれ¥”、 ¥¥と記述します。
- コマンドは “;” で区切ります。パラメータは “,” で区切ります。
- パラメータは、キーワードのあとに “:” を付け、そのあとにパラメータ値を続けます。
 - 例 1) 別名で保存 (ダイアログ表示:0, ファイル名: "c:¥¥oasyswin¥¥foa123456");
- キーワードは省略できます。ただし、省略する場合、シンタックスはコマンド一覧の順番どおりに記述しなければなりません。
 - 例 2) オープン (0, "c:¥¥oasyswin¥¥bindaa00¥¥foa123456", 1, "c");
 - 例 2 の場合、処理はシンタックスのとおりに行われます。
 - 例 3) オープン (0, 1, "c:¥¥oasyswin¥¥bindaa00¥¥foa123456", "c");
 - [第 2 パラメータの型が正しくないため不適当]
 - 例 3 の場合、処理はシンタックスの第 1 パラメータのみ行われます。あとは、コマンド一覧の「スクリプト実行デフォルト値」に従います。
- キーワードがある場合、シンタックスはコマンド一覧の順番に関係ありません。
 - 例 4) オープン (文書ドライブ:"c", ファイル名: "c:¥¥oasyswin¥¥bindaa00¥¥foa123456", ダイアログ表示:0, 文書形式:1);
 - 例 4 の場合、処理はシンタックスのとおりに行われます (例 2 と同じ処理)。
- 途中のパラメータでキーワードを指定したときは、そのあとはキーワード付きパラメータでなければなりません。なお、キーワード付きパラメータの順序は関係ありません。
 - 例 5) オープン (0, "c:¥¥oasyswin¥¥bindaa00¥¥foa123456", 文書ドライブ:"c", 文書形式:1);
 - 例 5 の場合、処理はシンタックスのとおりに行われます (例 2、4 と同じ処理)。
 - 例 6) オープン (文書ドライブ:"c", ファイル名: "c:¥¥oasyswin¥¥bindaa00¥¥foa123456", 0, 1);
 - [第 1、第 2 パラメータでキーワードを指定しているのに、そのあとのパラメータでキーワードを省略しているため不適当]
 - 例 6 の場合、第 3、第 4 パラメータはキーワード付きパラメータでないで、コマンド一覧の「スクリプト実行デフォルト値」に従います。
- パラメータを省略すると、コマンド一覧の「スクリプト実行デフォルト値」に従います。
 - 例 7) オープン (,, "c");
 - [文書ドライブ (第 4 パラメータ) 以外は、コマンド一覧の「スクリプト実行デフォルト値」に従う]

- 後半のパラメータも省略できます。省略した場合は、コマンド一覧の「スクリプト実行デフォルト値」に従います。
 - 例8) オープン();
[コマンド一覧の「スクリプト実行デフォルト値」に従う]
 - 例9) オープン(1);
[ダイアログ表示 (第1パラメータ) 以外は、コマンド一覧の「スクリプト実行デフォルト値」に従う]
 - 例10) オープン (文書形式:1);
[文書形式 (第3パラメータ) 以外は、コマンド一覧の「スクリプト実行デフォルト値」に従う]
 - 例11) オープン(1, 文書形式:1);
[ダイアログ表示 (第1パラメータ) 、文書形式 (第3パラメータ) 以外は、コマンド一覧の「スクリプト実行デフォルト値」に従う]
 - 例12) オープン(1, 文書ドライブ:"c", 文書形式:1);
[ファイル名 (第2パラメータ) のみ、コマンド一覧の「スクリプト実行デフォルト値」に従う]
- 復帰値は、正常の場合は0、異常の場合は-1になります。

コマンド一覧

7

OASYS/Winの編集コマンドの一覧です。表内に示したコマンドのシンタックスは、スクリプトの定義、およびツールバーへのアイコンの定義で使用することができます。ただし、スクリプトでは使用できないコマンドがあり、これは表内に示してあります。

注意

- 「ダイアログ表示」のパラメータは、スクリプトの定義では無効になり、つねに「ダイアログ表示しない」とみなされます。
- 「ファイル名」のパラメータは、ドライブ名から始まるフルパスで指定します。ただし、OASYS文書（フロッピー）の場合は、「ファイル名」パラメータで文書番号を指定し、ドライブ名は「文書ドライブ」パラメータで指定します。

メニューに対応したコマンド

コマンド	シンタックス	パラメータの型	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表の右の指定に従う。前回の値がないとき、固定値指定のときは下線部を標準値にする。	スクリプトの有無	スクリプト表示 デフォルト値	スクリプト実行 デフォルト値
新規	新規 ()				無		
オープン	オープン (ダイアログ表示 , ファイル名 , 文書形式 , 文書ドライブ)	数値 文字列	OASYS2/ほか OASYS	<u>ダイアログ表示しない</u> (0)/ダイアログ表示する(1) パス名 文書番号 OASYS2(1)/OASYS(2)/ テキスト(3) A ~Z	有	— 現在値 動作環境 ↑	固定 現在値 動作環境 ↑
拡張オープン	拡張オープン (ダイアログ表示 , ファイル名 , 文書形式 , その他文書形式 , 文書ドライブ)	数値 文字列	OASYS2/ほか/ その他の文書 OASYS	<u>ダイアログ表示しない</u> (0)/ダイアログ表示する(1) パス名 文書番号 OASYS2(1)/OASYS(2)/ テキスト(3)/ その他(4) その他の文書のとき文字列を指定する A ~Z	無	— 現在値 動作環境 NULL 動作環境	固定 現在値 動作環境 NULL 動作環境
保存	保存 (ダイアログ表示)	数値		<u>ダイアログ表示しない</u> (0)/ダイアログ表示する(1)	有	—	固定
別名で保存	別名で保存 (ダイアログ表示 , ファイル名 , 文書形式 , 文書ドライブ , 特殊文字の処理	数値 文字列 数値 文字列 数値	OASYS2/ほか OASYS テキスト	<u>ダイアログ表示しない</u> (0)/ダイアログ表示する(1) パス名 文書番号 OASYS2(1)/OASYS(2)/ テキスト(3) A ~Z <u>変換しない</u> (1)/変換する(2)	有	— 自動作成 動作環境 ↑ 固定	固定 自動作成 動作環境 ↑ 固定

コマンド	シンタックス	パラメータの型	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表の右の指定に従う。前回の値がないとき、固定値指定のときは下線部を標準値にする。	初期値の有無	初期表示 デフォルト値	実行 デフォルト値
書式設定	罫線変換	数値	テキスト	疑似罫線(1)/JIS罫線(2)		↑	↑
	テキスト変換形式	数値	テキスト	文書形式(1)/データ形式(2)		↑	↑
	変換開始位置	文字列	テキスト	半角カタカナ(1)/全角ひらがな(2)	無	↑	↑
	半角ひらがな変換)	数値	テキスト	ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1)		↑	↑
	書式設定(数値		最大全角文字		—	固定
	ダイアログ表示	文字列		1～254 注1		—	現在値
	罫名	数値		20～126 注1		—	—
	1ページの行数	数値		4.23mm(1)/6.35mm(2)/8.47mm(3)/8.89mm(4)/その他(5)/定型(6)		←	←
	行内文字数	数値		2.1～25.4 注1		←	←
	行間隔	数値		0～889		←	←
	行間隔その他	数値		0～889		←	←
	行間隔定型	数値		3.39mm(1)/3.81mm(2)/4.45mm(3)/5.08mm(4)/その他(5)/定型(6)		←	←
	定型行あたり	数値		2.5～25.4 注1		←	←
	文字間隔	数値		0～889		←	←
	文字間隔その他	数値		0～255		←	←
	文字間隔定型	数値		なし(1)/Aランク(2)/Bランク(3)/Cランク(4)		←	←
	文字間隔桁あたり	数値		2～{行内文字数-2}		←	←
	画面罫則	数値		有効(1)/無効(2)		←	←
	右端設定桁	数値		欧文文字(1)/添字数字(2)		←	←
	登録半角文字	数値		ひらがな(1)/カタカナ(2)		←	←
添字欧文	数値		なし(1)/あり(2)		←	←	
添字の文字種	数値		64(1)/32(2)		←	←	
正しい行間表示	数値		OASYS文書は固定		←	←	
枠指定	数値		OASYS文書は16固定		←	←	
イメージ教指定	数値		OASYS文書は制御記号固定		←	←	
指定拡大修飾	数値		OASYS文書は制御記号固定		←	←	
書体指定	数値		1文字単位(1)/2文字単位(2)		←	←	
半角文字の扱い	数値		横書(1)/縦書(2)		←	←	
横書き	数値				←	←	

注1 範囲外の数値が設定されている場合は、現在値をデフォルトとして処理します。

コマンド	シンタックス	パラメータの型	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表の右の指定に従う。前回の値がないとき、固定値指定のときは下線を標準値にする。	対応する 味の有無	印刷表示 フォント値	印刷実行 フォント値	
<ul style="list-style-type: none"> 上部余白 左側余白 用紙の種類 用紙の大きさ 用紙長 用紙幅 印字方向 文書名印刷 文字の大きさ 文字の種類 	シンタックス	数値		0～999		←	←	
		数値		0～999		←	←	
		数値		連続用紙(1)/自動送り(2)/単票(3)				
		数値		A4縦(1)/B4縦(2)/A5縦(3)/B5縦(4)/A4横(5)/B4横(6)/A5横(7)/B5横(8)/A3縦(9)/A3横(10)/はがき縦(11)/はがき横(12)/その他(13)				
		数値		トータルリフ	0～999		←	←
		数値		ペーパーザリフ	0～999		←	←
		数値			用紙吸入方向に対して垂直方向(1)/同方向(2)			
		数値			あり(1)/なし(2)			
		数値			10.5ポ(1)/9ポ(2)/12ポ(3)/8ポ(4)			
		数値			明朝体(1)/中明朝体(2)/中太明朝体(3)/太明朝体(4)/ゴシック体(5)/中ゴシック体(6)/中太ゴシック体(7)/太ゴシック体(8)/丸ゴシック体(9)/中丸ゴシック体(10)/中太丸ゴシック体(11)/太丸ゴシック体(12)/教科書体(13)/丸文字(14)/筆記体(15)/毛筆体(指書)(16)/毛筆体(行書)(17)/しゅん(18)/正楷書体(19)/江戸文字(20)/その他(25)			
<ul style="list-style-type: none"> フォント名 縮小英文字の種類 ページ番号印刷 総ページ数 番号初期値 用紙下端からの長さ 指定拡大印刷 拡大倍率縦 拡大倍率横 	シンタックス	文字列	文字の種類: その他			←	←	
		数値		標準(1)/ハイカ(2)/エリート(3)/細ポールド(4)/太ポールド(5)/レターゴシック(6)/バンクゴシック(7)/ライトイタリック(8)/オレータ(9)/エジプシアン(10)/スクリプト(11)/クーリエ(12)/プレスチックエリート(13)				
		数値		なし(1)/頁(2)/頁-3/頁/総ページ(4)				
		数値		0～99999				
		数値		-999 ～9999				
		数値		0～999				
		数値		なし(1)/n*拡大(2)/n*mm拡大(3)/n*白抜き影付(4)/n*白抜き影付(5)/n*白抜き影無(6)/n*mm白抜き影無(7)				
		数値		2～99				
		数値		2～99				

コマンド	シンタックス	パラメータの型	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表の右の指定に従う。前回の値がないとき、固定値指定のときは下線部を標準値にする。	呼び出される 場所の有無	実行時の表示 フォーマット値	実行時の フォーマット値
保存文書印刷	保存文書印刷 (ダイアログ表示 , 文書形式 , 文書ドライブ , ファイル名)	数値 数値 文字列 文字列	OASYS2/非ホ OASYS	ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1) OASYS2(1)/OASYS(2) / テキスト(3) A ~ Z パス名 文書番号	無	— 動作環境 ↑ 現在値 ↑	固定 動作環境 ↑ 現在値 ↑
補助	補助 ()				無		
初期化	初期化 (ダイアログ表示 , 文書形式 , 文書ドライブ , パス名)	数値 数値 文字列 文字列		ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1) OASYS2(1)/OASYS(2) / テキスト(3) A ~ Z 保存先パス名	有	— 動作環境 ↑ 現在値	固定 動作環境 ↑ 現在値
終了	終了 ()				有		
やり直し	やり直し ()				有		
繰り返す	繰り返す ()				有		
切抜き	切抜き ()				有		
連携番号	連携番号 ()				有		
貼付け	貼付け (ダイアログ表示 , データ種類)	数値 数値		ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1) なし(1)/テキストファイル(2)/メタファイル(3)/ビットマップ(4)/ オブジェクト(5)	有	— 前回 前回	固定 前回

コマンド	シンタックス	パラメータの型	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表の右の指定に従う。前回の値がないとき、固定値指定のときは下線部を標準値にする。	スクリプトの有無	スクリプト表示 デフォルト値	スクリプト実行 デフォルト値
移動	移動 ()				無		
複写	複写 ()				無		
削除	削除 ()				有		
挿入	挿入 ()		挿入方式が「コマンド」の場合		有 有		
挿入実行	挿入実行 ()		「挿入」に対する終了指示		有 有		
挿入モード	挿入モード (モード)	数値	挿入方式が「モード」の場合	モード切りの換え (0)/挿入 (1)/上書 (2)	有	— —	— — 固定
検索	検索 (ダイアログ表示 , 検索文字 , 検索方向 , 文字サイズ , 文字属性)	数値 文字列 数値 数値 数値		ダイアログ表示しない (0)/ダイアログ表示する (1) 前 (1)/後 (2) 一致なし (1)/一致あり (2) 一致なし (1)/一致あり (2)	有	— — 前回 前回 前回 前回	— — 前回 前回 前回 前回
置換	置換 (ダイアログ表示 , 検索文字 , 置換文字 , 検索方向 , 文字サイズ , 文字属性 , 付加属性 , 置換方法)	数値 文字列 文字列 数値 数値 数値 数値 数値		ダイアログ表示しない (0)/ダイアログ表示する (1) 前 (1)/後 (2) 一致なし (1)/一致あり (2) 一致なし (1)/一致あり (2) 検索文字優先 (1)/置換文字優先 (2) 逐次 (1)/一括 (2)	有	— — 前回 前回 前回 前回	— — 前回 前回 前回 前回

コマンド	シンタックス	パラメータの型	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表の右の指定に従う。前回の値がないとき、固定値指定のときは下線部を標準値とする。	スクリプトに 属する有無	スクリプト表示 フォーマット値	スクリプト実行 フォーマット値
図形入替	図形入替 ()				無		
図形読出	図形読出 (ダイアログ表示 , 読み , 連続実行)	数値 文字列 数値		ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1) NULL (NULLの場合処理しない) しない(1)/する(2)	無	— 前回 ↑	固定 前回 ↑
図形登録	図形登録 (ダイアログ表示 , 読み)	数値 文字列		ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1) NULL (NULLの場合処理しない)	無	— 前回	固定 前回
図形抹消	図形抹消 (ダイアログ表示 , 読み)	数値 文字列		ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1) NULL (NULLの場合処理しない)	無	— 前回	固定 前回
リンク作成	リンク作成 ()				無		
リンク更新	リンク更新 ()				無		
リンク変更	リンク変更 ()				無		
リンク解除	リンク解除 ()				無		
リンク貼付け	リンク貼付け ()				無		
オブジェクト 作成	オブジェクト作成 ()				無		
オブジェクト 編集	オブジェクト編集 ()				無		

コマンド	シンタックス	パラメータの型	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表の右の指定に従う。前回の値がないとき、固定値指定のときは下線部を標準値にする。	追加される 属性の有無	追加表示 フォント値	追加実行 フォント値
オブジェクト 実行	オブジェクト実行 ()				無		
オブジェクト 削除	オブジェクト削除 ()				無		
文字拡縮/ 修飾	文字拡縮/修飾 (ダイヤログ表示 , 文字拡縮 , 延長方向 , 文字種 , 重ね指定 , 模様 , 縦倍率 , 横倍率 , 線の太さ , 色 , 斜体角度 , 回転角度 , 縁取り , 大文字 , 反転)	数値 数値		ダイヤログ表示しない(0)/ダイヤログ表示する(1) 変更なし(0)/指定拡大(1)/4倍角(2)/縦倍角(3)/横倍角(4)/4/3拡大(5)/ 半角(6)/拡大解除(7)/半角解除(8) 下延び(1)/上延び(2) 黒べた(1)/白抜き(2)/影付き(3) なし(1)/同一文字(2)/反転文字(3) — (1) / (2) / 無(3) / 無(4) / 無(5) / 無(6) / 無(7) / 無(8) / 無(9) 2～99 2～99 細線(1)/太線(2) 変更なし(0)/黒(1)/青(2)/赤(3)/桃(4)/蒼緑(5)/水色(6)/黄色(7) 変更なし(0)/0度(1)/15度(2)/30度(3)/45度(4) 変更なし(0)/0度(1)/右90度(2)/180度(3)/左90度(4) 変更なし(0)/あり(1)/なし(2) 変更なし(0)/あり(1)/なし(2) 変更なし(0)/あり(1)/なし(2)	有	— 前回 ↑ 前回 ← 前回 ↑ 前回 ←	— 前回 ↑ 前回 ← 前回 ↑ 前回 ←
行間設定	行間設定 (ダイヤログ表示 , 設定行間隔 , 行間隔)	数値 数値 数値	その他 (mm)	ダイヤログ表示しない(0)/ダイヤログ表示する(1) 設定解除(1)/標準(2)/半間隔(3)/4.23mm(4)/4.45mm(5)/8.47mm(6)/ その他(7) 行間隔(3～25)	有	— 固定 ↑	— 固定 ↑

コマンド	シンタックス	パラメータの型	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表の右の指定に依る。前回の値がないとき、固定値指定のときは下線部を標準値にする。	スクリプトに ある 無	スクリプト表示 フォント値	スクリプト実行 フォント値
下線/傍線	下線付 () 下線消 () 傍点付 () 傍点消 ()				有		
書体	書体 (ダイアログ表示 , 文字の種類	数値 数値		ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1) 書式設定に従う(1)/明朝体(2)/中明朝体(3)/中太明朝体(4)/太明朝体(5)/ ゴシック体(6)/中ゴシック体(7)/中太ゴシック体(8)/太ゴシック体(9)/ 丸ゴシック体(10)/中丸ゴシック体(11)/ 中太丸ゴシック体(12)/ 太丸ゴシック体(13)/ 教科書体(14)/ 丸文字(15)/ 筆記体(16)/ 毛筆体 (楷書)(17)/毛筆体 (行書)(18)/じゆん01(19)/正楷書体(20)/ 江戸文字(21)/ その他(25)	有	— 前回 ↑ ↑	固定 前回 ↑ 前回 ↑ 不可 前回 ↑
	, フォント名	文字列	文字の種類: その他	文字の種類に従う(1)/ハイカ(2)/エリート(3)/細ボールド(4)/ 太ボールド(5)/レターゴシック(6)/バンクゴシック(7)/ ライトイタリック(8)/オレータ(9)/エジプシアン(10)/ スクリプト(11)/ クーリエ(12)/ プレステッジエリート(13)	有	前回 ↑ なし 前回 ↑	前回 ↑ 前回 ↑
	, 縮小英文字の種 (種)	数値			有		
左端設定	左端設定 ()				有		
右端設定	右端設定 ()				有		
タブ設定	タブ設定 ()				有		
デシマルタブ	デシマルタブ ()				有		
行頭変更	行頭変更 ()				有		
行端変更	行端変更 ()				有		

コマンド	シンタックス	パラメータの型	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表の右の指定のときは 下線部を標準値にする。	スクリプトの有無	スクリプト表示 フォント値	スクリプト実行 フォント値
左寄せ	左寄せ ()				有		
右寄せ	右寄せ ()				有		
センタリング	センタリング ()				有		
後半消去	後半消去 ()				有		
頁/マーク指定	頁指定 (ダイアログ表示 , 頁指定) マーク指定 (ダイアログ表示 , マーク指定)	数値 数値 数値 数値		<u>ダイアログ表示しない</u> (0) / <u>ダイアログ表示する</u> (1) <u>ダイアログ表示しない</u> (0) / <u>ダイアログ表示する</u> (1) <u>マーク1</u> (1) / <u>マーク2</u> (2) / <u>マーク3</u> (3)	有	— 現頁 — なし	固定 現頁 固定 不可
マーク設定	マーク設定 (ダイアログ表示 , マーク設定)	数値 数値		<u>ダイアログ表示しない</u> (0) / <u>ダイアログ表示する</u> (1) <u>マーク1</u> (1) / <u>マーク2</u> (2) / <u>マーク3</u> (3)	有	— なし	固定 不可
表示形式	表示形式 (ダイアログ表示 , 表示形式 , イメージ画面反転 , カラー指定 , 文字サイズ , 文字色 , 自動図形表示 , リンク枠表示 , 書体表示)	数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値		<u>ダイアログ表示しない</u> (0) / <u>ダイアログ表示する</u> (1) 通常 (1) / 横縮小 (2) / 縦縮小 (3) / 縦横縮小 (4) <u>あり</u> (1) / <u>なし</u> (2) 2/4表示 (1) / 1/6表示 (2) / システム (3) <u>白地に黒</u> (1) / <u>黒字に白</u> (2) / <u>コントロールパネルに合う</u> (3) <u>あり</u> (1) / <u>なし</u> (2) <u>あり</u> (1) / <u>なし</u> (2) <u>あり</u> (1) / <u>なし</u> (2)	有	— 現状態 ← ← 固定 現状態	固定 現状態
横軸分割	横軸分割 ()				無		

コマンド	シンタックス	パラメータの型	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表の右の指定に従う。前回の値がないとき、固定値指定のときは下線部を標準値にする。	スクリプトに 属する有無	スクリプト表示 フォーマット値	スクリプト実行 フォーマット値
組込み設定	組込み設定 (ダイアログ表示, ファイル名)	数値 文字列	OASYS2 OASYS	ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1) フィルバツ指定 イメージ番号	無	— なし なし	固定 不可 不可
組込み解除	組込み解除 ()				無		
野線通過	野線通過 ()				有		
選択型変更	選択型変更 ()				有		
野線種変更	野線種変更 (ダイアログ表示, 野線コード範囲, 野線の種類)	数値 数値 数値		ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1) OASYS野線(1)/JIS野線(2) 単線(1)/点線(2)/太線(3)/二重線(4)/層(5)	有	— 前回 ↑	固定 前回 ↑
下線種変更	下線種変更 (ダイアログ表示, 下線の種類)	数値 数値		ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1) 単線(1)/点線(2)/太線(3)/二重線(4)/破線(5)/グレー(6)	有	— 前回	固定 前回
挿入方式変更	挿入方式変更 ()				有		
表作成	表作成 (ダイアログ表示, 基本線, 外枠線, 見出し欄縦行数, 見出し欄縦反復数, 見出し欄横行数, 見出し欄横反復数)	数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値		ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1) 単線(1)/太線(2)/点線(3)/二重線(4) 単線(1)/太線(2)/点線(3)/二重線(4) 1 1 4 1	無	— 前回 ↑	固定 前回 ↑

コマンド	シンタックス	パラメータの型	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表の右の指定に依る。前回の値がないとき、固定値指定のときは下線部を標準値にする。	次の表示 フォーマット値	次の実行 フォーマット値
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見出し欄縦境界線 ・ 見出し欄横境界線 ・ 項目欄縦行数 ・ 項目欄縦反復数 ・ 項目欄横行数 ・ 項目欄横反復数 ・ 集計欄縦境界線 ・ 集計欄横行数 ・ 集計欄縦反復数 ・ 集計欄横行数 ・ 集計欄横反復数 	数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値 数値	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表の右の指定に依る。前回の値がないとき、固定値指定のときは下線部を標準値にする。 単線(1)/太線(2)/点線(3)/二重線(4) 単線(1)/太線(2)/点線(3)/二重線(4) 1 5 4 4 5 単線(1)/太線(2)/点線(3)/二重線(4) 単線(1)/太線(2)/点線(3)/二重線(4) 1 1 4 4 1 1	↑ ↑ 前回 ↑	↑ ↑ 前回 ↑
表移動	表移動 ()			無		
表書き	表書き ()			無		
表削除	表削除 ()			無		
表挿入	表挿入 ()			無		
表分割	表分割 ()			無		
表結合	表結合 ()			無		
表整理	表整理 ()			無		
単語登録	単語登録 ()			無		

コマンド	シンタックス	パラメータの型	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表の右の指定に従う。前回の値がないとき、固定値指定のときは下線部を標準値にする。	出力される 桁上の有無	出力表示 フォーマット値	出力実行 フォーマット値
特殊文字入力	特殊文字入力 (ダイアログ表示 , 特殊文字)	数値 文字		ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1)	有	— 前回	固定 前回
計算	計算 ()				無		
アウトライン	アウトライン ()				無		
索引設定	索引設定 ()				有		
索引解除	索引解除 ()				有		
見出し	見出し (ダイアログ表示 , 見出しレベル)	数値 数値		ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1) レベル1 (1)/レベル2 (2)/レベル3 (3)/レベル4 (4)/レベル5 (5)/ レベル6 (6)/レベル7 (7) 指定解除(8)	有		
索引	索引 ()				無		

コマンド	シンタックス	パラメータの型	指定条件	パラメータ値 ※標準値は表のみの指定に従う。前回の値がないとき、固定値指定のときは下線部を標準値にする。	コマンドに よる 値の有無	コマンド 表示 値	コマンド 実行 値
	タブ (回) 逆タブ (回) 画面左上端 ()	数値 数値		1 1			
スクリプト 実行	スクリプト実行 (ダイアログ表示 , ファイル名)	数値 文字列		ダイアログ表示しない(0)/ダイアログ表示する(1) フル指定	無	— なし	固定 不可
文字入力 /取消	文字入力 (文字列) 改行 () 改頁 () 頁抑止 () 取消 ()	文字列			有		不可

OASYS/Winが用意するスクリプトの変数

スクリプト中で、次の変数を使用することができます。

変数名	型	値、領域	値の定義	
OASYS文書ファイル名	文字型	半角文字	ファイル名 OASYS2文書は拡張子なしで通知 OASYS文書（ハードディスク上）とテキストは拡張子を付けて通知	現在編集中の文書のファイル名
OASYS文書番号	数値	1～	文書番号	現在編集中の OASYS文書（フロッピィ上）の文書番号
OASYSドライブ	文字型	半角 1文字	A～Z	現在編集中の文書の保存ドライブ
OASYS文書形式	数値	1 2 3	OASYS2文書 OASYS文書 テキスト	現在編集中の文書の文書形式
OASYSオンライン	論理型	true false	OASYS文書（ハードディスク上） OASYS文書（フロッピィ上）	現在編集中の OASYS文書の形式（文書形式が OASYS文書以外の場合は無効）
OASYS文書ディレクトリ	文字型	半角 256文字分（最大）	ドライブ名から始まるディレクトリのフルパス ファイル名と最後尾の'¥¥'は付かない ルートディレクトリの場合'¥¥'が付く	現在編集中の文書の保存ディレクトリ（フロッピィ上の OASYS文書の場合は無効）
OASYS文書題名	文字型	半角50文字分（最大）	文書題名	現在編集中の文書の題名（テキストでは無効）
OASYS書類題名	文字型	半角50文字分（最大）	書類題名	保存先書類の題名（テキストの編集中和書類以外への保存の場合は無効）
OASYS文書変更	論理型	true false	あり なし	現在編集中の文書の内容の更新の有無
OASYS図形選択型	論理型	true false	図形型 テキスト型	範囲選択の型の現在の設定状態
OASYS図形モード	論理型	true false	図形モード 通常モード	図形モードの現在の設定状態

数式マクロ一覧表

▶数式のデータを作成するとき、一定の意味を持つ文字列に、「マクロ」と「機能文字」があります。ここでは、「マクロ」を「機能マクロ」と「記号・文字マクロ」に分けて、その意味、入力例などを紹介します。

機能マクロと文字マクロのマクロの分類

項目

●機能マクロ

- 根号……………文字、数字列を根号の形にします。
- 分数……………文字、数字列を分数の形にします。
- 行列……………文字、数字列を行数の形にします。
- 線……………文字、数字列に上線や下線を引きます。
- 文字の指定…文字の大きさ、書体を指定します。
- 位置の移動…文字と文字の間隔を指定したり、文字を上下左右に移動します。
- box……………boxごとに指定の方向に並べます。
- 網かけ……………文字、数字列に網をかけます。
- その他……………割算（筆算）の形で数字を並べます。
- 属性……………数式を表示する位置を指定します。

●記号・文字マクロ

- 関数記号
- 2項演算子
- 関係演算子
- 矢印記号
- 記号・文字
- ギリシャ文字
- アクセント
- 括弧記号

注意

- マクロをキーボードから直接入力するときは、入力モードが次のようになっていることを確認してください。
 - ・「半角」
 - ・「英大」または「英小」
- かな漢字変換プログラムとして OAKを使用する場合、マクロの中には、記号の読みを入力して【変換】、【漢字辞書】で表示できるものもあります。この場合は入力モードを「かな」にします。

機能マクロ一覧表

次ページからの機能マクロの一覧表は、一番左にそのマクロを使った数式例を表示しています。この欄で、書きたい数式の形を探してください。

マクロを入力する際の注意事項

- 機能マクロは、機能マクロの次に入力した文字、数字に対して有効です。対象となる文字、数字が1文字の場合は、そのまま入力してもかまいません。2文字以上になった場合は < > (box) ではさみます。

例)

$$\text{@frac <12><345>} \Rightarrow \frac{12}{345}$$

2文字以上の場合に、文字、数字だけをマクロのうしろに続けても、先頭のものしかマクロの対象になりません。

例)

$$\text{@frac 12345} \Rightarrow \frac{1}{2}345$$

- 機能マクロを < > ではさむと、その機能は < > 内でのみ有効となります。

例)

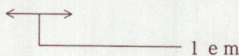
$$AB<@rm CD>EF \Rightarrow ABCDEF$$

- 文字や線の太さや長さの指定をする場合には、次の単位を使います。

$\left. \begin{array}{l} \text{em} \\ \text{mu} \end{array} \right\}$ 横幅を指定するときに使います。

・ 1 emは、大文字の "M" (半角) の幅と同じです。

M



e x 高さを指定するときに使います。

・ 1 e xは、小文字の "x" と同じ高さです。

X \updownarrow 1 e x

これらの単位の実際の値は、そのとき指定されている文字の大きさなどによって変化します。

根号

数式例	マクロ入力	マクロ	機能
$\sqrt{2}$	@sart 2 または $\sqrt{2}$	@sart または がくじゅつきごう 【漢字辞書】	平方根の形式で表示します。
$\sqrt[3]{2}$	@root 3 2	@root	n乗根の形式で表示します。

分数



数式例	マクロ入力	マクロ	機能
$\frac{2}{3}$	@frac <2> <3>	@frac	中心線を固定します。
$\frac{2}{3}$	@above 0.5ex <2> <3>	@above	中心線の太さを指定します。
$\frac{2}{3}$	@atop <2> <3>	@atop	中心線はありません。
$\frac{3}{2}$	@buildrel <2> <3>	@buildrel	中心線がありません。 分子が添字の大きさです。

行列

数式例	マクロ	機能
$\begin{matrix} abc & def & ghi \\ ABC & DEF & GHI \\ rst & uv & wxyz \end{matrix}$ <p>↑ ↑ ↑ 「すべて中央揃え」</p>	@matrix	式を、行列の形で表示します。各列は中央揃えで表示されます。最大8行×8列まで表示されます。
マクロ入力		
@matrix<abc\$def\$ghi\$abc\$def\$ghi\$rst\$uv\$wxyz>		

数式例	マクロ	機能
<pre> abc def ghi ABC DEF GHI rst uv wxyz ↑ ↑ ↑ 右揃え 中央揃え 左揃え </pre>	<p>@format</p> <p>@raji</p> <p>@cadj</p> <p>@ladj</p>	<p>行列の列ごとに、揃える位置を変更できます。</p> <p>@raji(右揃え)、@cadj(中央揃え)、@ladj(左揃え)のいずれかで統一することもできます。</p> <p>@matrixと組み合わせて使います。最大8行まで指定できます。</p>
マクロ入力		
@matrix @format<@radi @cadj @ladj><abc\$def\$ghi\$ABC\$DEF\$GHI\$rst\$wxyz>		
数式例		
<pre> { abc def ghi ABC DEF GHI ret uv wxyz } ↑ ↑ ↑ すべて左揃え </pre>	<p>@cases</p>	<p>式や文章を、縦方向に並べ、左端に{を付けます。各列は左揃えで表示されます。</p> <p>最大8行×8列まで表示できます。</p>
マクロ入力		
@cases<abc\$def\$ghi\$ABC\$DEF\$GHI\$rst\$uv\$wxyz>		
数式例		
<pre> abc def dfi ABC DEF GHI rst uv wxy ↑ ↑ ↑ 右揃え 中央揃え 左揃え </pre>	<p>@equalign</p>	<p>式を指定の記号(=など)を中央にして揃え、縦方向に並べます。</p> <p>最大8行×8列まで表示できます。</p>
マクロ入力		
@equalign<abc\$def\$ghi\$ABC\$DEF\$GHI\$rst\$uv\$wxy>		

線

数式例	マクロ入力	マクロ	機能
$\underline{x+y}$	@under<x+y>	@under	下線を引きます。
$\overline{x+y}$	@over <x+y>	@over	上線を引きます。
$\underbrace{x+y+z}$	@underbrace <x+y+z>	@underbrac	下括弧を表示します。
$\overbrace{x+y+z}$	@overbrace <x+y+z>	@overbrace	上括弧を表示します。
$\overleftarrow{x+y+z}$	@overleftarrow <x+y+z>	@overleftarrow	上左矢を引きます。
$\overrightarrow{x+y+z}$	@overrightarrow<x+y+z>	@overrightarrow	上右矢を引きます。
	@line 5.00em 0.02ex	@line	幅、長さを指定して直線を引きます。 横はem単位です。 縦はex単位です。
	@line 5.00em 0.20ex		

文字の指定

数式例	マクロ入力	マクロ	機能
n	@disp n	@disp	通常文字の大きさです。 (@disp表記が無い場合でも通常文字で表示します。)
$\frac{2}{3}$	@frac<2><3>		
$\frac{2}{3}$	@text @frac<2><3>	@text	数式を一行で表示します。
$n+n_n$	n + @scr n + @sscr n	@scr	添字の大きさです。
		@sscr	添字の添字の大きさです。

数式例	マクロ入力	マクロ	機能
<i>ABcdef</i>	@it @bl<ABcdef>	@it	以降の半角で入力された英字、全角数学記号* をイタリック体で表示します。 ミティアム体と組み合わせが可能です。
ABcdef	@rm @nbl<ABcdef>	@rm	以降の半角で入力された英字、全角数学記号* をローマン体で表示します。 ボールド体と組み合わせが可能です。
<i>ABcdef</i>	@it @nbl<ABcdef>	@nbl	以降の半角で入力された英字、全角数学記号* をミティアム体で表示します。 ローマン体、スクリプト体、ジャーマン体と組み合わせが可能です。
ABcdef	@rm @bl<ABcdef>	@bl	以降の半角で入力された英字、全角数学記号* をボールド体で表示します。 イタリック体と組み合わせが可能です。
<i>ABcdef</i>	@size5.0<ABcdef>	@size	3 ポ～ 999.5ポまでの文字の大きさを指定できます。 マクロ式の最初で指定します。
<i>ABcdef</i>	@size10.0<ABcdef>		
<i>ABcdef</i>	@size20.0<ABcdef>		
<i>ABcdef</i>	@size30.0<ABcdef>		
あいうえお	@mcho < あいうえお > または 𐄂 < あいうえお >	@mcho または みんちょう 【変換】	以降の全角で入力された文字を明朝体で表示します。
あいうえお	@goth < あいうえお > または 𐄃 < あいうえお >	@goth または ごしゅく 【変換】	以降の全角で入力された文字をゴシック体で表示します。

* 全角数学記号：マクロの代わりに、全角の記号をそのまま入力してもよい記号

数式例	マクロ入力	マクロ	機能
$ABCDEF$	<code>@script @nbl<ABCDEF></code>	<code>@script</code>	以降の半角で入力された英大文字を筆記体で表示します。 ギリシャ文字のうち英字と同一の文字(A, Eなど)も筆記体で表示され ます。
$\mathcal{A}Bcdef$	<code>@german @nbl<ABcdef></code>	<code>@german</code>	以降の半角で入力された英大文字をドイツ文字で表示します。 ギリシャ文字のうち英字と同一の文字(A, Eなど)もドイツ文字で表示 されます。

位置の移動

数式例	マクロ入力	マクロ	機能
$ABcd$ $AB\ cd$	<code>ABcd</code> <code>AB @quad<cd></code>	<code>@quad</code>	1文字分の空白を空けます。 1em=18mu
$ABcd$ $AB\ cd$	<code>ABcd</code> <code>AB@Q<cd></code>	<code>@1~@9</code>	指定の大きさの空白を空けます。 mu単位
$ABcd$ $AB\ cd$	<code>ABcd</code> <code>AB@!<cd></code>	<code>@!</code>	1/6文字分つめます。 1/6quad=3mu
$A \pm B \geq 0$ (複合同順)	<code>A ± B @2 <@scr @down 0.5 ex @@left 1em @up 0.5ex @>@2 0 @right 0.5em (複 合同順)</code>	<code>@up</code>	b o xを上指定した量だけ移動し ます。 ex単位
		<code>@down</code>	b o xを下指定した量だけ移動し ます。 ex単位
		<code>@right</code>	右に指定した量だけ移動します。 em, mu単位
		<code>@left</code>	左に指定した量だけ移動します。 em, mu単位


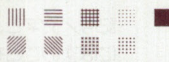

数式例	マクロ入力	マクロ	機能
$ABcd$	ABcd	@brea	数式を改行します。 自動的に適当な行間を空けて改行します。 マクロの途中やb o xの中で使った場合は無効です。
AB	AB @break cd		
CD			

VII box

数式例	マクロ入力	マクロ	機能
1s_2	@null\$ s#2	@null	幅0の空白を空けます。 左添字を付ける場合などに使用します。
$a_0 + \frac{1}{a_1 + \frac{1}{a_2 + \frac{1}{a_3 + \frac{1}{a_4}}}}$	a#0+@frac 1 <a#1+@frac 1 <a#2+@frac 1 <a#3+@frac 1 a#4>>>>	@strut	括弧と同サイズの高さを持つ、 幅0の空白を空けます。
$a_0 + \frac{1}{a_1 + \frac{1}{a_2 + \frac{1}{a_3 + \frac{1}{a_4}}}}$	a#0+@frac 1 <@disp a#1+@strut@frac 1 <@disp a#2 +@strut@frac 1 <@disp a#3+@strut@frac 1 <@disp a#4>>>>>>		
$\begin{matrix} 2 \\ 3 \\ 1+4+5 \end{matrix}$	1+@vbox<2\$3\$4>+5	@vbox	複数boxを縦方向に並べます。 他の文字とは最下行でそろえます。
$\begin{matrix} 2 \\ 1+3+5 \\ 4 \end{matrix}$	1+@vcent<2\$3\$4>+5	@vcent	複数boxを縦方向に並べます。 他の文字とは中心行でそろえます。
$\begin{matrix} 1+2+5 \\ 3 \\ 4 \end{matrix}$	1+@vtop<2\$3\$4>+5	@vtop	複数boxを縦方向に並べます。 他の文字とは最上行でそろえます。

数式例	マクロ入力	マクロ	機能
\rightleftharpoons \longleftrightarrow	$\text{@rightleftharpoons}$ $\text{@wide 5em @rightleftharpoons}$	@wide	<p>次に示す矢印記号を指定の長さに拡大します。</p> <p style="text-align: right;">em, mu単位</p> <ul style="list-style-type: none"> \rightarrow @rightarrow \leftarrow @leftarrow \Rightarrow @Rightarrow \Leftarrow @Leftarrow \leftrightarrow @leftrightarrow \Leftrightarrow @Leftrightarrow \mapsto @mapsto \rightarrowtail @rightharpoonup \rightarrowtail @rightharpoondown \leftarrowtail @leftharpoonup \leftarrowtail @leftharpoondown \rightleftharpoons $\text{@rightleftharpoons}$ \Leftrightarrow @leftrightarpoons \hookrightarrow @hookrightarrow \hookleftarrow @hookleftarrow \Leftrightarrow @rightleftarrows \Leftrightarrow @leftrightharrows
\Updownarrow \Uparrow	@Uparrow $\text{@height 5ex @Updownarrow}$	@height	<p>次に示す記号を指定の長さに拡大します。</p> <p style="text-align: right;">ex単位</p> <ul style="list-style-type: none"> / / * \uparrow @uparrow @lvert \downarrow @downarrow @rvert \uparrow @Uparrow @Lvert \downarrow @Downarrow @Rvert \Updownarrow @updownarrow [[@ldbrack \Updownarrow @Updownarrow]] @rdbrack (([@lceil))] @rceil [@lbrack L @lfloor] @rbrack J @rfloor \langle @langle \ @backslash* \rangle @rangle @Vert { @lbrace @vert } @rbrace <p>* 5ex までしか拡大できません。</p>

網かけ・その他

数式例	マクロ入力	マクロ	機能
\overline{ABC}	@pat  <ABC>	@pat ぐらふもよう 【漢字辞書】	網がかけられます。 
\boxed{ABC}	@pat  <ABC>	@pat しかく 【変換】	boxを四角で囲みます。
\overline{ABC}	@pat / <ABC>	@pat きじゅつきごう 【漢字辞書】	boxに2種類の斜め消し線を引く ことができます。 \ /
\overline{ABC}	@pat - <ABC>	@pat せん ほそせん ふで けいせん 【変換】	boxに横消し線を付けることが できます。
\overline{ABC}	@pat = <ABC>	@pat せん ふで にじゅうせん 【変換】	boxに二重消し線を付けることが できます。
$12\overline{3456}$	@divide <12><3456>	@divide	割り算の形式で表示します。

属性

数式例	マクロ入力	マクロ	機能
式 $A = B + C$ を計算する	@djust A=B+C	@adjust	数式を文字と文字の中央に表示し ます。
式 $A = B + C$ を計算する	@noadjust A=B+C	@noadjust	数式を左に寄せて表示します。
$\overset{MM}{\frac{1}{2}}$	@noalignbase @frac12	@noalignbase	行の上端と数式の上端をそろえ ます。
$\underset{MM}{\frac{1}{2}}$	@alignbase @frac12	@alignbase	行の下端と数式のペーラインをそ ろえます。

記号・文字マクロ一覧表

記号／文字と、それを表示するときに入力するマクロを列記しています。「備考」の欄には次のことを記述しています。

- ・マクロの代わりに全角の記号をそのまま入力してもよい記号、文字の読み（【変換】で表示できるものは【変換】の読み、それ以外は【漢字辞書】の読み）
- ・その他記号／文字に関する注意事項
- ・その他記号／文字に関する参考事項

関数

記号	マクロ	備考
\int	@int	がくじゅつきごう【漢字辞書】
\oint	@oint	
\int	@intop	@int、@intopとは、添字の付き方が異なります。 例)
\oint	@ointop	@int#0<-1> @intop#0<-1> \int_0^{-1} \int_0^{-1}
\prod	@prod	
\sum	@sum	
\cup	@bigcup	
\cap	@bigcap	
\coprod	@coprod	
\vee	@bigvee	
\wedge	@bigwedge	
exp	@exp	
ln	@ln	
log	@log	
\oplus	@bigoplus	
\otimes	@bigotimes	
\odot	@bigodot	
\oplus	@bigoplus	
\diamond	@bigdiamond	
\sqcup	@bigsqcup	

記号	マクロ	備考
\lim	@lim	
$\underline{\lim}$	@Liminf	
$\overline{\lim}$	@Limsup	
liminf	@liminf	
limsup	@limsup	
inf	@inf	
sup	@sup	
sin	@sin	
cos	@cos	
tan	@tan	
sec	@sec	必要な関数文字がない場合は、@rm を前に付けて、数式入力画面で入力すると、ローマン体で表示できます。
csc	@csc	例)
cot	@cot	<@rm abc>DEF ⇔ abcDEF
Sin^{-1}	@Arcsin	
Cos^{-1}	@Arccos	
Tan^{-1}	@Arctan	
arcsin	@arcsin	
arccos	@arccos	
arctan	@arctan	
sinh	@sinh	
cosh	@cosh	
tanh	@tanh	
coth	@coth	

記号	マクロ	備考
Pr	@Pr	必要な関数文字がない場合は、@rm を前に付けて、数式入力画面で入力すると、ローマン体で表示できます。 例) $\langle @rm abc \rangle DEF \Rightarrow abcDEF$
arg	@arg	
deg	@deg	
max	@max	
min	@min	
det	@det	
dim	@dim	
gcd	@gcd	
hom	@hom	
ker	@ker	

2 項演算子

記号	マクロ	備考
+	+	
-	-	
×	@times	かける【変換】
÷	@div	わる【変換】
*	* @ast	
/	/	@heightと組み合わせると 5exの高さにまで拡大できます。 例) @height 3ex / \Rightarrow /
±	@pm	ぶらすまいなす【変換】
〒	@mp	
·	· (中黒) @cdot	
•	@bullet	

記号	マクロ	備考
◦	@circ	
○	@bigcirc	まる【変換】
∪	@cup	がくじゅつきごう【漢字辞書】
∩	@cap	がくじゅつきごう【漢字辞書】
∧	@wedge @land	がくじゅつきごう【漢字辞書】
∨	@vee @lor	がくじゅつきごう【漢字辞書】
mod	@bmod	
▽	@bigtriangledown	さんかく【変換】
△	@bigtriangleup	さんかく【変換】
◁	@triangleleft	
▷	@triangleright	
⊕	@oplus	
⊖	@ominus	
⊗	@otimes	
⊘	@oslash	
⊙	@odot	
†	@dagger	
‡	@ddagger	
∩	@wr	
□	@Rect	
▣	@rect	
◇	@diamond	
∏	@amalg	

記号	マクロ	備考
\setminus	@setminus	
$+$	@contfrac	
\dagger	@directsum	
\approx	@simarrow	
\oplus	@uplus	
\sqcup	@sqcup	
\sqcap	@sqcap	
\cup	@Cup	
\cap	@Cap	
$\bar{\cup}$	@cupbar	
$\bar{\cap}$	@capbar	
\asymp	@veedoublebar	
\triangleq	@wedgedoublebar	
\trianglelefteq	@triangleeq	
$\bar{\wedge}$	@barwedge	
$\bar{\wedge}$	@doublebarwedge	
\veebar	@veebar	
\curlyvee	@curlyvee	
\curlywedge	@curlywedge	

関係演算子

記号	マクロ	備考
=	=	
≠	@not= @ne @nep @noteq	のっといこーる【変換】
<	@<	ふとうごう【変換】
>	@>	ふとうごう【変換】
≦	@Le @Leq	ふとうごう【変換】
≧	@Ge @Geq	ふとうごう【変換】
≤	@le @leq	
≥	@ge @geq	
≡	@equiv	がくじゅつきごう【漢字辞書】
≍	@Doteq	にありいこーる【変換】
≎	@doteq	
∝	@Propto	がくじゅつきごう【漢字辞書】
∞	@propto	がくじゅつきごう【漢字辞書】
≪	@ll	がくじゅつきごう【漢字辞書】
≫	@gg	がくじゅつきごう【漢字辞書】
⊂	@subset	がくじゅつきごう【漢字辞書】
⊃	@supset	がくじゅつきごう【漢字辞書】
⊆	@Subseteq	
⊇	@Supseteq	
⊆	@subceteq	
⊇	@supceteq	
∈	@in	がくじゅつきごう【漢字辞書】

記号	マクロ	備考
\ni	@ni @owns	がくじゅつきごう【漢字辞書】
\notin	@notin	
//	@Parallel	
	@parallel	
\perp	@perp	がくじゅつきごう【漢字辞書】
	@mid	
\approx	@approx	
\cong	@cong @Simeq	
\sim	@sim	きじゅつきごう【漢字辞書】
\simeq	@simeq	
\leftarrow	@fromn	
\smile	@smile	
\backslash	@Not	次に入力した文字や記号に重なります。 例)
/	@not	@Not \equiv \Leftrightarrow \approx @not \equiv \Leftrightarrow \neq
\models	@models	
\dashv	@dashv	
\vdash	@vdash	
\prec	@prec	
\succ	@succ	
\preceq	@preceq	
\succeq	@succeq	
\bowtie	@bowtie	
\asymp	@asyp	

記号	マクロ	備考
\Subset	@Subsetnea	
\Supset	@Supsetnea	
\sqsubset	@sqsubsetea	
\sqsupset	@sqsupsetea	
\subset	@Subset	
\supset	@Supset	
\subsetarrow	@subsetarrow	
\supsetarrow	@supsetarrow	
\parallel	@parallelea	
\Parallelea	@Parallelea	
\lessgtr	@lessgtr	
\gtrless	@gtrless	
\lesseqgtr	@lesseqgtr	
\gtreqless	@gtreqless	
\lesseqqgtr \Lesseqqgtr	@lesseqqgtr @Lesseqqgtr	
\gtreqqless $Gtreqqless$	@gtreqqless @Gtreqqless	

矢印記号

記号	マクロ	備考
\rightarrow	@rightarrow @to	みぎや【変換】 @wideと組み合わせると指定の長さに拡大できます。 em, mu単位
\leftarrow	@leftarrow @gets	ひだりや【変換】 例) @wide 3em @rightarrow \Leftrightarrow \longrightarrow

記号	マクロ		備考
↑	@uparrow	うえや 【変換】	@heightと組み合わせると指定の高さに拡大できます。 ex単位
↓	@downarrow	したや 【変換】	例) @height 3ex @uparrow ⇒ ↑
⇒	@Rightarrow	がくじゅつきごう 【漢字辞書】	@wideと組み合わせると指定の長さに拡大できます。 em, mu単位
⇐	@Leftarrow		例) @wide 3em @Leftarrow ⇒ ⇐
↑↑	@Uparrow		@heightと組み合わせると指定の高さに拡大できます。 ex単位
↓↓	@Downarrow		例) @height 3ex @uparrow ⇒ ↑↑
↔	@leftrightarrow		@wideと組み合わせると指定の長さに拡大できます。 em, mu単位 例) @wide 3em @leftrightarrow ⇒ ↔
↕	@updownarrow		@heightと組み合わせると指定の高さに拡大できます。 ex単位 例) @height 3ex @updownarrow ⇒ ↕

記号	マクロ	備考
⇔	@Leftrightarrow	<p>@wideと組み合わせると指定の長さに拡大できます。</p> <p>em, mu単位</p> <p>がくじゅつきごう 【漢字辞書】</p> <p>例) @wide 3em @Leftrightarrow ⇔ ⇔⇔</p>
↕	@Updownarrow	<p>@heightと組み合わせると指定の高さに拡大できます。</p> <p>ex単位</p> <p>例) @height 3ex @Updownarrow ⇔ ↕</p>
→	@longrightarrow	
←	@longleftarrow	
⇒	@Longrightarrow	
⇐	@Longleftarrow	
↔	@longleftrightarrow	
⇔	@Longleftrightarrow @iff	
↗	@nearrow	
↖	@nwarrow	
↘	@searrow	
↙	@swarrow	
↪	@mapsto	<p>@wideと組み合わせると指定の長さに拡大できます。</p> <p>em, mu単位</p> <p>例) @wide 3em @mapsto ⇔ ↪</p>
↩	@longmapsto	

記号	マクロ	備考
→	@rightharpoonup	@wideと組み合わせると指定の長さに拡大できます。 em, mu単位 例) @wide 3em @rightharpoonup ⇨ →
↘	@rightharpoondown	
←	@leftharpoonup	
↙	@leftharpoondown	
↔	@rightleftharpoons	
↔	@leftrightharpoons	
↪	@hookrightarrow	
↩	@hookleftarrow	
↔	@rightleftarrows	
↔	@leftrightarrows	

記号・文字

記号	マクロ	備考
∫	@smallint	
∞	@infty	がくじゅつきごう【漢字辞書】
∴	@therefore	ゆえに【変換】
∵	@because	なぜならば【変換】
∀	@forall	がくじゅつきごう【漢字辞書】
∃	@exists	がくじゅつきごう【漢字辞書】
∅	@emptyset	
ℓ	@ell	りっとる【変換】
∂	@partial	がくじゅつきごう【漢字辞書】
∠	@angle	がくじゅつきごう【漢字辞書】
⊥	@bot	

記号	マクロ	備考
\triangle	@triangle	
\square	@bigrect	しかく【変換】
\square	@parallelogram	
\neg	@Neg	
\neg	@neg	がくじゅつきごう【漢字辞書】
'	@prime	
\Im	@Im	
\Re	@Re	
†	@dag	いっばんきごう【漢字辞書】
‡	@ddag	いっばんきごう【漢字辞書】
h	@hhar	
∇	@nabla	がくじゅつきごう【漢字辞書】
\AA	@AA	おんぐすとろーむ【変換】
\aa	@aa	
\imath	@imath	
\jmath	@jmath	
#	@#	
\$	@\$	
&	@&	
@	@@	いっばんきごう【漢字辞書】
††	@sdag	
‡‡	@sddag	
i	@i	

記号	マクロ	備考
ℓ	@l	
1	@i	
j	@j	
æ	@ae	
Æ	@AE	
œ	@oe	
Œ	@OE	
ø	@o	
Ø	@O	
ß	@ss	
ƒ	@wp	
⊤	@top	
√	@surd	
ℵ	@aleph	
beth	@beth	
§	@S	
¶	@P	
#	@sharp	
b	@flat	
♮	@natural	
◇	@diamondsuit	
♥	@heartsuit	
♠	@spadesuit	

記号	マクロ	備考
♣	@clubsuit	
*	@star	
∅	@mho	
∠	@measuredangle	
∠	@sphericalangle	
£	@pounds	

ギリシャ文字

記号	マクロ		備考
A	@Alpha	あるふあ【変換】	
B	@Beta	べーた【変換】	
Γ	@Gamma	がんま【変換】	
Δ	@Delta	でるた【変換】	
E	@Epsilon	いぶしろん【変換】	
Z	@Zeta	つえーた【変換】	
H	@Eta	いーた【変換】	
Θ	@Theta	しーた【変換】	ギリシアもじ【漢字辞書】
I	@Iota	いおた【変換】	
K	@Kappa	かっぱ【変換】	
Λ	@Lamda	らむだ【変換】	
M	@Mu	みゅー【変換】	
N	@Nu	にゅー【変換】	
Ξ	@Xi	くざい【変換】	

記号	マクロ		備考
O	@Omicron	おみくろん【変換】	
Π	@Pi	ぱい【変換】	
P	@Rho	ろー【変換】	
Σ	@Sigma	しぐま【変換】	
T	@Tau	たう【変換】	
Υ	@Upsilon	うぶしろん【変換】	
Φ	@Phi	ふあい【変換】	
X	@Chi	かい【変換】	
Ψ	@Psi	ぶしい【変換】	
Ω	@Omega	おめが【変換】	
α	@alpha	あるふぁ【変換】	
β	@beta	べーた【変換】	ざりしあもじ【漢字辞書】
γ	@gamma	がんま【変換】	
δ	@delta	でるた【変換】	
ε	@epsilon		
ε	@varepsilon	いぶしろん【変換】	
ζ	@zeta	つえーた【変換】	
η	@eta	いーた【変換】	
θ	@theta	しーた【変換】	
θ	@vartheta		
ι	@iota	いおた【変換】	
κ	@kappa	かっぱ【変換】	
λ	@lambda	らむだ【変換】	

記号	マクロ		備考
μ	@mu	みゅー【変換】	
ν	@nu	にゅー【変換】	
ξ	@xi	くざい【変換】	
\omicron	@omicron	おみくろん【変換】	
π	@pi	ぱい【変換】	
ϖ	@varpi		
ρ	@rho	ろー【変換】	
ϱ	@verrho		
σ	@sigma	しぐま【変換】	ざりしあもじ【漢字辞書】
ς	@versigma		
τ	@tau	たう【変換】	
υ	@upsilon	うぶしろん【変換】	
ϕ	@phi	ふあい【変換】	
φ	@varphi		
χ	@chi	かい【変換】	
ψ	@psi	ぶしい【変換】	
ω	@omega	おめが【変換】	

アクセント

記号	マクロ	備考
\bar{a}	@bar	aは任意指定です。
\ddot{a}	@ddot	
\dot{a}	@dot	
\hat{a}	@hat	
\tilde{a}	@tilde	
\vec{a}	@vec	
\acute{a}	@acute	
\grave{a}	@grave	
\check{a}	@check	
\grave{a}	@grave	
$\overset{\circ}{a}$	@updot	
\widehat{AB}	@widearc	A Bは任意指定です。 A Bは<>(box) で囲みます。
\widehat{AB}	@widehat	
\overrightarrow{AB}	@widevec	
\widetilde{AB}	@widetilde	

記号	マクロ		備考
((かっこぎごう 【漢字辞書】	数式の行数に合わせた高さの括弧になります。 * @heightと組み合わせると指定の高さに拡大 できます。 ex単位
))	かっこぎごう 【漢字辞書】	
[[@lbrack	だいかっこ【変換】	例) @height 3ex (⇔ (
]] @rbrack	だいかっこ【変換】	* @heightと組み合わせた場合は @heightの 指定が優先されます。
<	@langle	かっこぎごう 【漢字辞書】	@height組み合わせると 5exの高さにまで拡大 できます。 例) @height 3ex @langle ⇔ <
>	@rangle	かっこぎごう 【漢字辞書】	
{	@Rvert	ちゅうかっこ 【変換】	数式の行数に合わせた高さの括弧になります。 * @heightと組み合わせると指定の高さに拡大 できます。 ex単位
}	@lbrack	ちゅうかっこ 【変換】	
	@lvert	左用	例) @height 3ex @lbrace ⇔ {
	@rvert	右用	
	@Lvert	左用	* @heightと組み合わせた場合は @heightの 指定が優先されます。
	@Rvert	右用	
[@lbrack		
]	@rbrack		
[@lceil		
]	@rceil		
[@lfloor		
]	@rfloor		

記号	マクロ		備考
\	@backslash	きじゅつきごう 【漢字辞書】	@heightと組み合わせると 5exの高さにまで 拡大できます。 例) @height 3ex @backslash ⇔ \
	@Vert	きじゅつきごう 【漢字辞書】	@heightと組み合わせると指定の高さに拡大 できます。 ex単位
	@vert	きじゅつきごう 【漢字辞書】	例) @height 3ex @Vert ⇔
!	!		
·	@cdotp		
:	@colon		
;	;		
,	,		
…	@cdots		てんてん【変換】
⋯	@ddots		
...	@ldots @dots		
⋮	@vdots		たてきじゅつ【漢字辞書】

OAK/Winの諸情報

文字入力のみ

▶ OAK/Winで文字を入力するときの入力状態や変換操作などを一覧にしてみました。

入力状態のみ

英大文字、英小文字を入力するとき

画面右下の表示	入力できる文字
「 英大」 「 AL」	半角文字の英大文字
「 英小」 「 al」	半角文字の英小文字
「全 英大」 「全 AL」	全角文字の英大文字
「全 英小」 「全 al」	全角文字の英小文字

※ 「al」と「AL」は親指シフトキーボードのみ

ひらがな、カタカナを入力するとき

画面右下の表示	入力できる文字
「 かな」 「 Rかな」	全角文字のひらがな
「 カナ」 「 Rカナ」	半角文字のカタカナ
「全 カナ」 「全Rカナ」	全角文字のカタカナ

ローマ字かな変換機能

画面右下の表示	ローマ字かな変換機能
「R」の表示なし	ローマ字かな変換しない
「R」の表示あり	ローマ字かな変換する

数字を入力するとき

画面右下の表示	入力できる文字
「全」の表示なし	半角文字の数字
「全」の表示あり	全角文字の数字

漢字を入力するとき

画面右下の表示	漢字入力の可否
「辞」の表示なし	漢字を入力できない
「辞」の表示あり	漢字を入力できる

変換操作

※入力状態はいずれも「かな」（または「Rかな」）にする

かな漢字変換をする	①漢字の読みを入力する ②【変換】を押す
読みで辞書を引く	①漢字の読みを入力する ②【漢字辞書】を押す
画数で辞書を引く	①【SHIFT】を押しながら【か】を押す（親指シフト） 「か」を入力した後、「 ^レ 」を入力する（JIS） □-マ字で「KWA」と入力する（親指、JIS） ②画数を入力する ③【漢字辞書】を押す
部首で辞書を引く	①【SHIFT】を押しながら【け】を押す（親指シフト） 「け」を入力した後、「 ^レ 」を入力する（JIS） □-マ字で「KWE」と入力する（親指、JIS） ②部首の読みを入力する ③【漢字辞書】を押す
区点コードで入力する	①【SHIFT】を押しながら【<】を押す（親指シフト） 「<」を入力した後、「 ^レ 」を入力する（JIS） □-マ字で「KWU」と入力する（親指、JIS） ②区点コードを入力する ③【漢字辞書】を押す

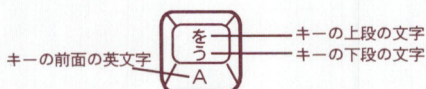
親指シフトキーボードの使いかた

入力状態が「英大」「英小」のとき

入力できる文字	キーの押しかた
キーの前面の英文字	そのまま押す
キーの前面右側の記号	そのまま押す
キーの前面左側の記号	【SHIFT】を押しながら押す
キーの前面の記号	【SHIFT】を押しながら押す
数字	そのまま押す
「英小」のときに英大文字を入力する	【SHIFT】を押しながら押す
「英大」のときに英小文字を入力する	【SHIFT】を押しながら押す

入力状態が「かな」「カナ」のとき

入力できる文字	キーの押しかた
キーの下段の文字	そのまま押す
キーの上段の文字	文字と同じ側の【親指左】【親指右】と同時に押す
濁音	文字と反対側の【親指左】【親指右】と同時に押す
半濁音	【親指左】と同時に「ばびぶべぼ」を押す または、【SHIFT】を押しながら「はひふへほ」を押す



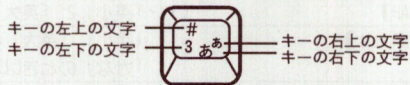
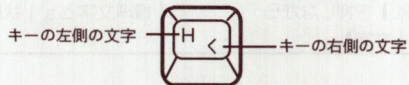
JISキーボードの使いかた

入力状態が「英大」「英小」のとき

入力できる文字	キーの押しかた
キーの左側の文字	そのまま押す
キーの左下の文字	そのまま押す
キーの左上の文字	【SHIFT】を押しながら押す
数字	そのまま押す
「英小」のときに英大文字を入力する	【SHIFT】を押しながら押す
「英大」のときに英小文字を入力する	【SHIFT】を押しながら押す

入力状態が「かな」「カナ」のとき

入力できる文字	キーの押しかた
キーの右側の文字	そのまま押す
キーの右下の文字	そのまま押す
キーの右上の文字	【SHIFT】を押しながら押す
濁音	文字キーを押し、次に【'】を押す
半濁音	文字キーを押し、次に【C'】を押す



キー操作一覧

▶ QAK/Winのキー操作を一覧にまとめてみます。

入力状態の設定

押すキー	機能
【全角/全角】	「全」の表示を切り換えます
【かな漢字】	「辞」の表示を切り換えます
【CTRL】を押しながら 【ローマ字】	「R」の表示を切り換えます

親指シフトキーボード

押すキー	機能
【無変換】	「かな」に切り換えます
【変換】	「かな」に切り換えます
【英字】	「英大」に切り換えます
【カタカナ/英小文字】	「かな」のときは、「カナ」に切り換えます 「英大」のときは、「英小」に切り換えます
【CTRL】を押しながら 【英小文字】	標準文字とa 状態を切り換えます

JISキーボード

押すキー	機能
【CAP】	「英小」と「英大」を切り換えます
【カタカナ】	「英小」「英大」と「カナ」を切り換えます 「かな」のときは、「カナ」に切り換えます
【ひらがな】	「英小」「英大」と「かな」を切り換えます 「カナ」のときは、「かな」に切り換えます

変換機能

押すキー	機能
【無変換】	ひらがなの入力と、かなカタカナ変換を行います
【変換】	かな漢字変換を行います
【CTRL】を押しながら【変換】	拡張変換を行います
【CTRL】を押しながら【無変換】	ひらがなをカタカナに変換します かな漢字変換後に1つ前の変換文字を表示します
【CTRL】を押しながら【実行】	変換中の文字列を確定します

漢字辞書機能

押すキー	機能
【漢字辞書】	読みに対応する漢字（記号）を表示します
【変換】	次の5文字の候補文字を表示します
【無変換】	1つ前の5文字の候補文字を表示します
【SHIFT】を押しながら 【カ】（親指シフト） 【カ】のあとで【 〃 】（JIS） 【K】【W】【A】を押す（ローマ字入力するとき）	画数変換のための画数入力状態にします（画面に“画”と表示されます）
【SHIFT】を押しながら 【ナ】（親指シフト） 【ナ】のあとで【 〃 】（JIS） 【K】【W】【E】を押す（ローマ字入力するとき）	部首変換のための部首入力状態にします（画面に“部”と表示されます）

その他の機能

押すキー	機能
【SHIFT】を押しながら 【<】（親指シフト） 【<】のあとで【 〃 】（JIS） 【K】【W】【U】を押す（ローマ字入力するとき）	区点コード入力のための区点コード入力状態にします（画面に“区”と表示されます）
【単語登録】	単語登録処理を開始します
【単語抹消】	単語抹消処理を行います

記号の入力

▶記号には、入力しやすくするための読みが付けられています。
読みを入力して記号に変換する方法をまとめます。

1. 記述記号の入力
2. 括弧の入力
3. 一般記号の入力
4. 学術記号の入力
5. 数字記号の入力
6. 特殊記号の入力
7. 単位記号の入力
8. ギリシア文字の入力
9. 縦書き文字の入力
10. 括弧付き英小文字の入力
11. グラフ記号の入力
12. 罫線記号の入力
13. 括弧記号の入力
14. 漢字選択での入力
15. 制御記号での入力

1. 記述記号の入力

記号	単語読み	記号	単語読み
々	のま とう どう くりかえしきごう	!	かんたんふ びっくり びっくりまーく
〃	とう どう くりかえしきごう	—	ちょうおん
ノ	しめ	?	ぎもんふ はてな
○	まる		たてぼう
,	かんま てん こんま	カ	よこか
.	びりおど	ヶ	よこけ
:	ころん	わ	よこわ
;	せみころん	ワ	よこわ

2. 括弧の入力

記号	単語読み
[だいかっこ
{	ちゅうかっこ
【	すみつきかっこ
]	だいかっこ
}	ちゅうかっこ
】	すみつきかっこ

3. 一般記号の入力

記号	単語読み	記号	単語読み
☆	ほし しろほし	△	さんかく
★	ほし くらほし	▲	さんかく くらさんかく
○	まる	▽	さんかく
●	まる くらまる	▼	さんかく くらさんかく
◎	にじゅうまる	◁	さんかく
◇	ひしがた	▷	さんかく
◆	ひしがた くらひしがた	#	しゃーぶ
□	しかく	b	ふらっと
■	しかく くらしかく	♪	おんぶ
→	みぎや	→	つなぎや
←	ひだりや	←	つなぎや
↑	うえや	♁	くらぶ
↓	したや	◇	だいや
⇒	みぎや	♡	はーと
⇐	ひだりや	♁	すべーど
↑	うえや	※	こめじるし
↓	したや		

4. 学術記号の入力

記号	単語読み	記号	単語読み
+	たす ぶらす	<	ふとうごう
-	ひく まいなす	>	ふとうごう
±	ぶらすまいなす	≦	ふとうごう
×	かける	≧	ふとうごう
÷	わる	∴	ゆえに
=	いこーる わ とうごう	∴	なぜならば
≡	にありいこーる	♂	おす
≠	のっといこーる	♀	めす

5. 数字記号の入力

記号	単語読み	記号	単語読み	記号	単語読み	記号	単語読み
0.	ゼロ れい	(9)	かっこ9	⑦	まる7	㊦	まる25
1.	いち	(10)	かっこ10	⑧	まる8	㊧	まる26
2.	に	(11)	かっこ11	⑨	まる9	㊨	まる27
3.	さん	(12)	かっこ12	⑩	まる10	㊩	まる28
4.	し よん	(13)	かっこ13	⑪	まる11	㊪	まる29
5.	ご	(14)	かっこ14	⑫	まる12	㊫	まる30
6.	ろく	(15)	かっこ15	⑬	まる13	㊬	まる31
7.	しち なな	(16)	かっこ16	⑭	まる14	i	いち
8.	はち	(17)	かっこ17	⑮	まる15	ii	に
9.	く きゅう	(18)	かっこ18	⑯	まる16	iii	さん
(1)	かっこ1	(19)	かっこ19	⑰	まる17	iv v	し よん
(2)	かっこ2	(20)	かっこ20	⑱	まる18	v vi	ご
(3)	かっこ3	①	まる1	⑲	まる19	vii vii	ろく
(4)	かっこ4	②	まる2	⑳	まる20	viii viii	しち なな
(5)	かっこ5	③	まる3	㉑	まる21	ix ix	はち
(6)	かっこ6	④	まる4	㉒	まる22	x x	く きゅう
(7)	かっこ7	⑤	まる5	㉓	まる23		
(8)	かっこ8	⑥	まる6	㉔	まる24		

6. 特殊記号の入力

記号	単語読み	記号	単語読み
株 株	かぶ	©	まるしー
業	かぶしきがいしゃ	®	まるあーる
(自)	かっこじ	㊦	あばーと
KK	けいけい	㊧	びる
TEL ☎	でんわ てれ	㊨	まんしょん
〒 ㊦ ㊧	ゆうびん	㊩	こーぼ
No	なんばー	㊪	はいつ

7. 単位記号の入力

角度・通貨

記号	単語読み	記号	単語読み	記号	単語読み
°	ど	ドル	どる	ミリ	みり
'	ぶん	セン	せんと	センチ	せんち
"	びょう	mm	みりめーとる	センチ	めーとる
¥	えん	cm	せんちめーとる	キロ	きろ
\$	どる	km	きろめーとる	センチ	きろめーとる
£	ぼんど	Å	おんぐすとろーむ	インチ	いんち
¢	せんと	in	いんち		

面積

記号	単語読み
cm ²	へいほうせんちめーとる
m ²	へいほうめーとる
km ²	へいほうきろめーとる
ア	あーる
ハ	へくたーる

体積・質量

記号	単語読み	記号	単語読み
cm ³	りっぽうせんちめーとる	mg	みりぐらむ
m ³	りっぽうめーとる	kg	きろぐらむ
cc	しーしー	グラム	ぐらむ
ml	みりりっとる	キログラム	きろぐらむ
dl	でしりっとる	トン	とん
kl	きろりっとる		

時間

記号	単語読み
ms	みりせかんど
us	まいくろせかんど
ns	なのせかんど

その他

記号	単語読み	記号	単語読み
%	ばーせんと	パーセント	ばーせんと
‰	ばーみり ばーみる	かりー	かりー
℃	どしー	ワット	わっと
HP	ばりき	ほん	ほーん
Hz	へるつ	ヘルツ	へるつ
mb	みるばーる	ミリバール	みりばーる
		ペーじ	ペーじ

8. ギリシア文字の入力

記号	単語読み	記号	単語読み	記号	単語読み
A α	あるふぁ	Ι ι	いおた	Ρ ρ	ろー
B β	べーた	Κ κ	かっぱ	Σ σ	しぐま
Γ γ	がんま	Λ λ	らむだ	Τ τ	たう
Δ δ	でるた	Μ μ	みゆー	Υ υ	うぶしろん
E ε	いぶしろん	Ν ν	にゆー	Φ φ	ふぁい
Z ζ	つえーた	Ξ ξ	くざい	Χ χ	かい
H η	いーた	Ο ο	おみくろ	Ψ ψ	ぶしい
Θ θ	しーた	Π π	ばい	Ω ω	おめが

9. 縦書き文字の入力

記号	単語読み	記号	単語読み	記号	単語読み
あ ア	たてあ	や ヤ	たてや	丨	たてちょうおん
い イ	たてい	ゆ ユ	たてゆ	丿	たてなみ
う ウ	たてう	よ ヨ	たてよ	`	たてとうてん
え エ	たてえ	わ ワ	たてわ	・	たてくてん
お オ	たてお	か	たてか		
っ ツ	たてっ	け	たてけ		

10. 括弧付き英小文字の入力

親指シフトキーボード

記号	単語読み	記号	単語読み	記号	単語読み
(a)	かっこう	(j)	かっこじ	(s)	かっこし
(b)	かっこへ	(k)	かっこき	(t)	かっこち
(c)	かっこす	(l)	かっこい	(u)	かっこち
(d)	かっこて	(m)	かっこそ	(v)	かっこぶ
(e)	かっこた	(n)	かっこめ	(w)	かっこか
(f)	かっこけ	(o)	かっこつ	(x)	かっこひ
(g)	かっこせ	(p)	かっこ,	(y)	かっこら
(h)	かっこは	(q)	かっこ。	(z)	かっこ。
(i)	かっこく	(r)	かっここ		

JISキーボード

記号	単語読み	記号	単語読み	記号	単語読み
(a)	かっこA	(j)	かっこJ	(s)	かっこS
(b)	かっこB	(k)	かっこK	(t)	かっこT
(c)	かっこC	(l)	かっこL	(u)	かっこU
(d)	かっこD	(m)	かっこM	(v)	かっこV
(e)	かっこE	(n)	かっこN	(w)	かっこW
(f)	かっこF	(o)	かっこO	(x)	かっこX
(g)	かっこG	(p)	かっこP	(y)	かっこY
(h)	かっこH	(q)	かっこQ	(z)	かっこZ
(i)	かっこI	(r)	かっこR		

記号	読み	記号	読み
㊦	しゆくしょうたて	㊦	かいてん
㊧	しゆくしょうよこ	㊧	しゃたい
㊨	まるごしゅく まるごちゅく まるごじゅく	㊨	はんてんかいし
㊩	たてがき	㊩	はんてんしゅうりょう
㊪	よこがき	㊪	ちゅうきぶんかいし
㊫	ぎょうかん	㊫	ちゅうきぶんしゅうりょう
㊬	みんちょう	㊬	さしこみかいし
㊭	おおもじ	㊭	さしこみしゅうりょう
㊮	きょうかしよ	㊮	みだしかいし
㊯	もうひつ	㊯	みだしかいし
㊰	もうひつ	㊰	みだしかいし
㊱	ひっきたい	㊱	みだししゅうりょう
㊲	まるもじ	㊲	さくいんかいし
㊳	えいしょたい	㊳	さくいんしゅうりょう
㊴	しゃたいかいし	㊴	かさねうち
㊵	ひらがなるび	㊵	いんさつていし
㊶	かたかなるび	㊶	いろしてい
㊷	ひょうじゆん	㊷	きょうちょう
㊸	しゆくしょう	㊸	せいぎょかいし
㊹	しゆくしょう	㊹	せいぎょしゅうりょう
㊺	しゆくしょう	㊺	せいぎょくぎり
㊻	けしごむ せん ふで	㊻07	ちゅうまるごしゅく
㊼01	ちゅうみんちょう	㊻08	ちゅうまるごちゅく
㊼02	ふとみんちょう		ちゅうまるごじゅく
㊼03	ちゅうごしゅく ちゅうごちゅく ちゅうごじゅく		ちゅうぶとまるごしゅく ちゅうぶとまるごちゅく ちゅうぶとまるごじゅく
㊼04	ふとごしゅく ふとごちゅく ふとごじゅく	㊼09	ふとまるごしゅく ふとまるごちゅく ふとまるごじゅく
㊼05	ちゅうぶとみんちょう	㊼10	せいがいしよ
㊼06	ちゅうぶとごしゅく ちゅうぶとごちゅく ちゅうぶとごじゅく	㊼11	えどもじ
		㊼12	じゆん101

部首の入り

番号	部首	読み	字例
一 画			
1	一	いち・よこいち	一画
2	丨	ほう・たてほう	个中巾串
3	丶	てん	、井之主丸
4	ノ	の・のかんむり・のめ	ノ乃希喬乏
5	乙	おつ・おつしよう・れ	乙九也乳乾
6	丨	はねほう	丨了事事
二 画			
7	二	に	二式井垂五
8	冫	なべふた・けいさんかんむり・けいさん	亡市夜京交
9	人	ひと・ひとやね・ひとがしら・にんべん・やね	人会企仮傷
10	儿	ひとあし・にんしよう	兄兜先兆元
11	入	いる・いりやね・いりがしら	入兩
12	八	はち・はちがしら	八六典典共
13	冂	えんがまえ・どうがまえ・けいがまえ・まきがまえ	冂周同内
14	宀	わかんむり	冠冗軍冥
15	冫	にすい	次凄凍凌
16	儿	つくえ	凡鳳凱鳳
17	凵	うけぼこ・かんしよう・かんがまえ	凵凶出
18	刀	かたな・やいば・りっとう	刀刃券劍割
19	力	ちから・りきづくり・りよく・りき	力劣加助勢
20	勹	つつみがまえ・ほうがまえ・く	勹久危争
21	匕	さじのひ	北旨疑
22	匚	はこがまえ	匚巨匹匪
23	匚	かくしがまえ	匚
24	十	じゅう	十千真幹協
25	卜	ほくのと・うらない	卜卜卦占
26	卩	ふしづくり・わりふ・せつづくり	卩印即卵却
27	冂	がんだれ	冂压曆
28	厶	む	厶台去弁参
29	又	また・ま	又又友叙反勇

番号	部首	読み	字例
三 画			
30	口	くち・くちへん	口呑可右嚙
31	凵	くにかまえ	凵囧園国番
32	土	つち・つちへん・どへん	土幸圭均坐在
33	士	きむらい	士壺喜壳恣
34	夂	ふゆがしら	夂冬変夏
35	夂	すいしよう	夂夏
36	夕	ゆうべ・ゆう	夕多外
37	大	だい・だいかんむり	大太央奇奥天
38	女	おんな・おんなへん	女嫁姦妻
39	子	こ・こへん	子孔季存孟
40	宀	うかんむり	宀安
41	寸	すん・すんづくり	寸寿寺将封導
42	小	ちいさい・しよう・しようかんむり・なかがしら・つ	小少营学輝
43	尢	まげあし・だいのまげあし	尢尢就尠
44	尸	しかほね・しかほねだれ・しかほねかんむり	尸履尺屍局
45	巾	てつ	屯
46	山	やま・やまへん・やまかんむり	山岸崎岡島
47	川	まがりがわ・かわ・さんほんがわ	川州
48	工	たくみ・たくみへん	工巧左差巫
49	己	おのれ	己巴巷卷
50	巾	はば・はばへん・きんべん	巾布幅師带帽
51	干	ほす・かん・いちじゅう	干年平井
52	女	いとがしら・よう	女纟幼幼
53	广	まだれ	广広府廓度
54	廴	えんしよう・いんしよう	延建
55	井	にじゅうあし	井弊彳
56	弋	しがまえ・いぐるみ	弋式武薦弑
57	弓	ゆみ・ゆみへん	弓引弔弟豆
58	彳	けいがしら・よ	彳尋彳
59	彡	さんづくり・けがざり	彡彰影彤
60	彳	ぎょうにんべん	御後從往

番号	部首	読み	字例
四 画			
61	心	こころ・したごころ・りっしんべん	心憶快必悪
62	戈	かのほこ・ほこ・ほこがまえ・ほこづくり	戈成或戒戦
63	戸	とびらのと・とだれ・とかんむり・と	戸戻肩所扁扉
64	手	て・てへん	手才撃指拳承
65	支	じゅうまた・しにょう・えだにょう	支
66	支	とまた・ほくにょう・ほくづくり・のふん	支支改数
67	文	ぶん・ぶんにょう	文斐斑斌
68	斗	とます・ますづくり	斗魁斜
69	斤	きん・おのつくり・おのづくり	斤新欣
70	方	ほう・ほうへん	方於旅旗施
71	无	すでのつくり・むにょう	无无既
72	日	にち・ひへん・にちへん	日暖早春時最
73	日	ひらび・いわく	日曳曲曳曷
74	月	つき・つきへん	月期朝有朗豚
75	木	き・きへん	木呆杏榎束
76	欠	かける・あくび・けんづくり	欠歌欧欲
77	止	とめる・とめへん	止此歳正整
78	歹	いちた・がつへん・かばねへん	歹残死
79	殳	るまた	殳段殺段殿
80	母	なかれ・はは	母母毒每
81	比	くらべるひ・くらべる	比
82	毛	け	毛毳毯
83	氏	うじ	氏民
84	气	きがまえ	气氣氛氣
85	水	みず・したみず・さんずい	水泰水汝永求
86	火	ひ・けつか・れんが・れんか・よってん・よつてん	火炎為燃烈無
87	爪	つめ・つめかんむり・つめがしら・のつ	爪爰受妥爬
88	父	ちち	父斧釜爺

番号	部首	読み	字例
89	爻	めめ・こう・まじわる	爻俎
90	冂	しょうへん	冂状牀壯
91	片	かた・かたへん	片牌
92	牙	きば・きばへん	牙
93	牛	うし・うしへん	牛特
94	犬	いぬ・いぬへん・けもの・けものへん	犬猿
五 画			
95	玄	げん	玄畜
96	玉	たま・おう・おうへん・たまへん	王玉聖琴理
97	瓜	うり	瓜瓢
98	瓦	かわら・かわらづくり	瓦瓶甗
99	甘	あまい	甘某
100	生	うまれる・うむ・いきる	生甦甥
101	用	もちいる	用甫甬
102	田	た・たへん	田界町番申甲
103	疋	ひき・ひきへん	疋踈疎楚
104	疒	やまいだれ	病癩痛疾癘
105	癸	はつがしら	癸登癸癸癸
106	白	しろ・はくへん	白的皆皇
107	皮	ひのかわ・けがわ・かわつくり	皮鞞輝鞞
108	皿	さら	皿監益盛
109	目	め・めへん	目睡県省
110	矛	むのほこ・ほこへん	矛柔務
111	矢	や・やへん	矢知短矣
112	石	いし・いしへん	石磯
113	示	しめす・しめすへん・ねへん	示社祗祓票
114	内	くうのあし	禺禹
115	禾	のぎ・のぎへん	禾委私税和
116	穴	あな・あなかんむり	穴究
117	立	たつ・たつへん	立産靖竜章

番号	部首	読み	字例
六 画			
118	竹	たけ・たけかんむり	竹笑籟答笹
119	米	こめ・こめへん・よねへん	米粟粒糞粒
120	糸	いと・いとへん	糸紬
121	缶	ほとき・ほときへん・みすがめ・ほときもたい	缶罐缺罅
122	网	あみかしら・あみめ・よんがしら	网罟罕
123	羊	ひつじ・ひつじへん	羊美義羨群
124	羽	はね	羽翬翁翻翔
125	老	おい・おいかんむり・おいがしら	老孝者
126	而	しかして	而耐
127	耒	らいすき・すきへん・らいへん	耒耕耗
128	耳	みみ・みみへん	耳職聖取
129	聿	ふでづくり	聿肇肄書
130	肉	にく・にくつき	肉臄臀臉臘
131	臣	しん・おみ	臣臨
132	自	みずから	自臭
133	至	いたる	至到
134	白	うす	白興
135	舌	した・したへん	舌辞乱舐舖
136	舛	ます・まいあし	舛舞
137	舟	ふね・ふねへん	舟船般艇艦
138	良	こん・こんづくり	良良
139	色	いろ	色艶
140	艸	くさ・そうこう・くさかんむり	艸葵若蘇荒
141	虍	とらかしら・とらかんむり	虍虎虍虍虚
142	虫	むし・むしへん	虫蚤蛙蜀虱
143	血	ち	血衆
144	行	ぎょう・ゆきがまえ・ぎょうがまえ	行街術術
145	衣	ころも・ころもへん	衣初被表製
146	西	にし	西西覆霸要

番号	部首	読み	字例
七 画			
147	見	みる	見親覽規親
148	角	つの・つのへん	角触解犛
149	言	ことば・ごんべん	言警訓誠論
150	谷	たに・たにへん	谷衍谿欲
151	豆	まめ・まめへん	豆豊豉豌
152	豕	いのこ・いのこへん	豕豪
153	豸	むじな・むじなへん	豸豹貊貌
154	貝	かい・かいへん・こがい	貝財貫
155	赤	あか	赤赫
156	走	はしる・そうによう	走之趣超
157	足	あし・あしへん	足跡
158	身	み・みへん	身射骸
159	車	くるま・くるまへん	車軸輩轟輪
160	辛	からい	辛辟辣
161	辰	しんのたつ	辰辱農
162	辵	しんにゆう・しんによう	辵逢随進
163	邑	むら・おおざと	邑郭
164	酉	さけのとり・ひよみのとり・さけづくり・こよみのとり	酉醜醜醬
165	采	のごめ・のごめへん	采积
166	里	さと・さとへん	里野
八 画			
167	金	かね・かねへん	金錦釜
168	長	ながい	長
169	門	もん・もんがまえ・かどがまえ	門門関闕閉
170	阜	ぎふのふ・こごとへん・こごと	阜隆
171	隸	れいづくり	隸隸隸
172	隹	ふるとり	隹雅雜難隹
173	雨	あめ・あめかんむり	雨雲
174	青	あお	青静
175	非	あらず	非靠

番号	部首	読み	字例
九 画			
176	面	めん・おもて	面靨視
177	革	かくのかわ・つくりかわ・つくりがわ	革靴鞭
178	韋	なめしがわ	韋鞆
179	韭	にら	韭齋齋
180	音	おと・おん	音響韻
181	頁	おおがひ・いちのかい・べーじ	頁頃題
182	風	かせ	風飄颻
183	飛	とぶ	飛
184	食	しょく・たべる・しょくへん	食飴養飲飾
185	首	くび	首
186	香	においこう・におい・かおり・か	香馥馨
十 画			
187	馬	うま・うまへん	馬驚駭 <small>驚馬</small>
188	骨	ほね・ほねへん	骨骸髓體髓
189	高	たかい	高
190	髟	かみがしら・かみかんむり	髟髮
191	門	とうがまえ・たたかいがまえ	門闕開闕
192	鬯	ちよう	鬯鬱
193	鬲	かく・れき	鬲融
194	鬼	おに・きによう	鬼魅魂
十 一 画			
195	魚	うお・うおへん・さかな・さかなへん	魚鮫鯨魯
196	鳥	とり・とりづくり・とりへん	鳥鳩鶯鴝

番号	部首	読み	字例
197	鹵	ろ・しお	鹵鹹鹹鹽
198	鹿	しか	鹿麀麗麗
199	麦	むぎ・ばくによう・むぎへん	麦麵麥
200	麻	あさ・あさかんむり	麻摩
十 二 画			
201	黃	きいろ	黃
202	黍	きび	黍
203	黑	くろ	黒墨黔
204	薺	ふつ	薺輔
十 三 画			
205	黽	べん	黽龍龜
206	鼎	かなえ	鼎
207	鼓	つづみ	鼓鼓桴
208	鼠	ねずみ	鼠鼯
十 四 画			
209	鼻	はな・はなへん	鼻鼯
210	齊	せい	齊齊
十 五 画			
211	齒	は・はへん	齒齧齧齧
十 六 画			
212	龍	りゅう	龍襲龍
213	龜	かめ	龜龜
十 七 画			
214	兪	やく	兪

ローマ字／かな対応表

▶ローマ字かな変換を使うときのローマ字とかなの対応を示します。

子音ひとつと母音

文 字					ローマ字入力					
あ	い	う	え	お	A	I	U	E	O	
ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	LA	LI	LU	LE	LO	
か	き	く	け	こ	KA	KI	KU	KE	KO	
さ	し	す	せ	そ	SA	SI	SU	SE	SO	
た	ち	つ	て	と	TA	TI	TU	TE	TO	
な	に	ぬ	ね	の	NA	NI	NU	NE	NO	
は	ひ	ふ	へ	ほ	HA	HI	HU	HE	HO	
ま	み	む	め	も	MA	MI	MU	ME	MO	
や	い	ゆ	い	よ	YA	YI	YU	YE	YO	
ら	り	る	れ	ろ	RA	RI	RU	RE	RO	
わ	う	い	う	え	を	WA	WI	WU	WE	WO
が	ぎ	ぐ	げ	ご	GA	GI	GU	GE	GO	
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO	
だ	ぢ	づ	で	ど	DA	DI	DU	DE	DO	
ば	び	ぶ	べ	ぼ	BA	BI	BU	BE	BO	
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	PA	PI	PU	PE	PO	
ふぁ	ふぃ	ふぅ	ふぇ	ふぉ	FA	FI	FU	FE	FO	
じゃ	じ	じゅ	じえ	じょ	JA	JI	JU	JE	JO	
づぁ	づぃ	づぅ	づぇ	づぉ	VA	VI	VU	VE	VO	

子音とYと母音

文	字	ローマ字入力							
や	い	ゆ	え	よ	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
ぎ	き	ぎゆ	ぎえ	ぎよ	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃ	しい	しゆ	しえ	しよ	SYA	SYI	SYU	SYE	SYO
ちゃ	ちい	ちゆ	ちえ	ちよ	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
ちや	ちい	ちゆ	ちえ	ちよ	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO
にや	にい	にゆ	にえ	によ	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひや	ひい	ひゆ	ひえ	ひよ	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
ふや	ふい	ふゆ	ふえ	ふよ	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
みや	みい	みゆ	みえ	みよ	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りや	りい	りゆ	りえ	りよ	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎや	ぎい	ぎゆ	ぎえ	ぎよ	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃ	じい	じゆ	じえ	じよ	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
じや	じい	じゆ	じえ	じよ	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
ぢや	ぢい	ぢゆ	ぢえ	ぢよ	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びや	びい	びゆ	びえ	びよ	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴや	ぴい	ぴゆ	ぴえ	ぴよ	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

子音とHと母音

文	字	ローマ字入力							
しゃ	し	しゆ	しえ	しよ	SHA	SHI	SHU	SHE	SHO
ちゃ	ち	ちゆ	ちえ	ちよ	CHA	CHI	CHU	CHE	CHO
てや	てい	てゆ	てえ	てよ	THA	THI	THU	THE	THO
でや	でい	でゆ	でえ	でよ	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO

「ん」、「つ」、「っ」(促音)、「ー」(長音)

文 字	ローマ字入力
ん	〔N+N〕または〔N+N以外の子音〕 「ん」の使用例 ONN 「おん」 ONNA 「おんあ」 ONNNA 「おんな」 TONDA 「とんだ」
つ	TSU TU
っ	MM LL KK YY などN以外の子音を2度入力します
ー	〔-〕、〔X〕を押します

「、」「。」(句読点)

文 字	ローマ字入力
、	〔,〕を押します
。	〔.〕、〔Q〕を押します

日付の入力

▶ 「にちじ」「ひづけ」「ねんがっぴ」「じこく」の読みから次のように変換できます。

読 み	変換される文字
にちじ	1993年12月18日(土) 13時10分 1993年12月18日(土) 午後1時10分 1993年12月18日13時10分 1993年12月18日午後1時10分 平成5年12月18日(土) 13時10分 平成5年12月18日(土) 午後1時10分 平成5年12月18日13時10分 平成5年12月18日午後1時10分 平成五年一二月一八日(土) 13時10分 平成五年一二月一八日(土) 午後1時10分 平成五年一二月一八日13時10分 平成五年一二月一八日午後1時10分 平成五年十二月十八日(土) 13時10分 平成五年十二月十八日(土) 午後1時10分 平成五年十二月十八日13時10分 平成五年十二月十八日午後1時10分
ひづけ ねんがっぴ	1993年12月18日(土) 1993年12月18日 平成5年12月18日(土) 平成5年12月18日 平成五年一二月一八日(土) 平成五年一二月一八日 平成五年十二月十八日(土) 平成五年十二月十八日
がっぴ	12月18日(土) 12月18日 一二月一八日(土) 一二月一八日 十二月十八日(土) 十二月十八日
じこく	13時10分 午後1時10分 13:10 1:10 PM

Microsoft® Windows™
OASYS/Win V2.0 ハンドブック

80SP-2034-2-1

発行日 1994年2月
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

©9403-4

FUJITSU

本マニュアルは、100%リサイクル可能な用紙を使用しています。



T4988618840736